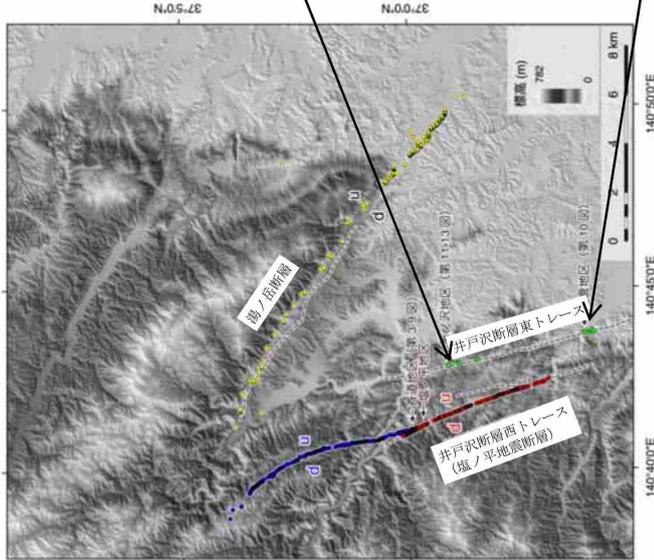


原子力科学研究所

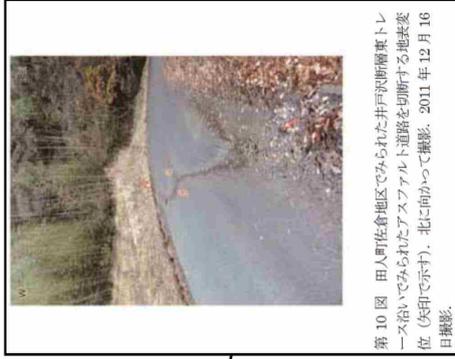
この地図は、国土地理院の承認を得て、国院発行の数値地形図(200000 地形図前後)及び数値地形図(5000 地形図前後)を基に作成したものである。また、この地図は、国土地理院の承認を得て、国院発行の数値地形図(200000 地形図前後)及び数値地形図(5000 地形図前後)を基に作成したものである。また、この地図は、国土地理院の承認を得て、国院発行の数値地形図(200000 地形図前後)及び数値地形図(5000 地形図前後)を基に作成したものである。



第1図 井戸沢断層および湯ノ岳断層の分布と2011年福島県中通りの地震に伴い出現した地震断層、井戸沢断層西トレース沿いの地震断層のうち北セグメントを青色丸、南セグメントを赤色丸で示す。井戸沢断層東トレース沿いで確認された地表変位を黄色丸で示す。湯ノ岳断層沿いの地震断層およびその他の地震断層の可能性がある地表変位確認地点を黄色丸で示す。u, d は相対的隆起/低下を示す。赤道地区、佐倉地区および釜ノ沢地区を示す。推定活断層(黒色破線)の分布は中田・今泉編(2002)に基づく。



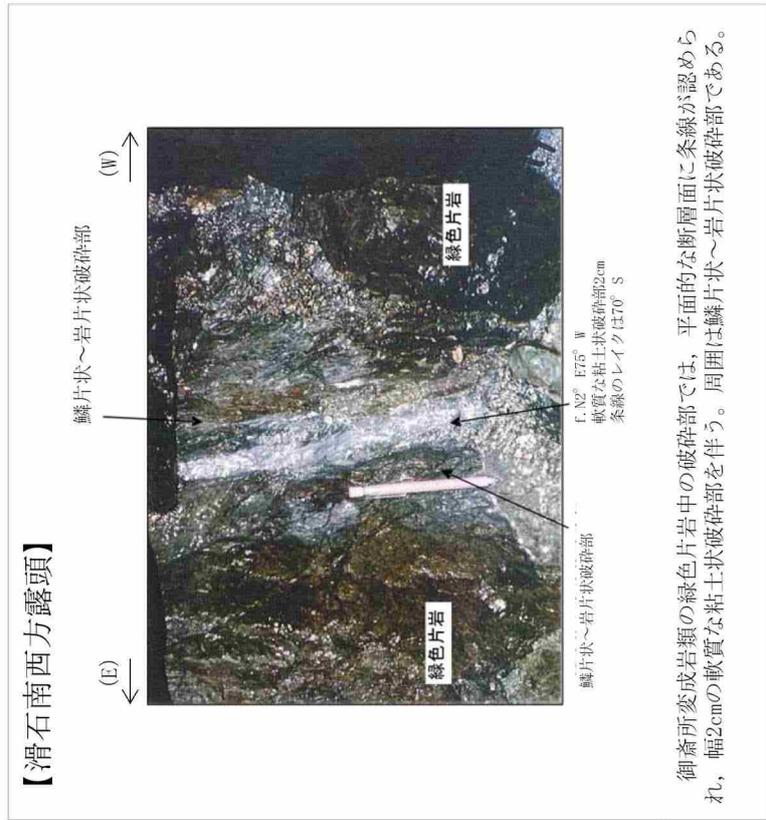
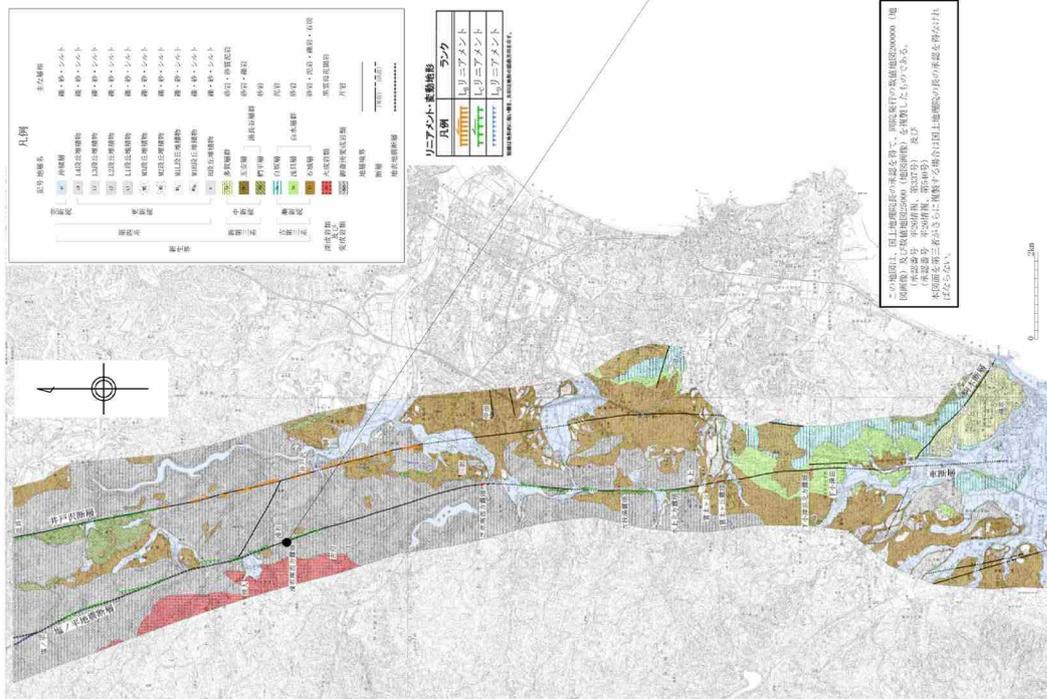
第11図 湯野町釜ノ沢を流れる天ノ川右岸細断層崖壁の変位(矢印で示す)。南に向かって撮影。2012年4月28日撮影。



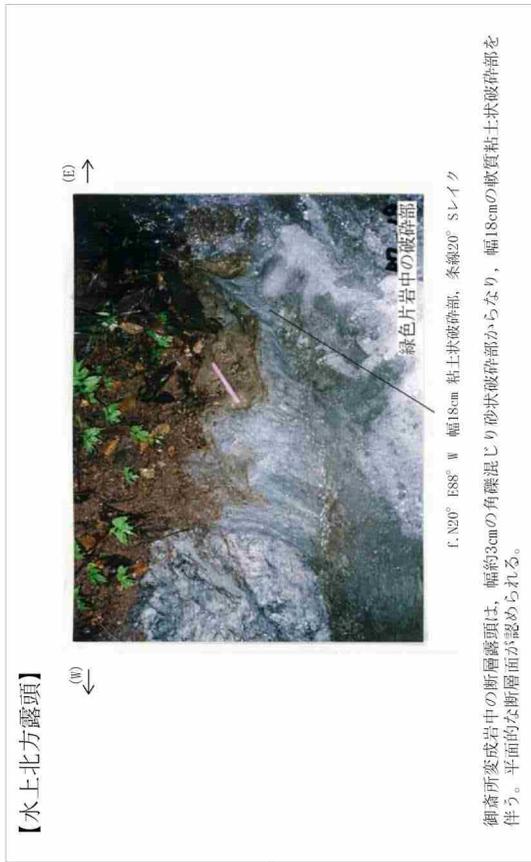
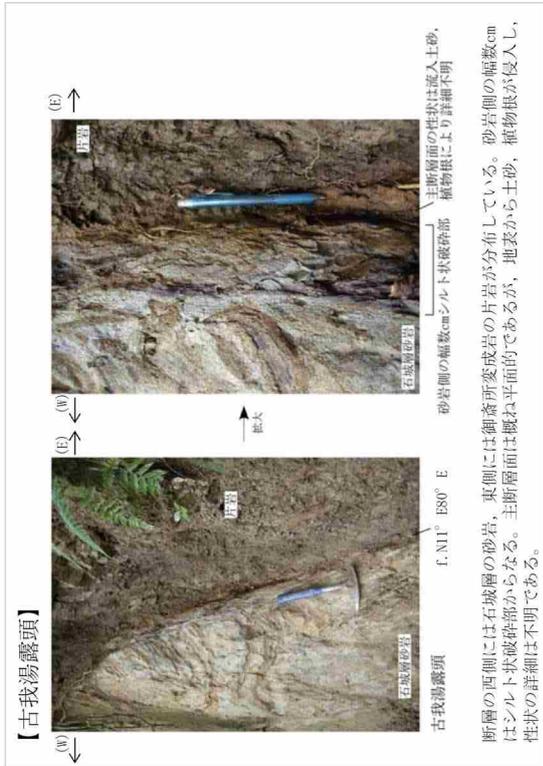
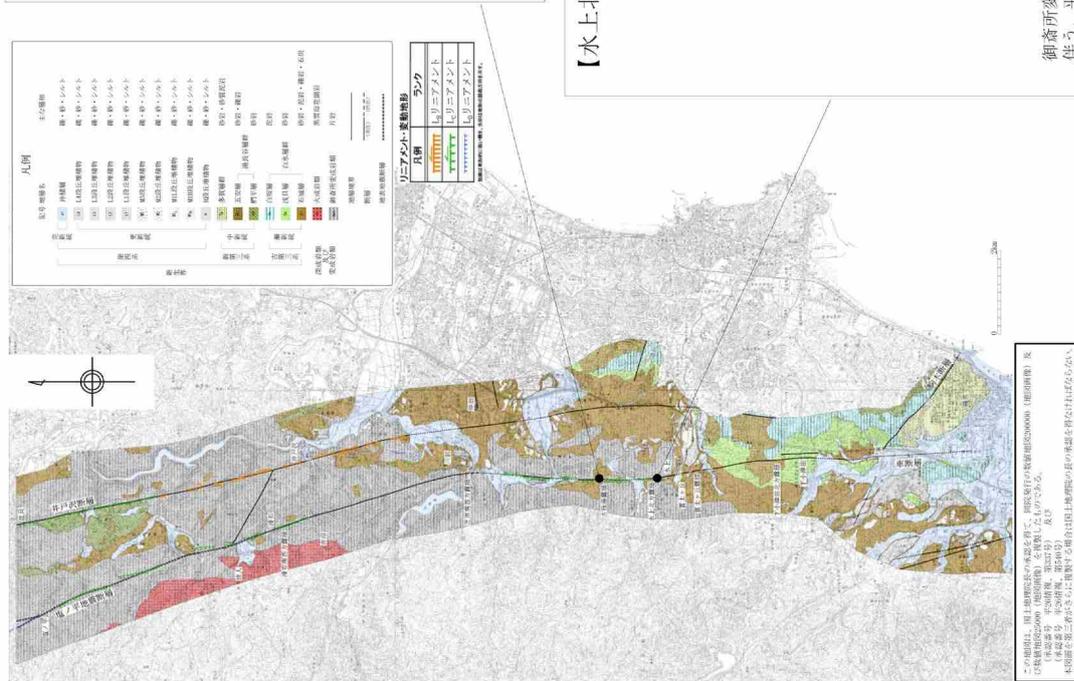
第10図 田人町佐倉地区でみられた井戸沢断層東トレース沿いでみられたアスファルト道路を切断する地表変位(矢印で示す)。北に向かって撮影。2011年12月16日撮影。

### 第3.2.188図 塩ノ平地震断層の出現位置に関する文献調査結果



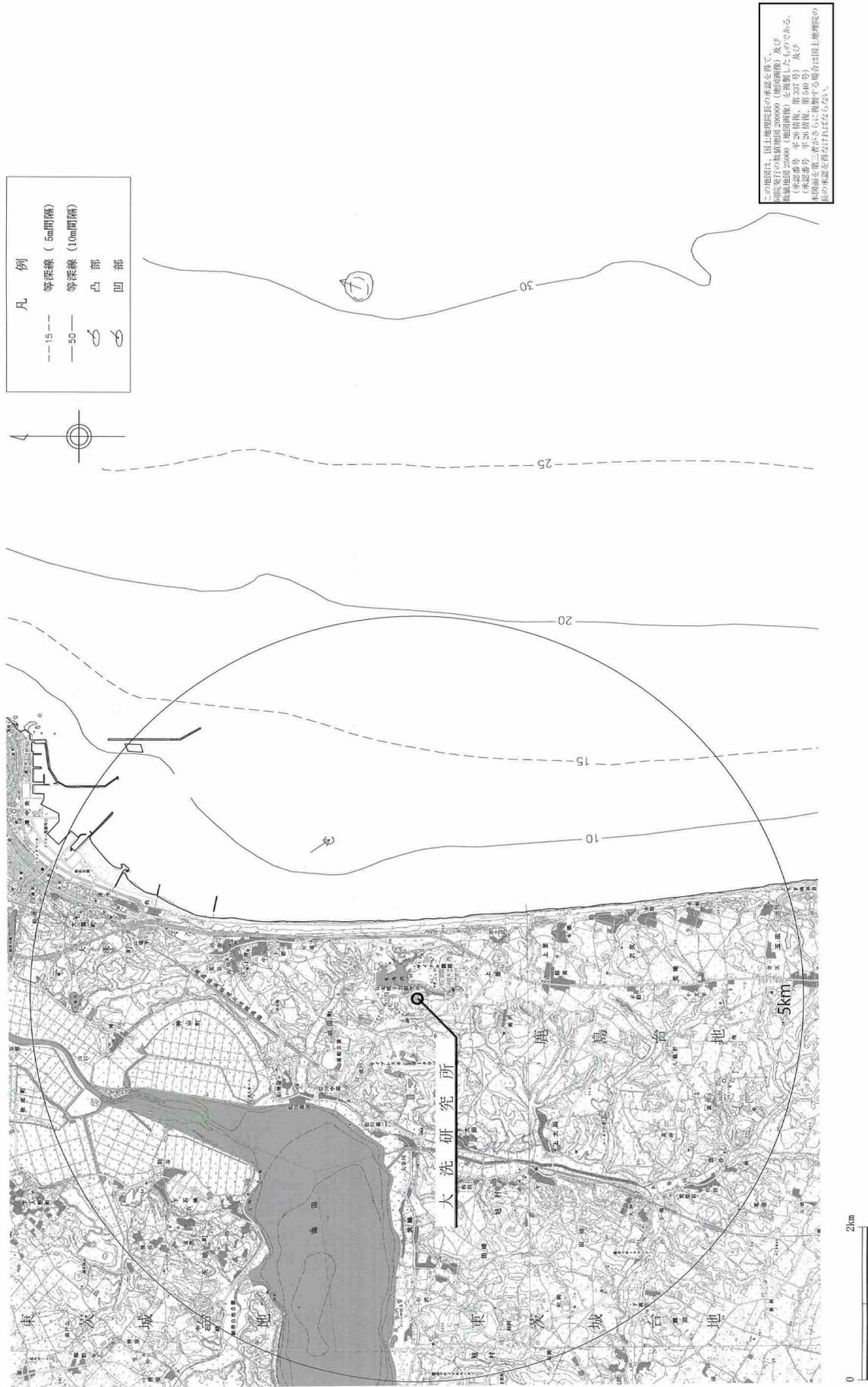


第 3. 2. 190 図(1) 北方陸域の断層の露頭写真 (1/2)

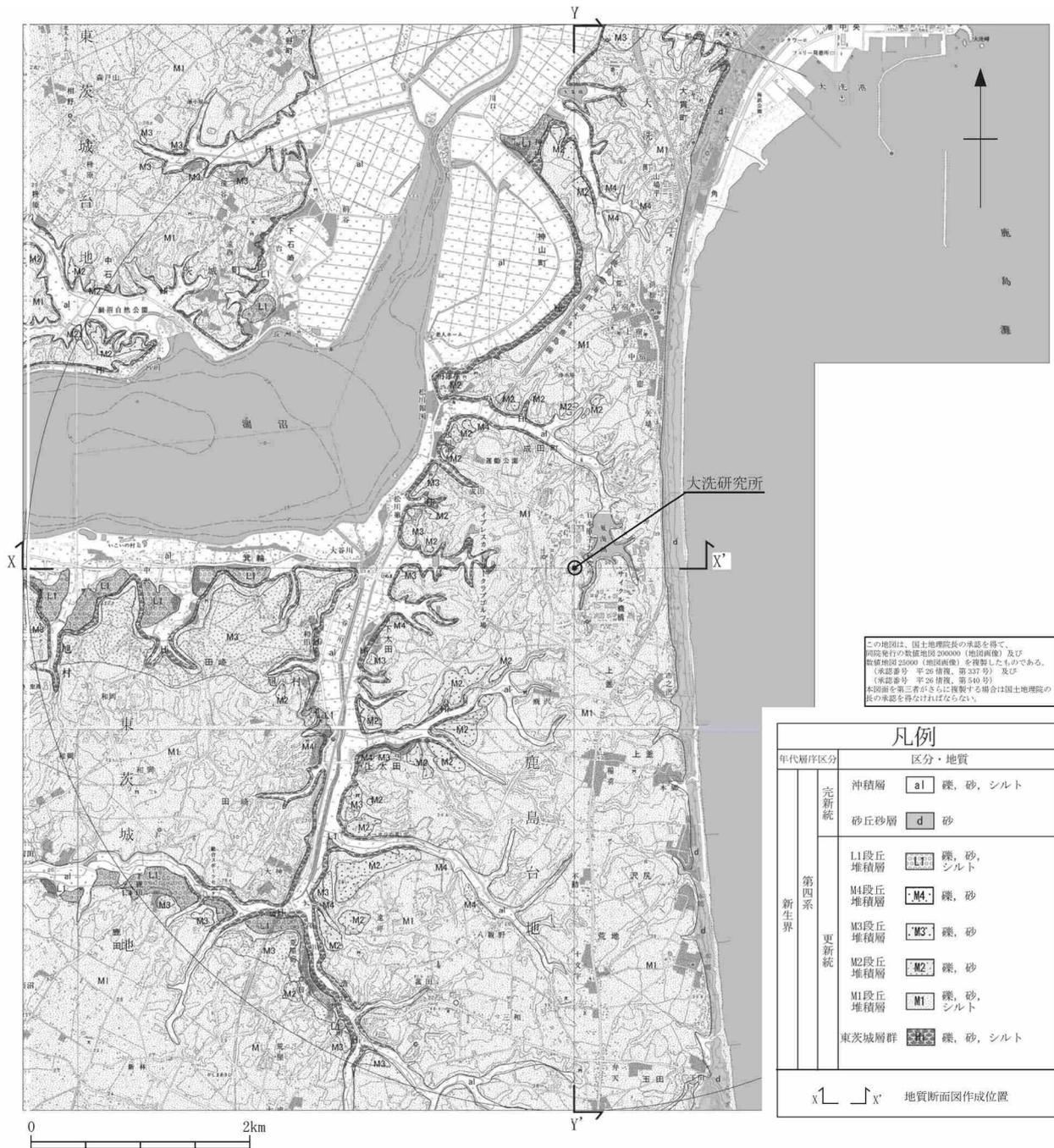


第 3. 2. 190 図 (2) 北方陸域の断層の露頭写真 (2/2)

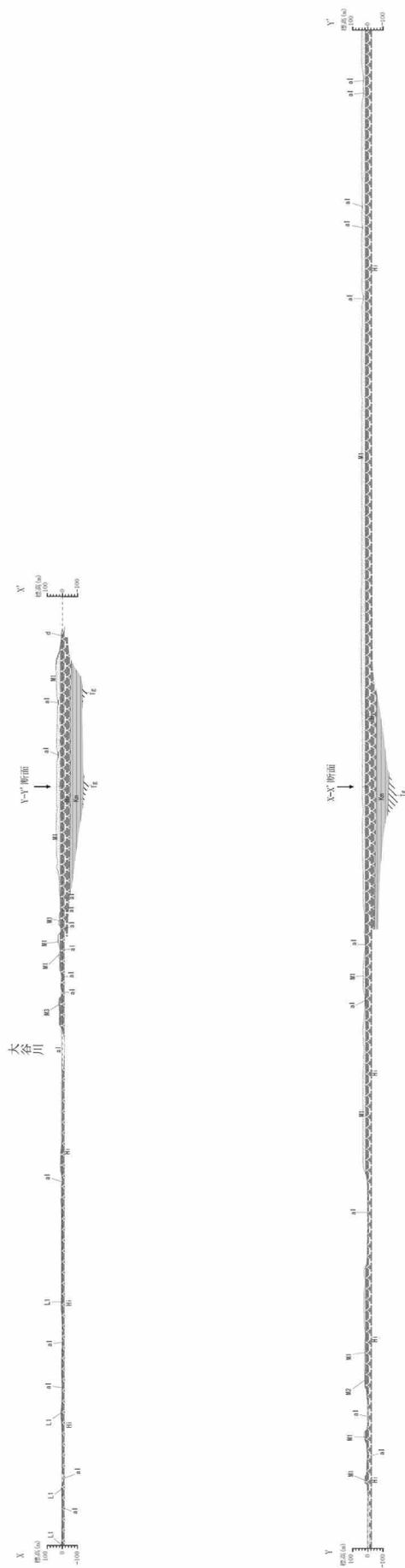




第 3.3.2 図 敷地近傍海域の海底地形図



第 3.3.3 図 敷地近傍陸域の地質図

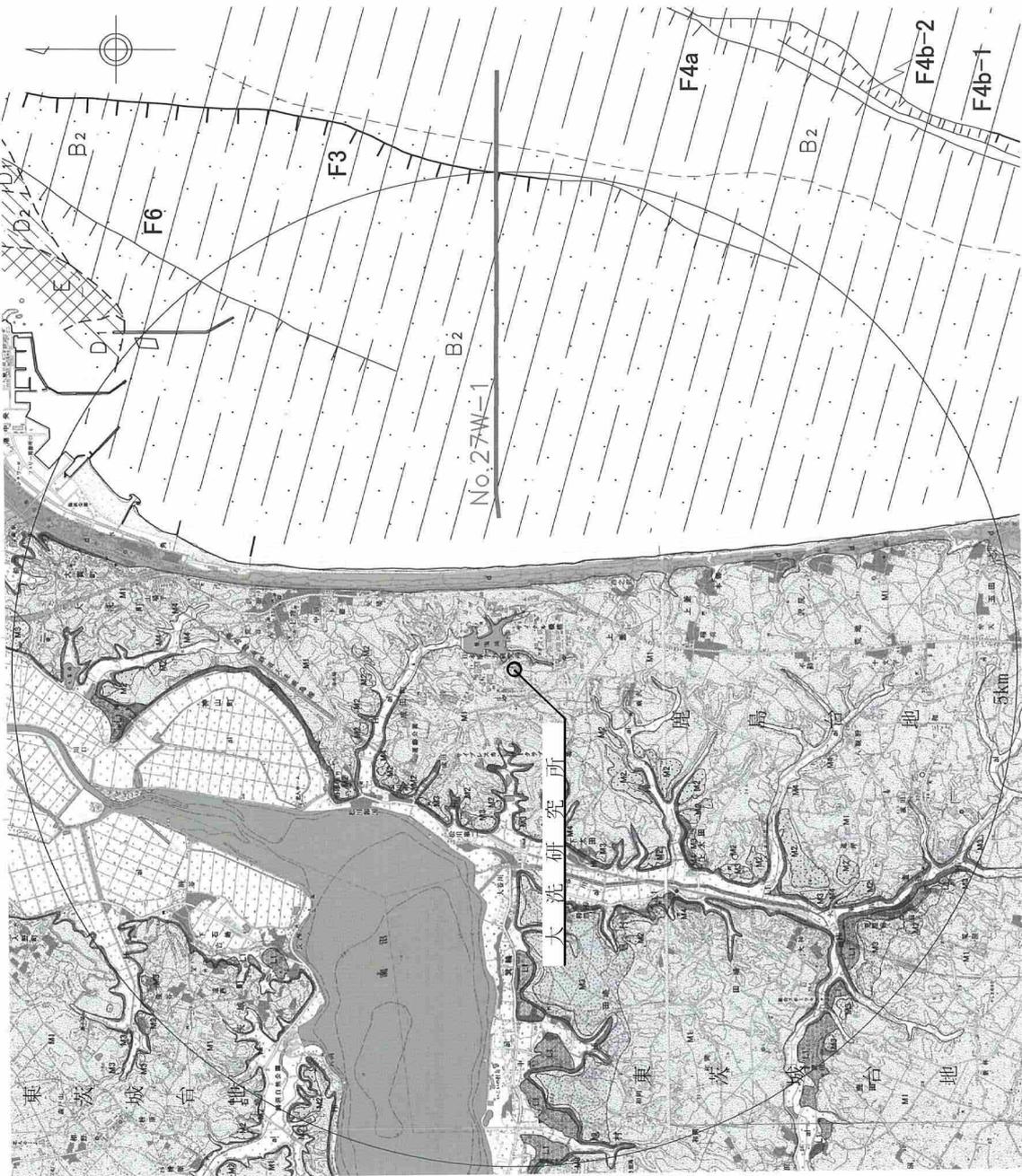


凡例

年代層群 区分	区分・岩相
更新統	沖積層 [M] 礫、砂、シルト 砂丘砂 [S] 砂
第四系	山段丘堆積物 [M1] 礫、砂
第三系	加賀丘堆積物 [M2] 礫、砂
中生代	加賀丘堆積物 [M2] 礫、砂
	山段丘堆積物 [M1] 礫、砂、シルト
	東茨城層群 [K1, K2] 礫、砂、シルト
白垩系	久米層 [K1] 砂質泥岩
白垩系	多賀層群 [K2] 砂質泥岩



第 3.3.4 図 敷地近傍陸域の地質断面図

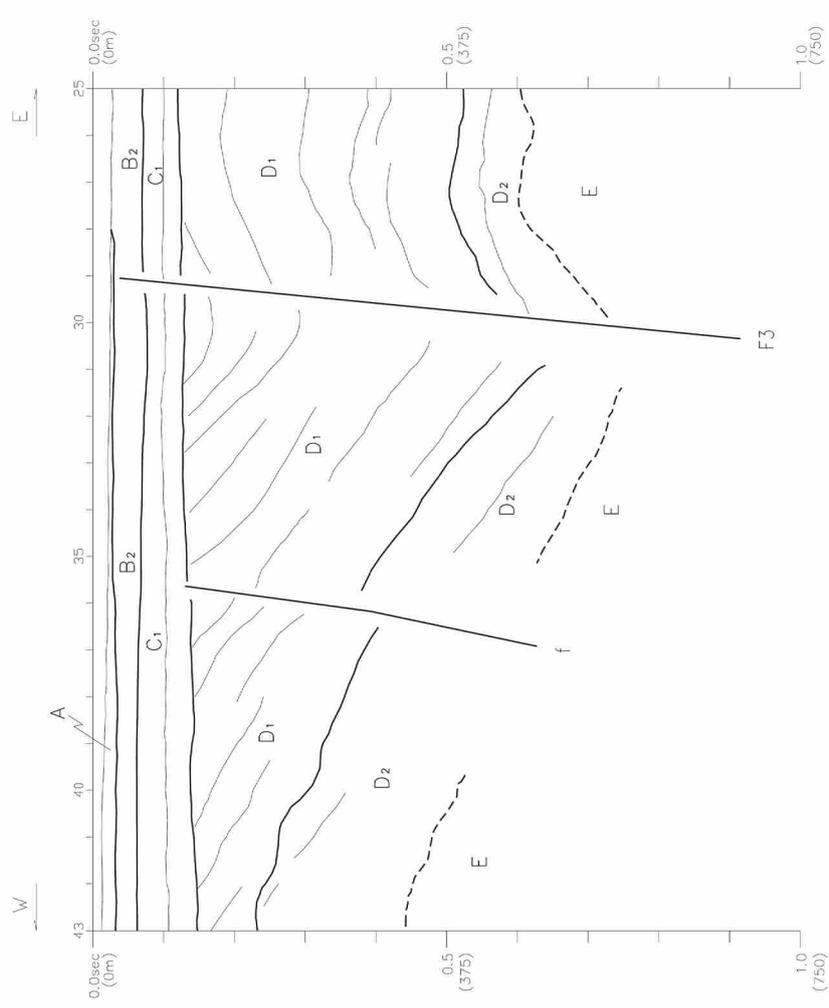
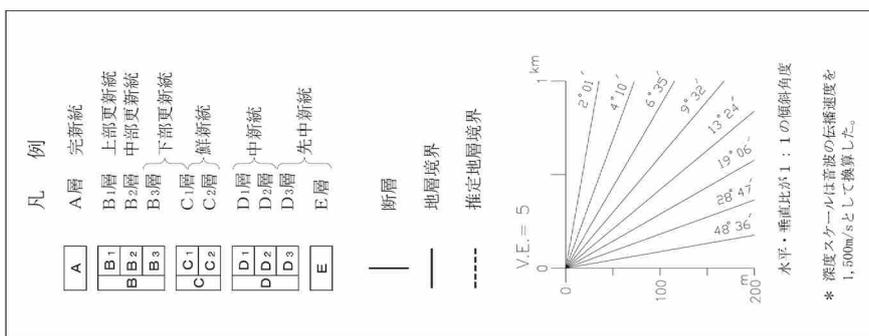


凡例	
年代層区分	区分・地質
全新統	沖積層 a1 礫, 砂, シルト
	砂丘砂層 d 砂
第四系	L段丘堆積層 礫, 砂, シルト
	M段丘堆積層 M1 礫, 砂
	M2段丘堆積層 M2 礫, 砂
	M3段丘堆積層 M3 礫, 砂
	M4段丘堆積層 M4 礫, 砂, シルト
更新統	東茨城層群 礫, 砂, シルト
新境界	

海域凡例	
A 層	完新統
B <sub>2</sub> 層	中部更新統
D <sub>1</sub> 層	中新統
D <sub>2</sub> 層	
E 層	先中新統
---	地層境界
┆┆┆	断層
┆┆┆	伏在断層
No. 27W	敷地近傍の海底地質断面図に示した範囲

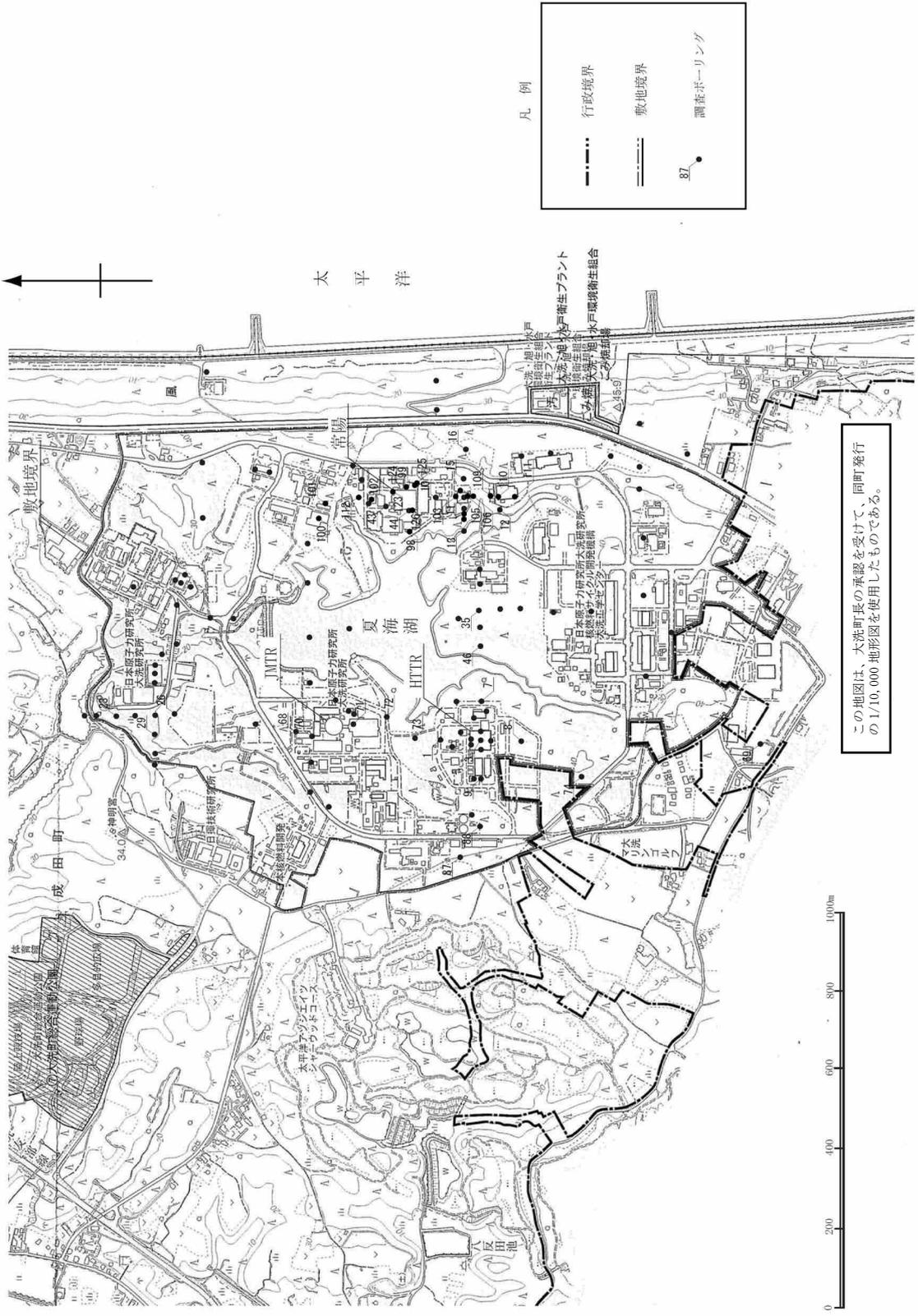
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000 (地図冊後) 及び数値地図 25000 (地図冊後) を複製したものである。(承認番号 平 28 情保、第 337 号) 及び (承認番号 平 28 情保、第 340 号) 記載する範囲は国土地理院の長の承認を得なければならない。

第 3.3.5 図 敷地近傍海域の海底地質図



第 3.3.6 図 敷地近傍海域の海底地質断面図





第3.4.1図 敷地の調査位置図



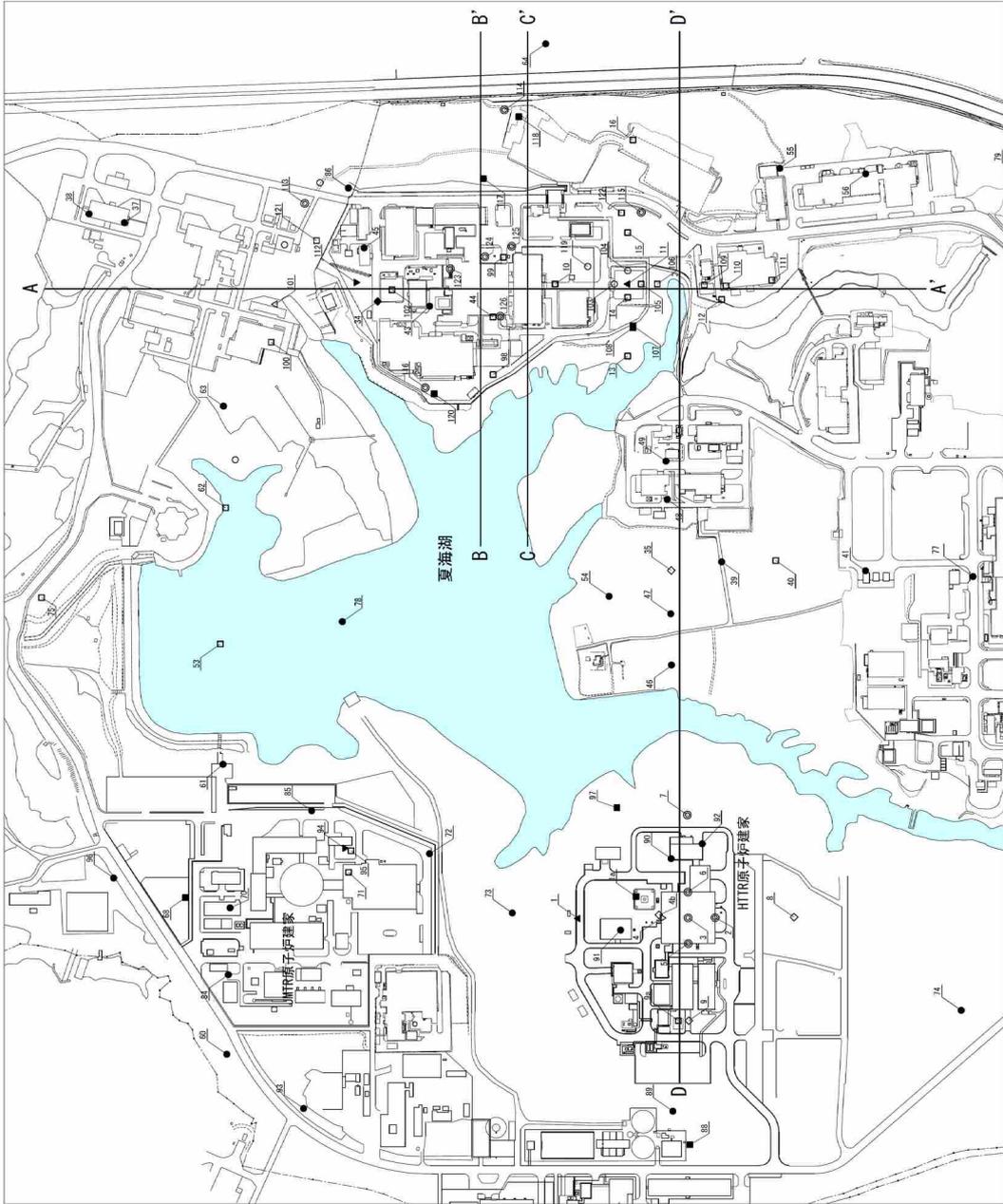
第3.4.2図 敷地の地形面区分図



この地図は、大洗町長の承認を受けて、同町発行の1/10,000地形図を使用したものである。

第3.4.3 敷地の地質図





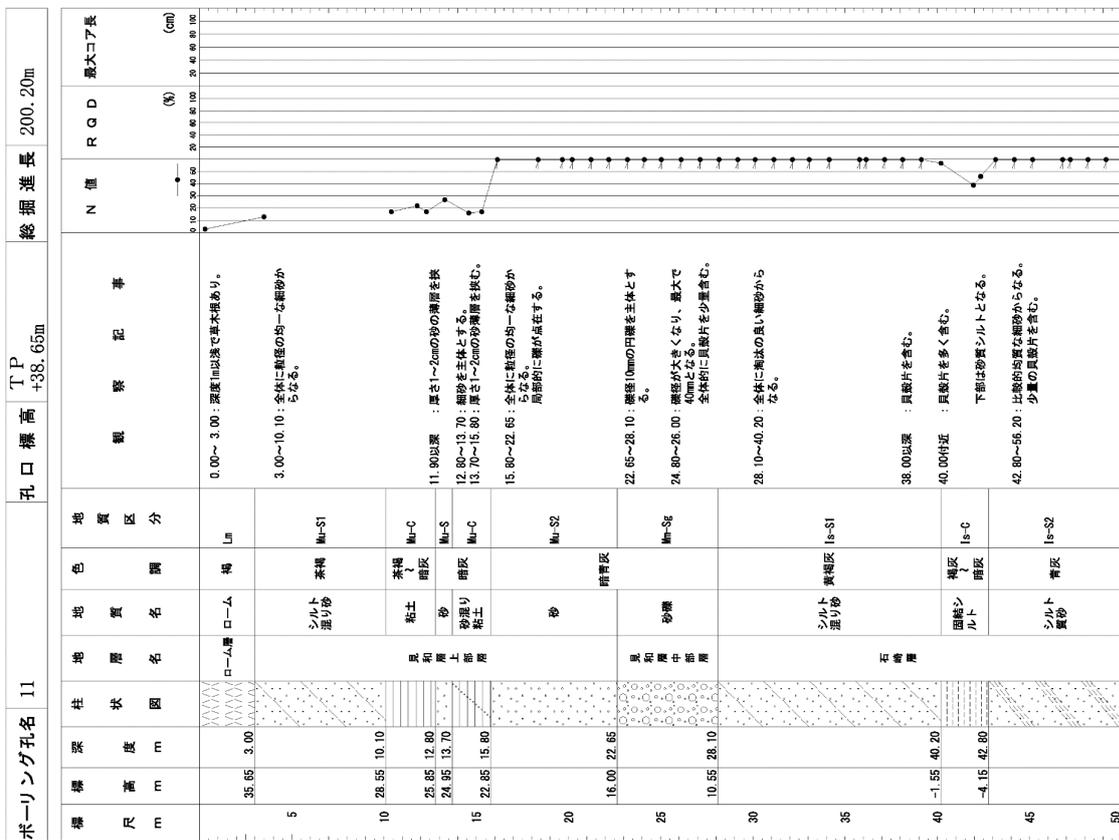
凡 例

- ホーリング位置
- ◎ 室内試験試料採取位置
- PS検層実施位置
- ホーリング位置
- 室内試験試料採取位置
- 構築員入試験実施位置
- PS検層実施位置
- 構築員入試験実施位置
- △ ホーリング位置
- △ 構築員入試験実施位置
- △ 地下水水位調査位置
- ▲ ホーリング位置
- ▲ 室内試験試料採取位置
- ▲ PS検層実施位置
- ▲ 構築員入試験実施位置
- ▼ ホーリング位置
- ▼ 室内試験試料採取位置
- ▼ PS検層実施位置
- ▼ 地下水水位調査位置
- ▽ ホーリング位置
- ▽ 室内試験試料採取位置
- ▽ PS検層実施位置
- ▽ 構築員入試験実施位置
- ◇ ホーリング位置
- ◇ 室内試験試料採取位置
- ◇ PS検層実施位置
- ◇ 地下水水位調査位置
- 構築員入試験実施位置
- 構築員入試験実施位置
- A—A' 地質断面位置

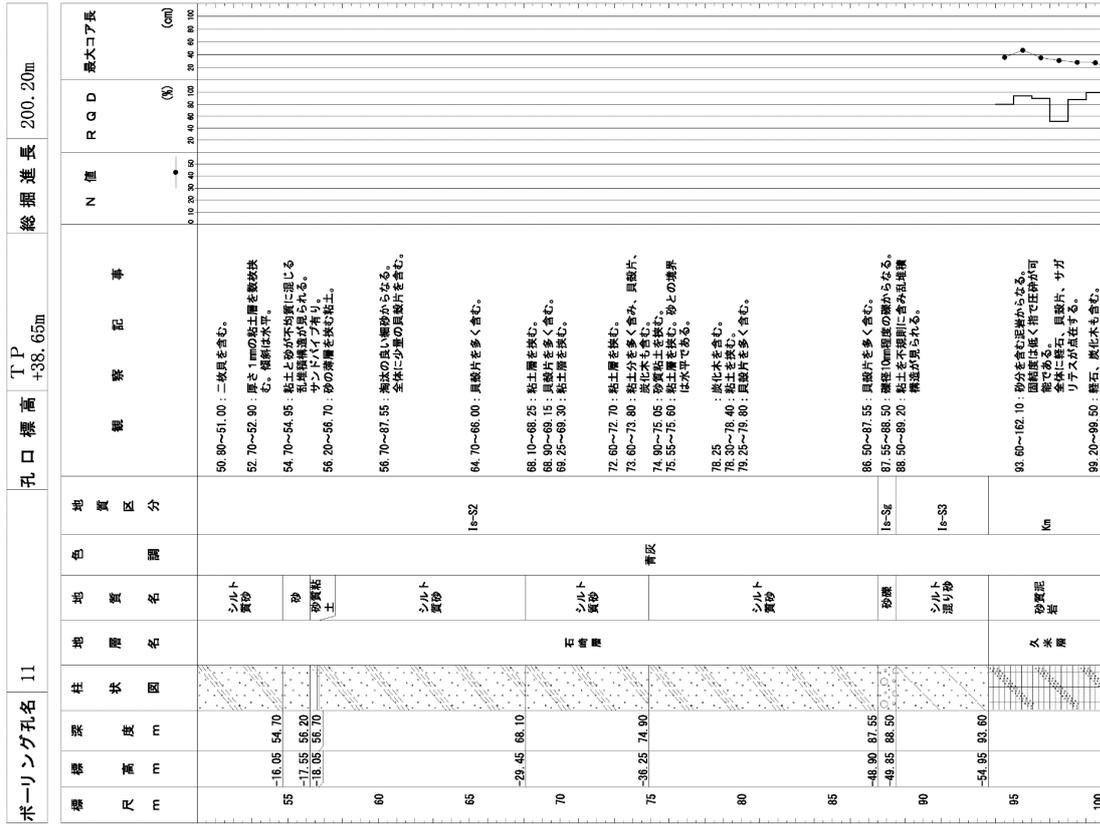


第 3.5.1 図 原子炉施設設置位置付近の調査位置図

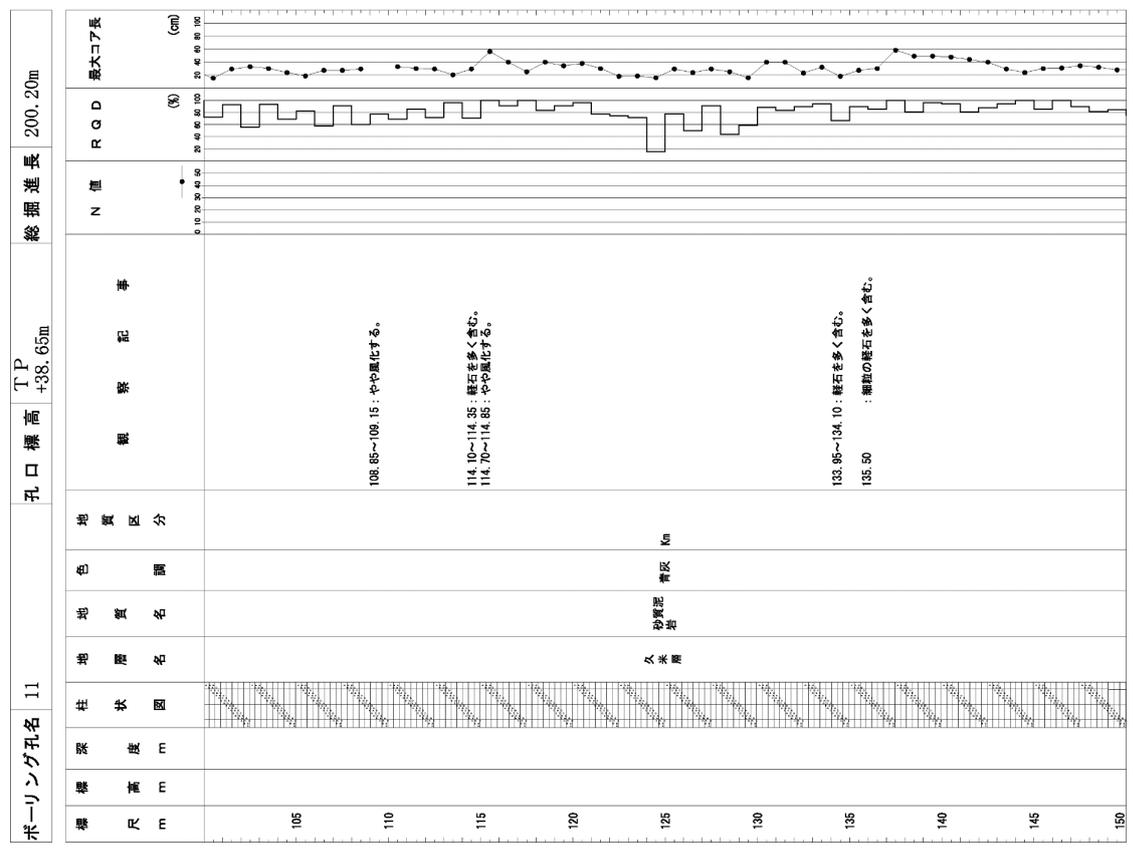




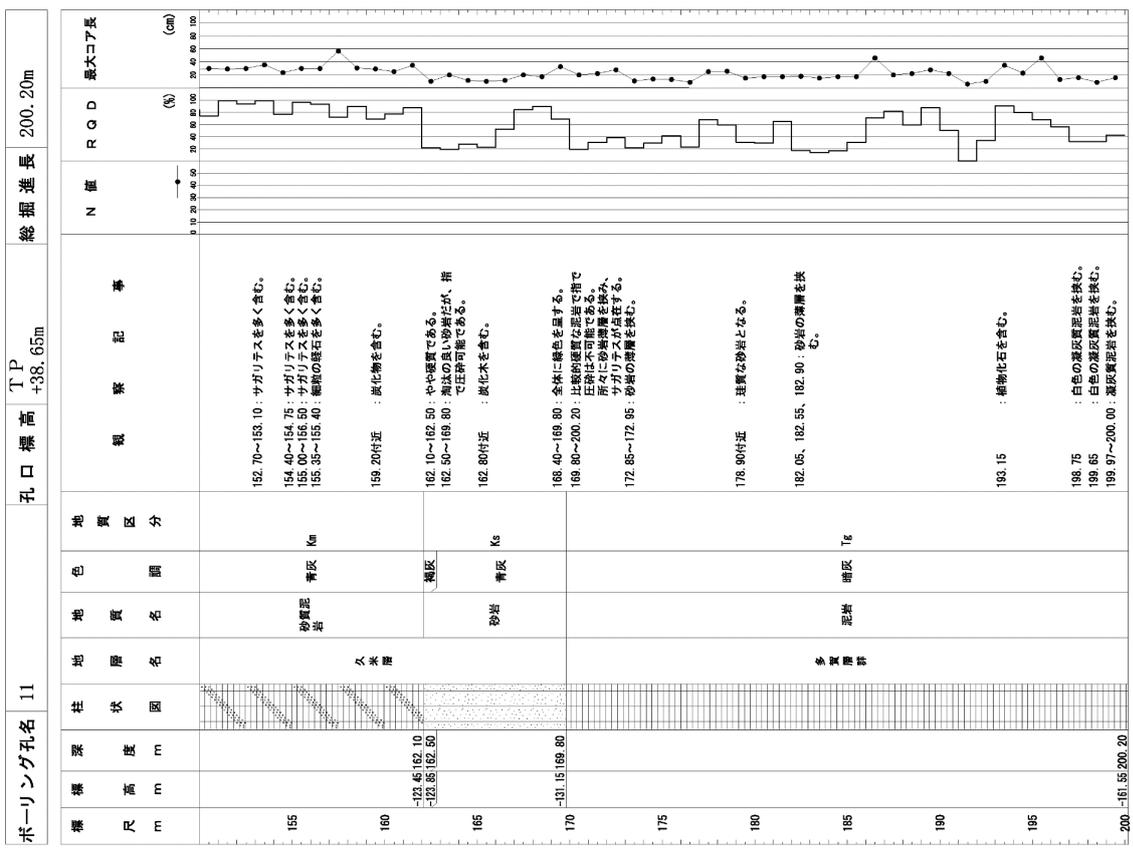
第3.5.3 図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.11 1/4)



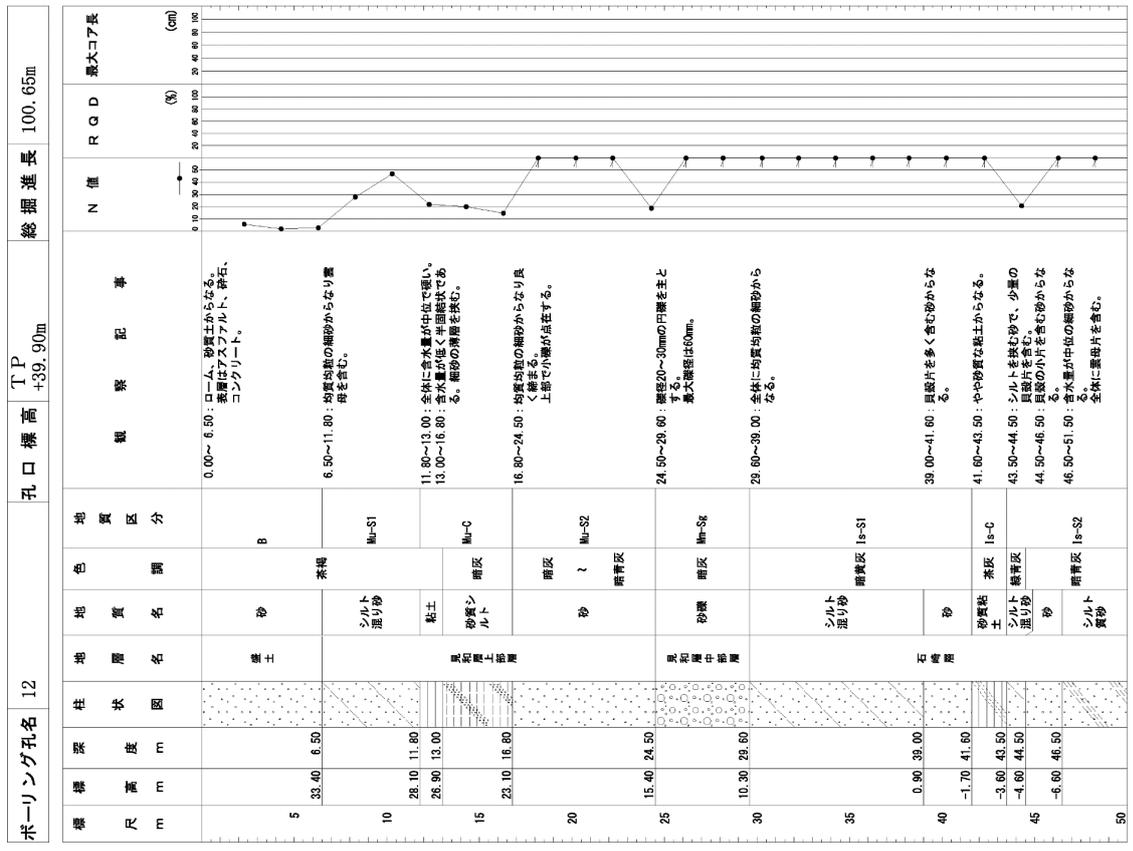
第3.5.3 図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.11 2/4)



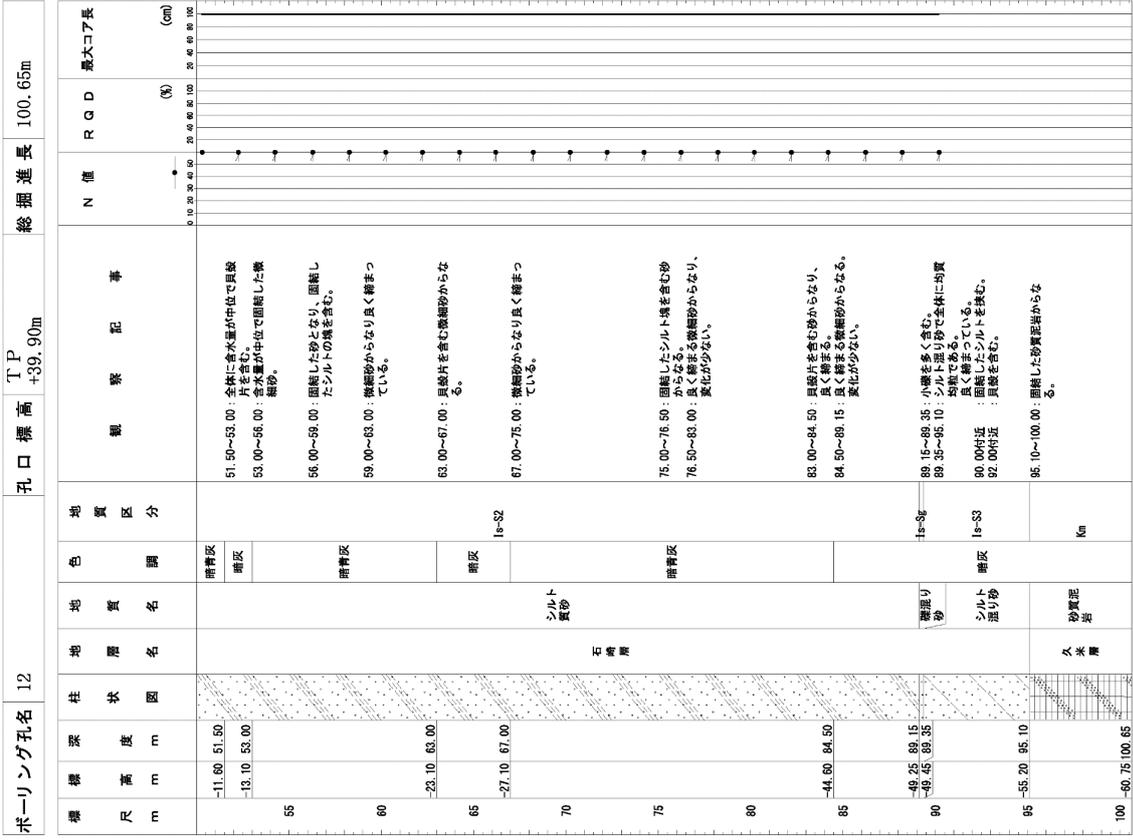
第 3.5.3 図 (3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 11 3/4)



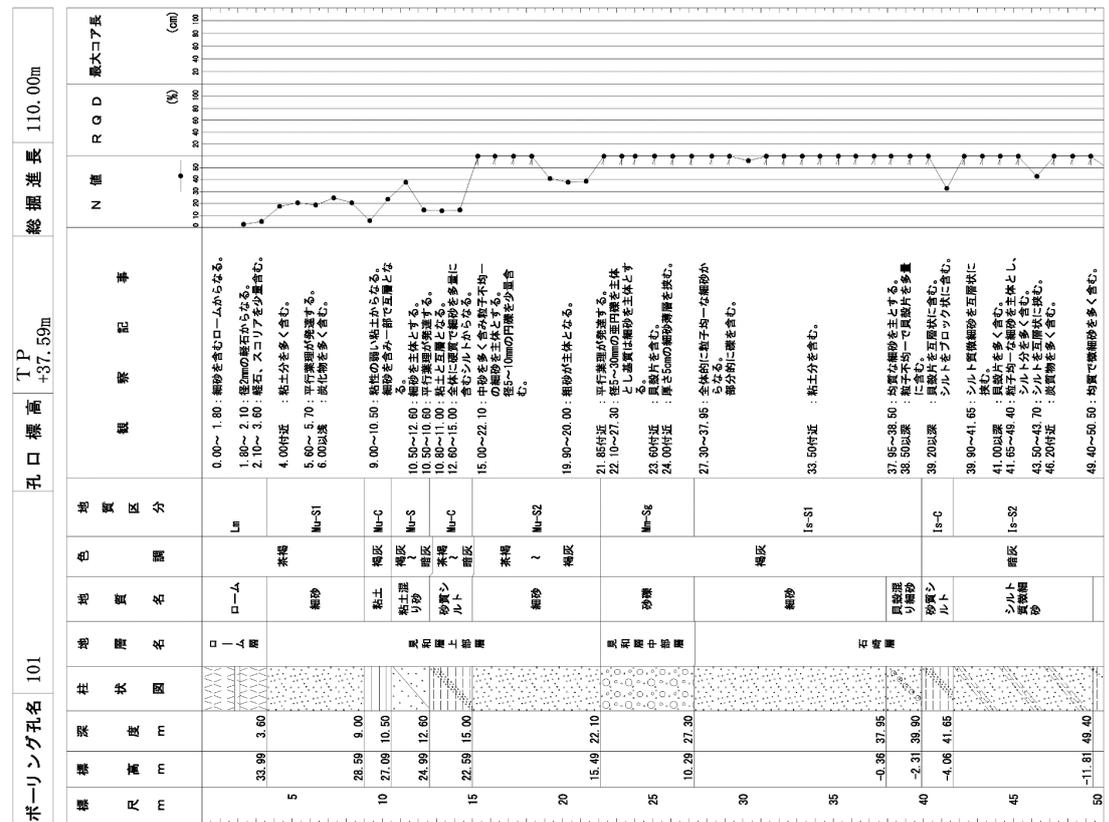
第 3.5.3 図 (4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 11 4/4)



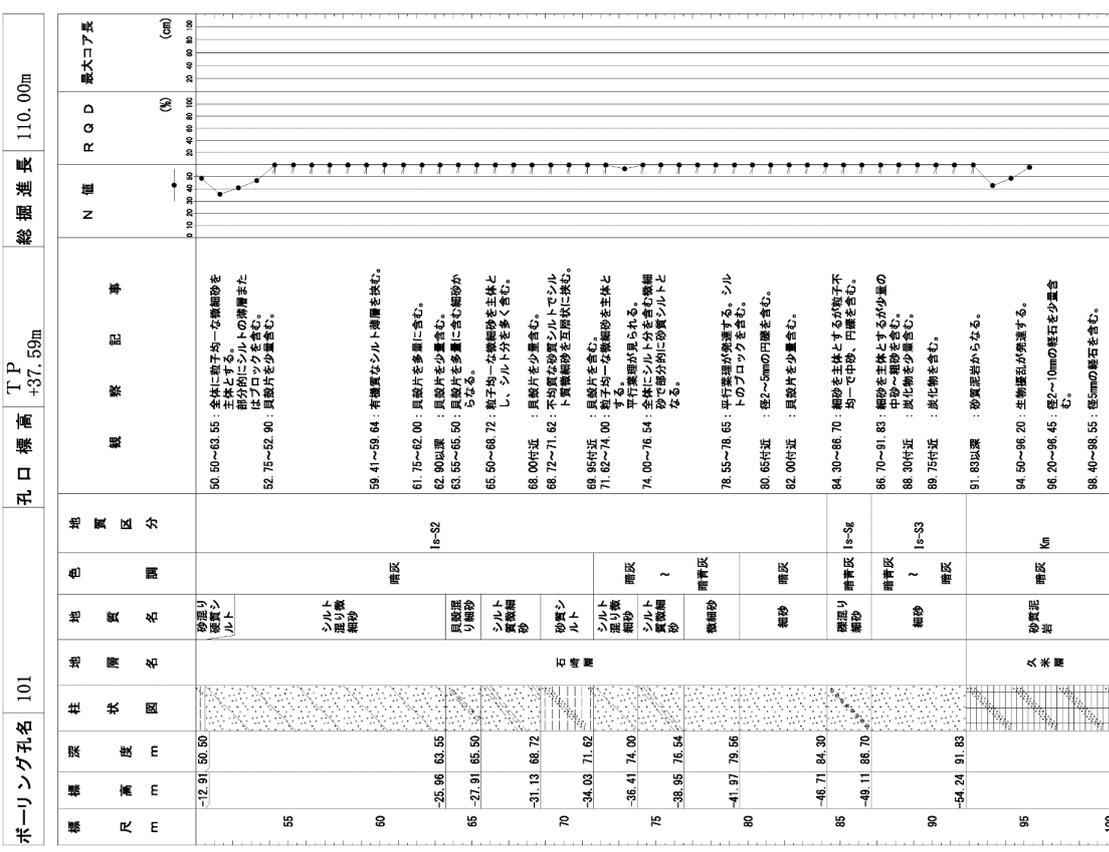
第3.5.4図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.12 1/2)



第3.5.4図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.12 2/2)

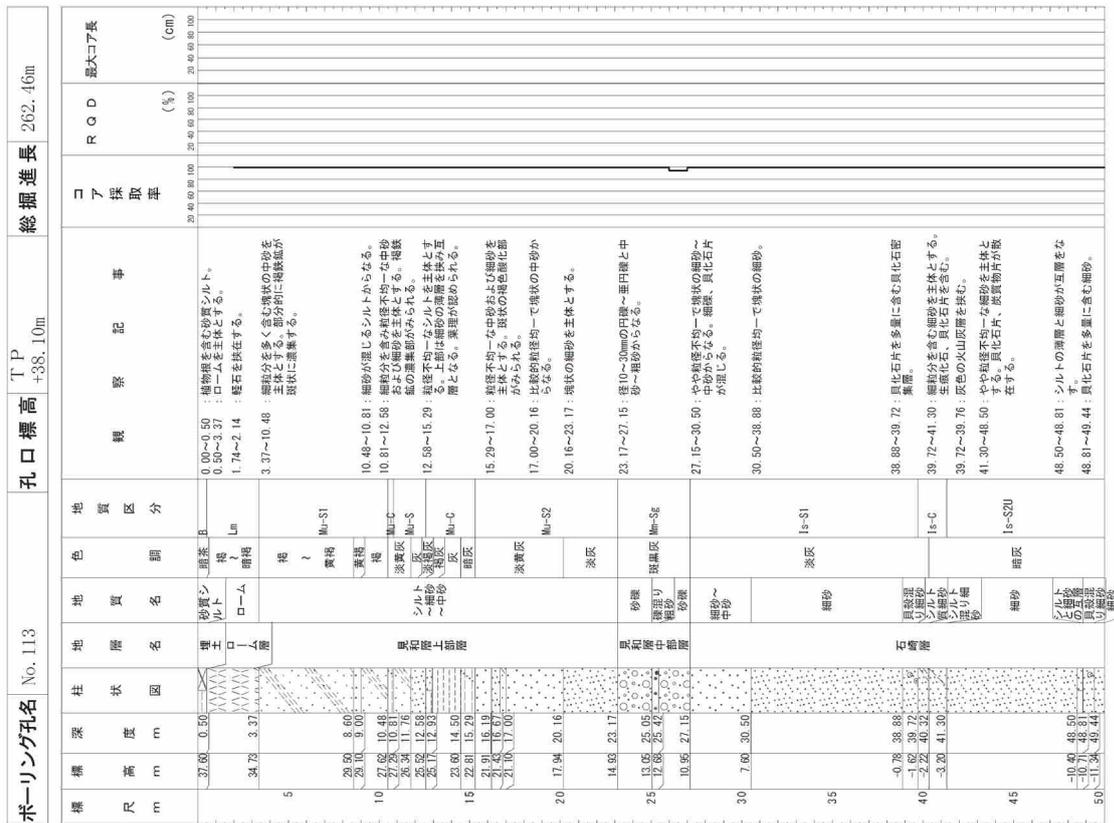


第3.5.5図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.101 1/3)

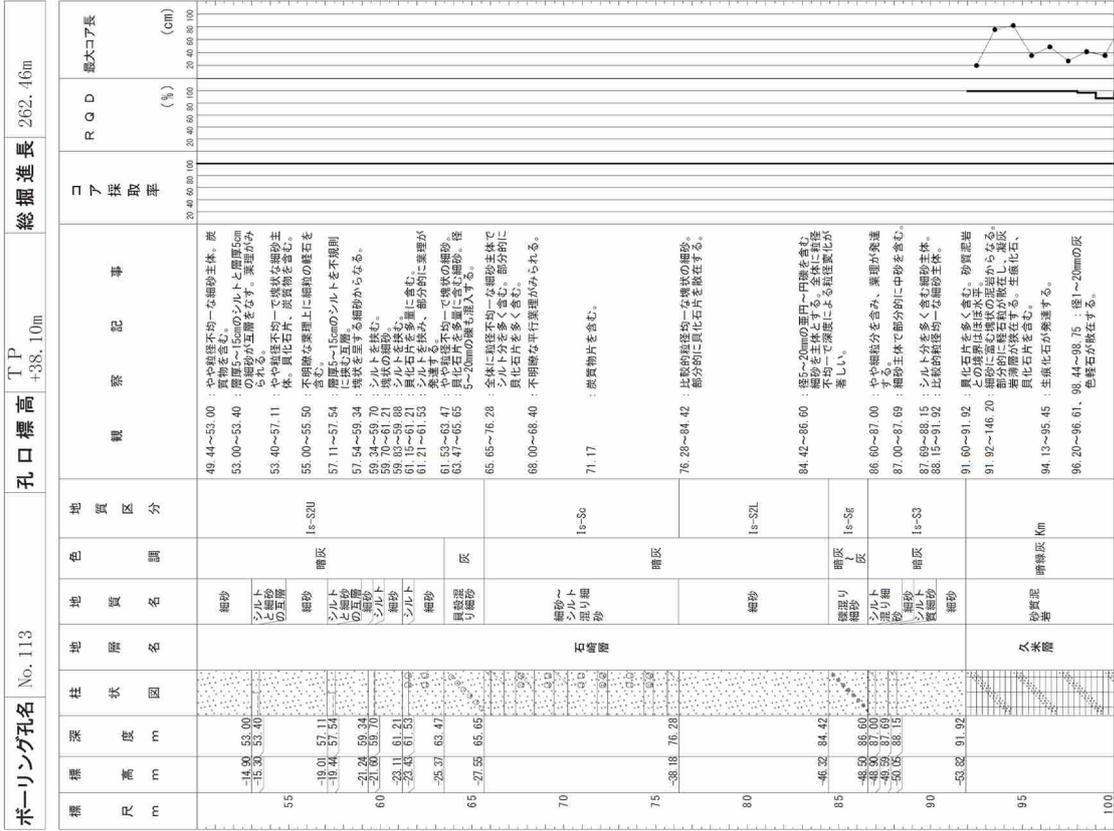


第3.5.5図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.101 2/3)





第3.5.6図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No. 113 1/6)

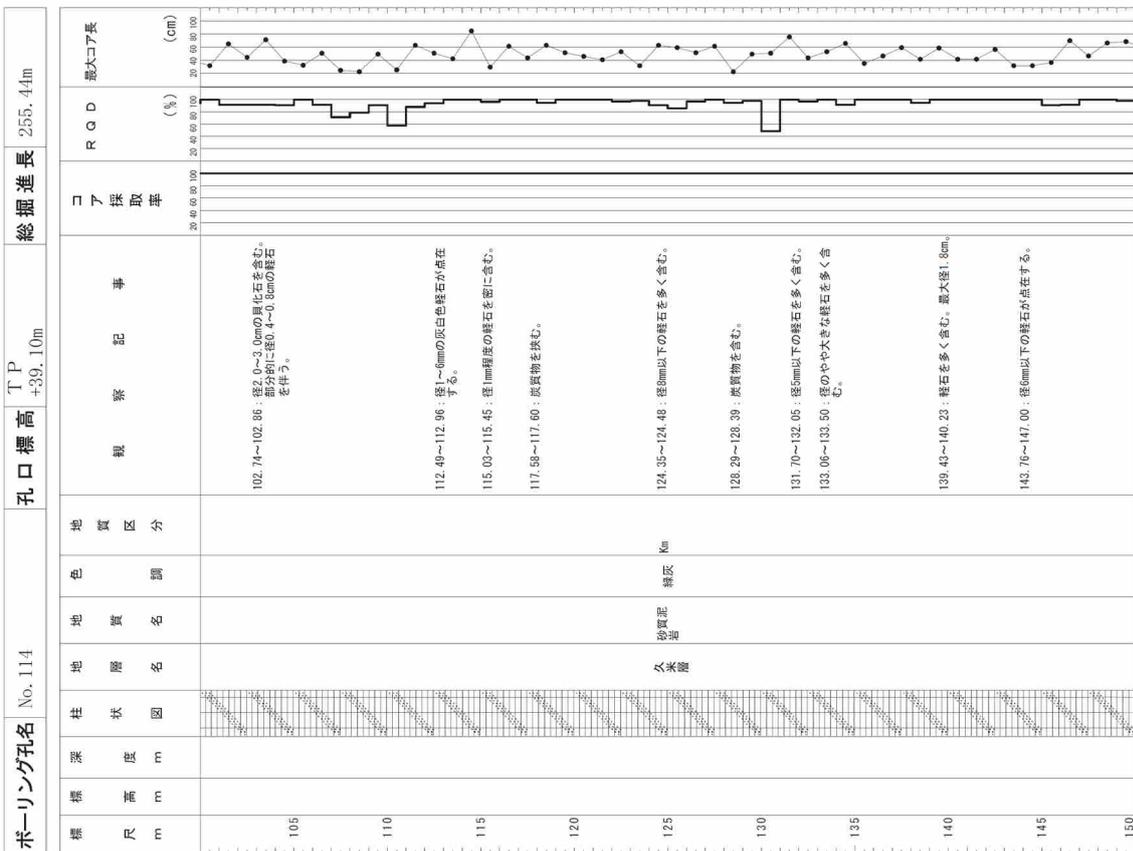


第3.5.6図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No. 113 2/6)

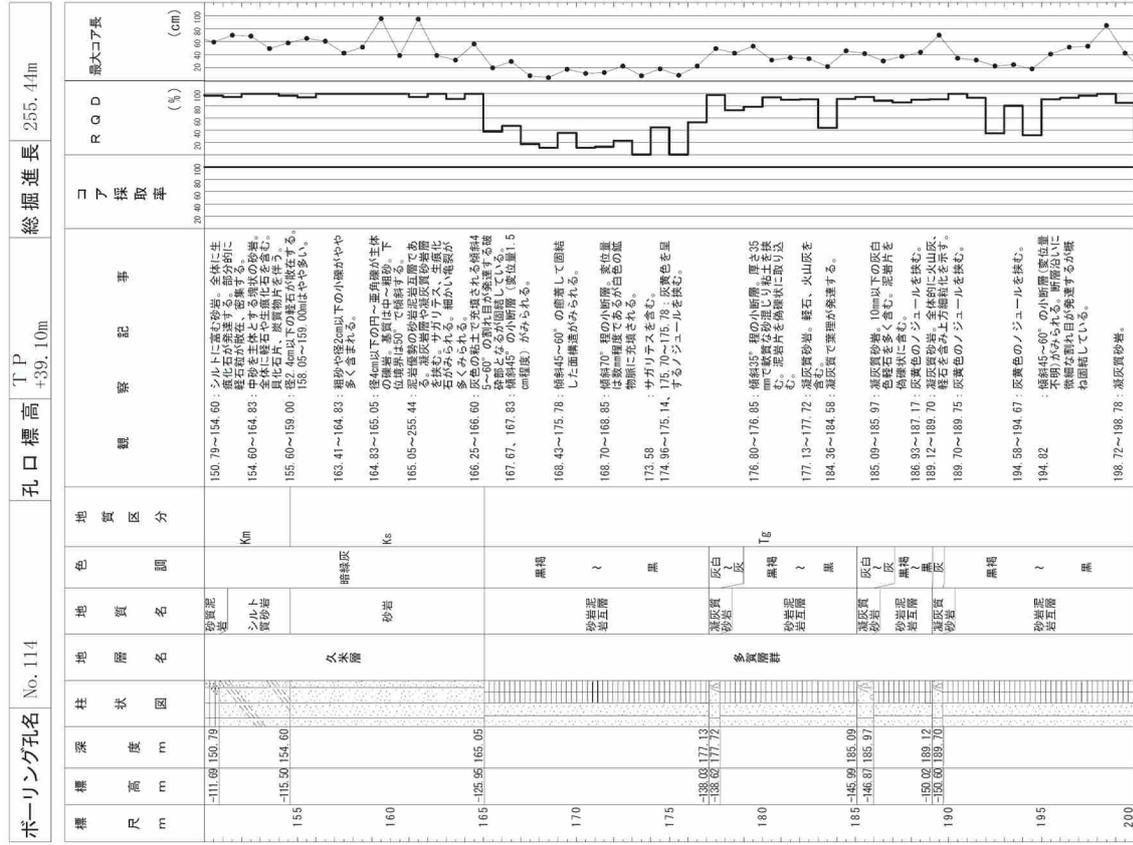




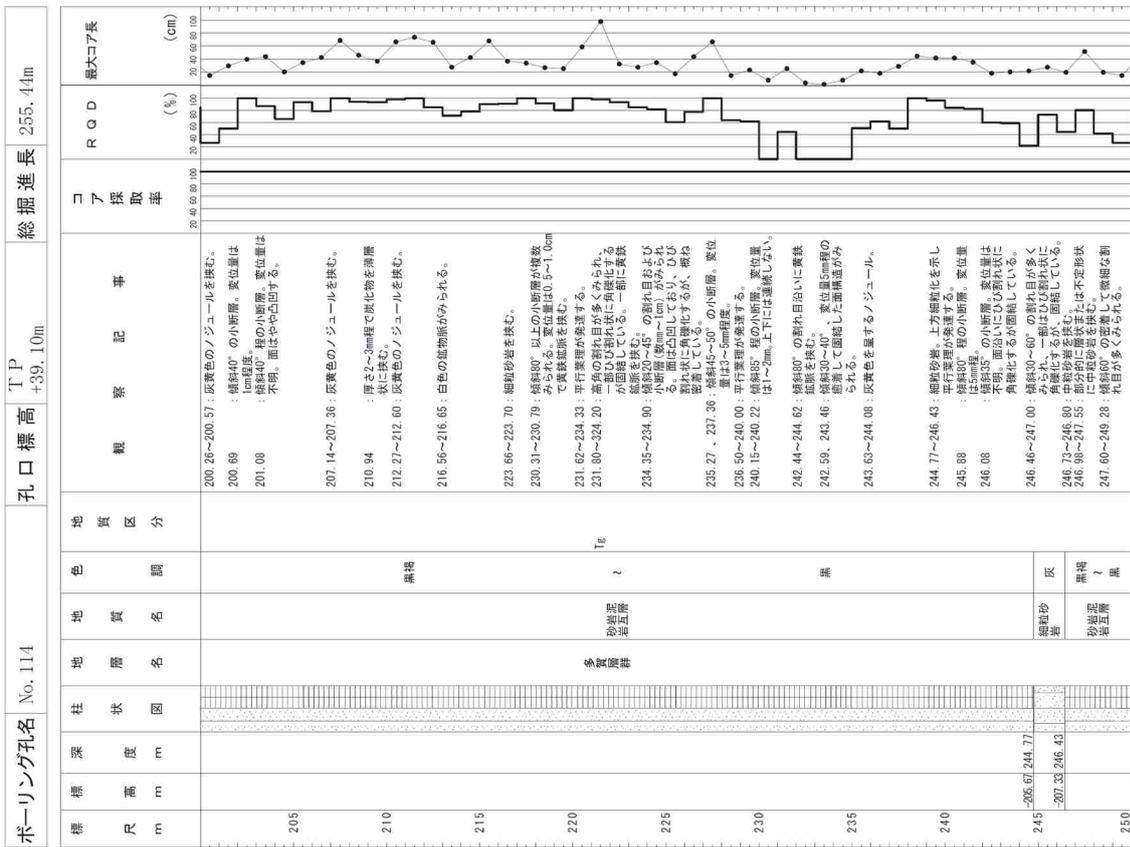




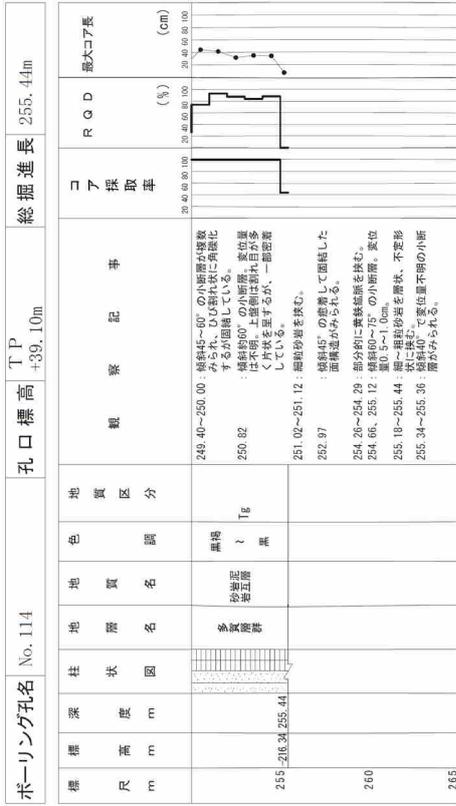
第3.5.7図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.114 3/6)



第3.5.7図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.114 4/6)



第3.5.7図(5) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.114 5/6)



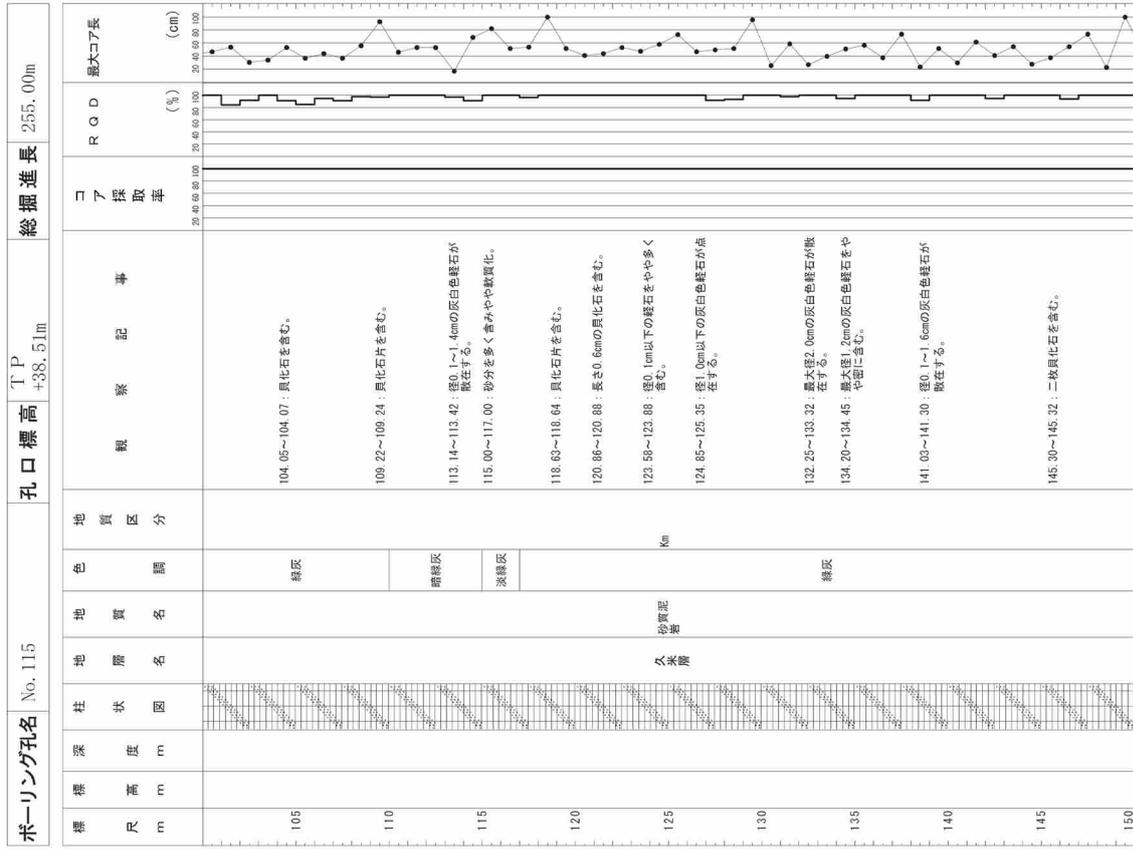
第3.5.7図(6) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.114 6/6)

ボーリング孔名 No. 115		T.P. +38.51m		総掘進長 255.00m	
標尺 m	標高 m	柱状図	地層名	地質区分	観察記事
38.24	0.26		堆土	B	0.00~0.55 : アスファルトおよび砕石。 0.55~1.24 : 全体に砂を含むローム。 0.80~1.00 : 灰白砂の砂石を少量含む。 1.24~10.01 : 硬粒分の多い塊状の中砂を主体とする。
37.96	0.55		ローム	Ms-S1	
37.27	1.24		シルト質中砂	Ms-S1	7.60~7.70 : 斑状に凝結部の産層部がみられる。
28.59	10.01		砂混りシルト	Ms-S2	10.01~10.54 : 中砂を含むシルトからなる。凝結部の産層部がみられる。
27.97	10.54		シルト質中砂	Ms-S	10.54~13.09 : 粒径均一な塊状の細砂からなる。
26.46	13.09		細砂	Ms-C	13.09~15.00 : 凝結部が混じるシルトからなる。
24.76	15.00		シルト		15.00~15.87 : シルト分を多く含む中砂。下部に凝結部を認められる。
23.51	15.87		シルト		15.87~23.03 : 部分的に中砂・微細り混り砂を含む。
22.64	15.87		シルト		
20.84	17.67		シルト		
20.28	18.23		シルト		
17.86	20.62		シルト		
16.84	21.64	シルト			
15.84	22.64	シルト			
14.58	23.90	シルト			
13.24	25.00	シルト			
10.74	27.71	シルト			
8.74	29.71	シルト			
7.71	30.74	シルト			
6.71	31.74	シルト			
5.71	32.74	シルト			
4.71	33.74	シルト			
3.71	34.74	シルト			
2.71	35.74	シルト			
1.71	36.74	シルト			
0.71	37.74	シルト			
0.00	38.51	シルト			

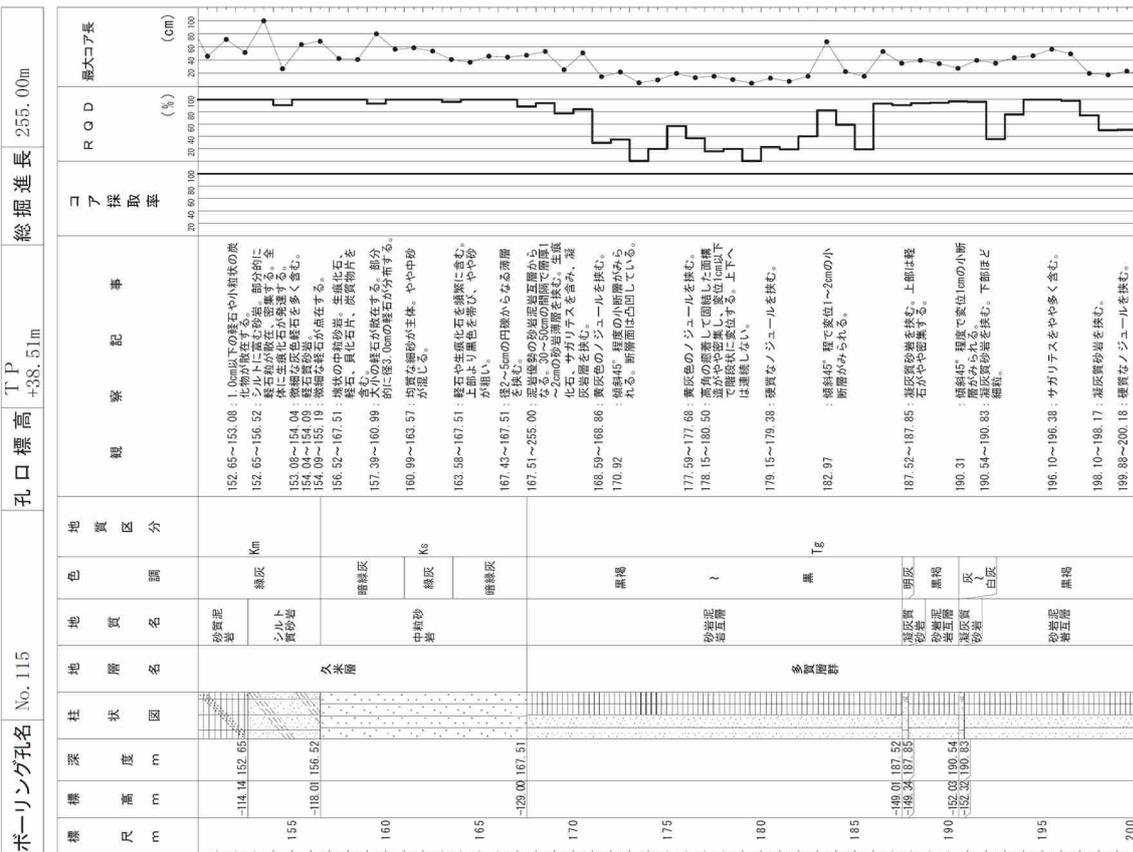
第3.5.8図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No. 115 1/6)

ボーリング孔名 No. 115		T.P. +38.51m		総掘進長 255.00m	
標尺 m	標高 m	柱状図	地層名	地質区分	観察記事
50.52	80.61		細砂	Is-S2U	50.52~50.61 : 傾斜30°程度の弱い産層部がみられる。 51.90~52.15 : 軟質な粘土を含む。
54.30	84.73		シルト		54.30~54.73 : 細砂の混じるシルトからなる。
54.73	85.61		シルト		54.73~55.61 : 凝結部のないシルトからなる。
55.61	86.78		シルト		55.61~56.78 : シルト質中砂と細砂との互層。
56.78	88.00		シルト		56.78~64.60 : 粒径均一で塊状の細砂。真化石片、生炭化石を含む。
62.55	84.61		細砂		62.55~64.60 : 真化石片を部分的に多く含む。
64.60	86.16		細砂		64.60~66.16 : 真化石片が産層部をなす。径2~3mmの凝結部および塊状のシルト。
66.16	76.22		微細り混り細砂		66.16~76.22 : やや粒径不均一でシルトを含む細砂。部分的に平行産層部がみられる。
67.21	67.27		微細り混り細砂		67.21~67.27 : 真化石片の産層部となる。
67.27	67.35		シルト		67.27~67.35 : シルトを抜き、生炭化石がみられる。
67.35	67.63		シルト		67.35~67.63 : 生炭化石がみられる。
68.00	68.00		シルト		68.00~68.00 : シルトを抜き、生炭化石がみられる。
68.00	68.00		シルト		68.00~68.00 : シルトを抜き、生炭化石がみられる。
70.90	71.00		シルト		70.90~71.00 : 厚さ1cmの真化石産層部を挟む。
70.95	71.00		微細り混り細砂		70.95~71.00 : シルトの塊状を含む。
72.10	72.40		微細り混り細砂		72.10~72.40 : 中砂を含む。
76.22	80.00		微細り混り細砂		76.22~80.00 : 粒径均一で塊状の細砂。
79.62	81.60		微細り混り細砂		79.62 : 真化石片を含む。
80.00	81.60		微細り混り細砂		80.00~81.60 : 真化石片および細砂を含む細砂からなる。
81.60	86.00		微細り混り細砂		81.60~86.00 : 均質・塊状の細砂からなる。
86.60	87.03		微細り混り細砂		86.60~87.03 : 径2~5mmの凝結部が混じる細砂。
87.03	89.47		微細り混り細砂		87.03~89.47 : 均質・塊状の細砂。
89.47	90.50		微細り混り細砂		89.47~90.50 : シルトを含む細砂。炭質物を挟む。
90.50	93.05		微細り混り細砂		90.50~93.05 : 塊状の細砂。真化石片を含む。
93.05	95.05		微細り混り細砂		93.05~95.05 : 凝結部を多く含む塊状の産層。全体に凝石、生炭化石を含む。
95.05	100.00		微細り混り細砂		

第3.5.8図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No. 115 2/6)



第3.5.8図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.115 3/6)



第3.5.8図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.115 4/6)

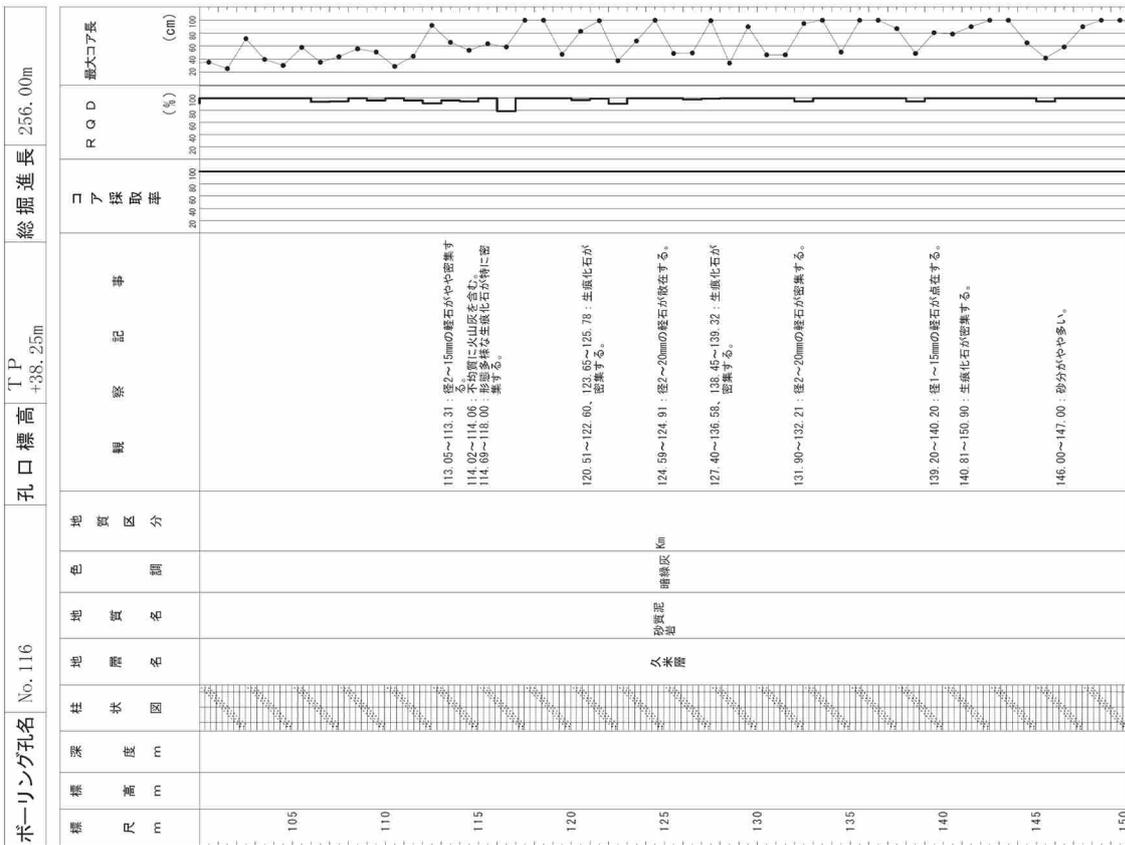


ボーリング孔名 No. 116		T P +38.25m		総掘進長 256.00m	
標高 m	深度 m	柱状図	地層名	地質名	地質区分
37.90	0.35		埋土	砂質シルト 粘土	
36.55	1.70		粘土層	粘土	Mu-S1
34.55	3.70			粘土	
33.05	5.20			粘土	
28.28	9.97			粘土	
27.12	11.13			粘土	
26.65	11.90			粘土	
25.80	12.43			粘土	
24.28	13.97			粘土	
23.45	14.80			粘土	
22.95	15.40			粘土	
22.05	16.75			粘土	
21.35	19.00			粘土	
20.72	20.52			粘土	
16.05	22.20			粘土	
14.72	23.53			粘土	
13.70	24.55			粘土	
12.37	25.88			粘土	
11.30	26.95			粘土	
10.25	28.00			粘土	
9.32	28.93			粘土	
8.25	30.00			粘土	
				粘土	

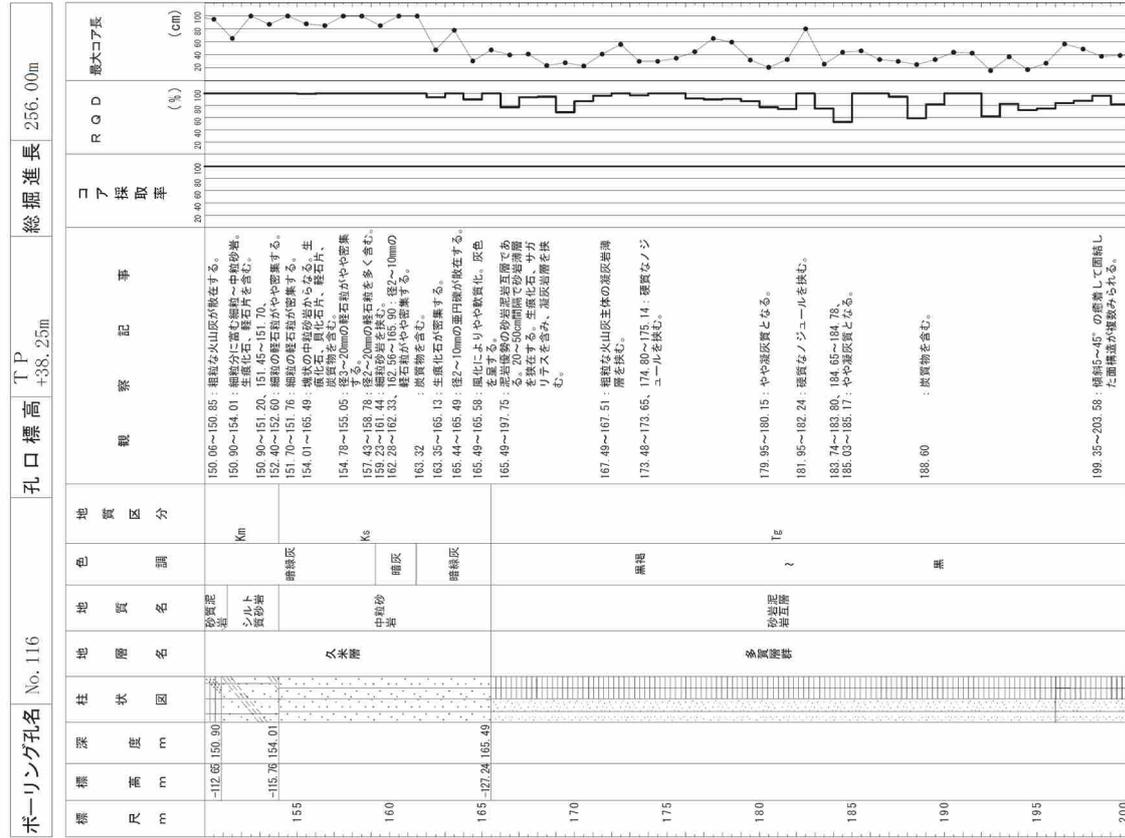
第3.5.9図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No. 116 1/6)

ボーリング孔名 No. 116		T P +38.25m		総掘進長 256.00m	
標高 m	深度 m	柱状図	地層名	地質名	地質区分
55	16.30			粘土	
54.55	16.55			粘土	
54.15	17.45			粘土	
54.55	18.00			粘土	
54.55	18.00			粘土	
54.55	18.00			粘土	
54.55	18.00			粘土	
54.55	18.00			粘土	
54.55	18.00			粘土	
54.55	18.00			粘土	
60	20.10			粘土	
65	26.05			粘土	
66.78	29.53			粘土	
67.81	31.50			粘土	
68.41	32.10			粘土	
69.75	34.45			粘土	
71.59	37.81			粘土	
76.95	44.50			粘土	
80.50	48.00			粘土	
81.30	49.20			粘土	
82.62	50.38			粘土	
82.85	50.60			粘土	
84.50	52.00			粘土	
86.00	53.12			粘土	
91.82	64.43			粘土	
93.12	66.78			粘土	
98.75	73.45			粘土	

第3.5.9図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No. 116 2/6)

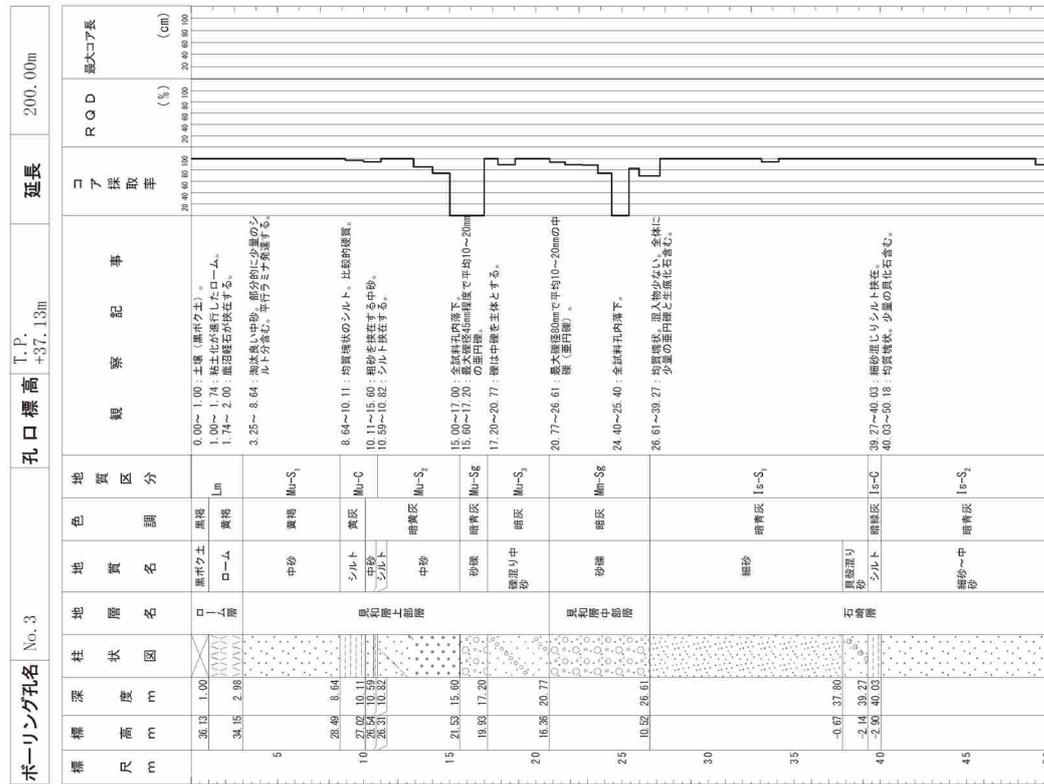


第3.5.9図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.116 3/6)

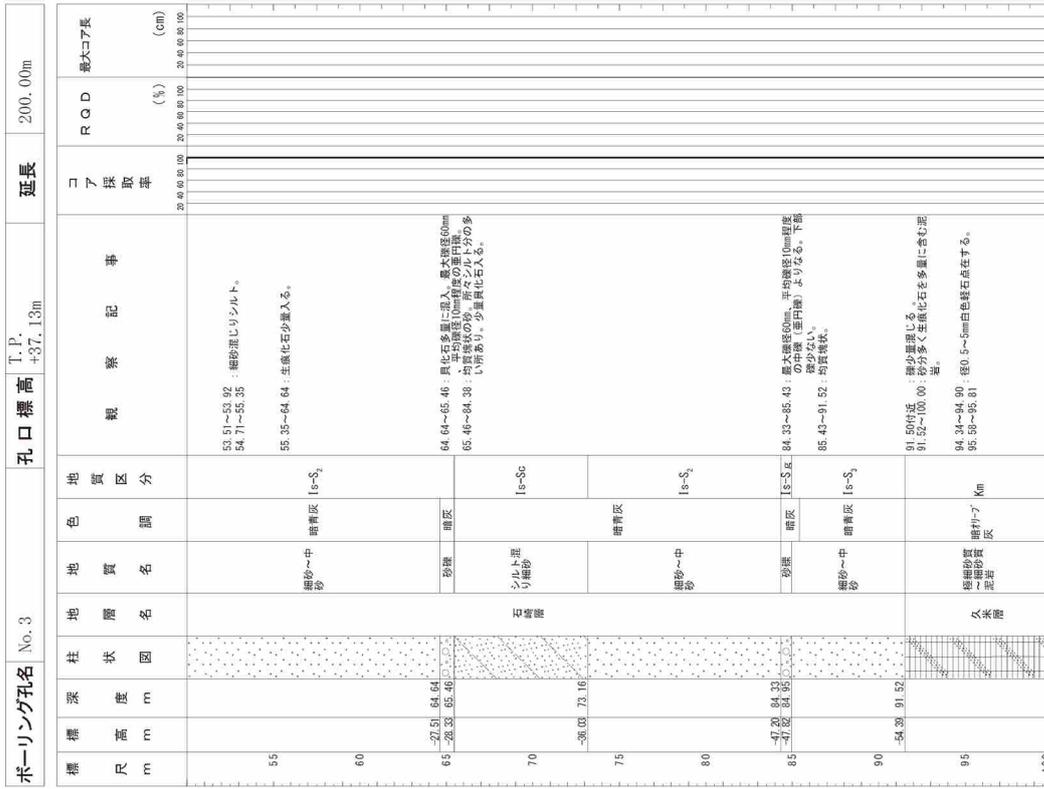


第3.5.9図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図(No.116 4/6)





第3.5.10図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 3 1/4)

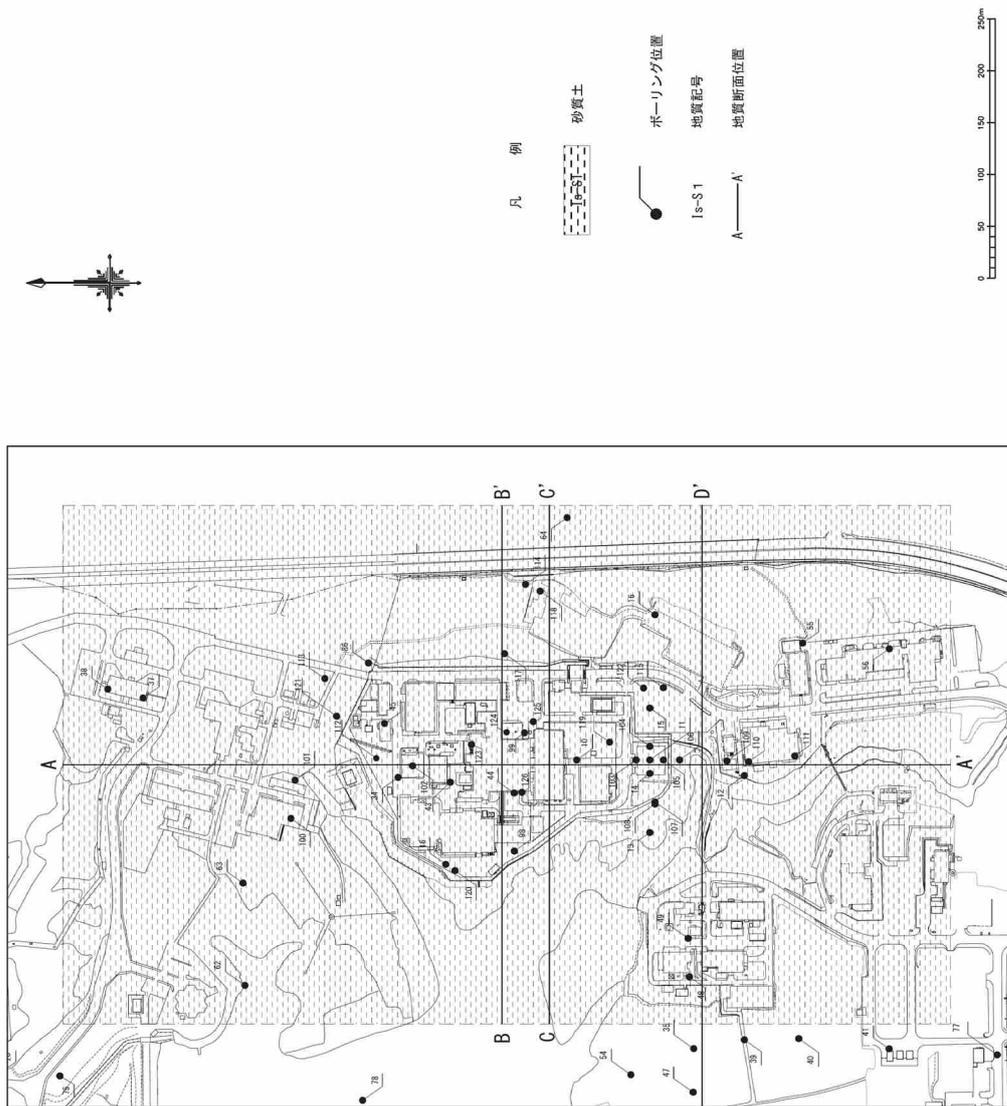


第3.5.10図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 3 2/4)



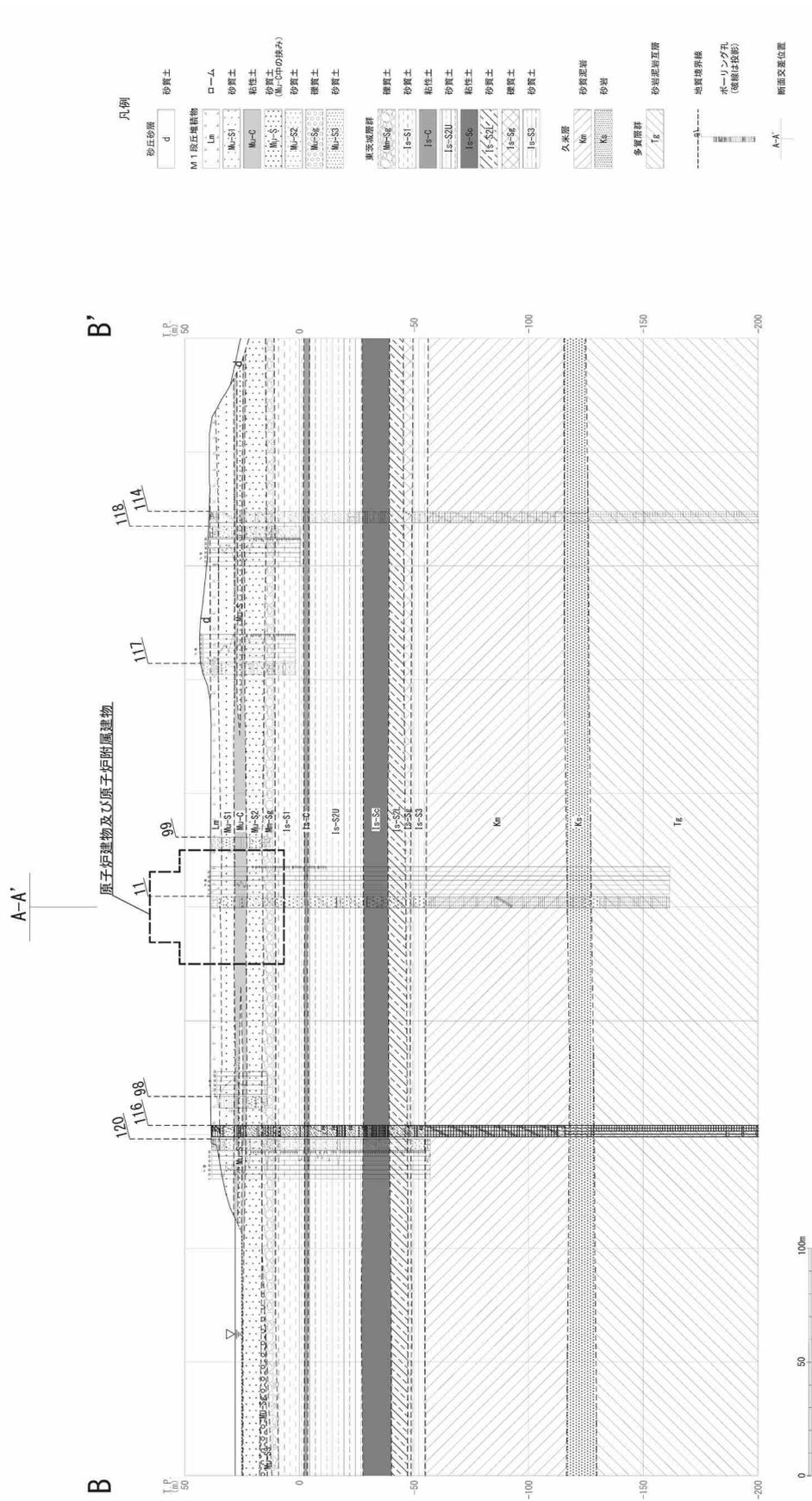




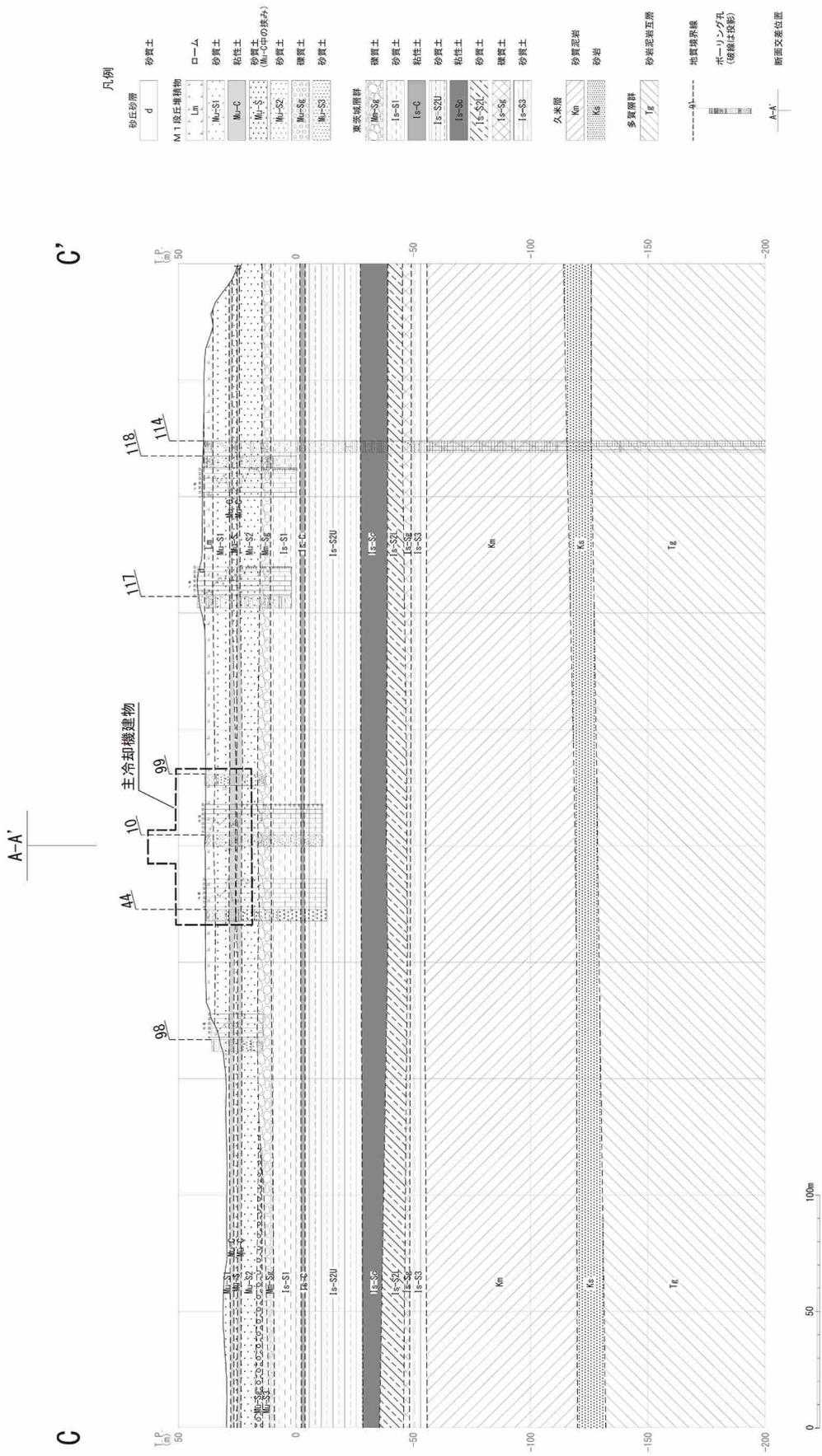


第 3.5.12 図 原子炉施設設置位置付近の水平地質断面図



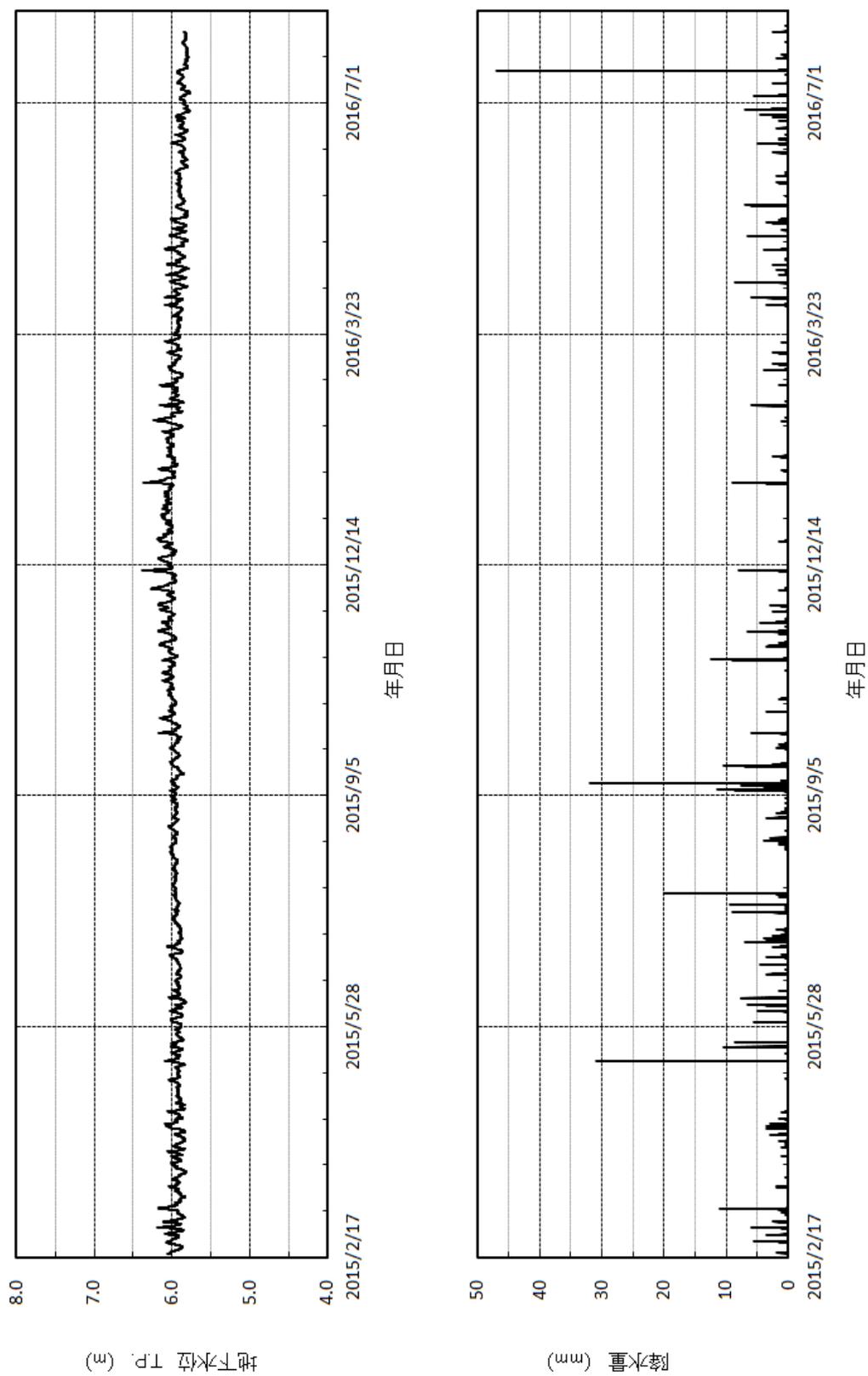


第 3.5.13 図 (2) 原子炉施設設置位置付近の鉛直地質断面図及び地盤分類図 (B-B' 測線)

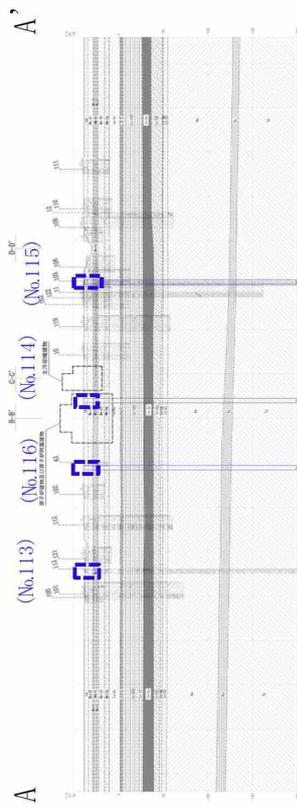


第 3.5.13 図 (3) 原子炉施設設置位置付近の鉛直地質断面図及び地盤分類図 (C-C' 測線)

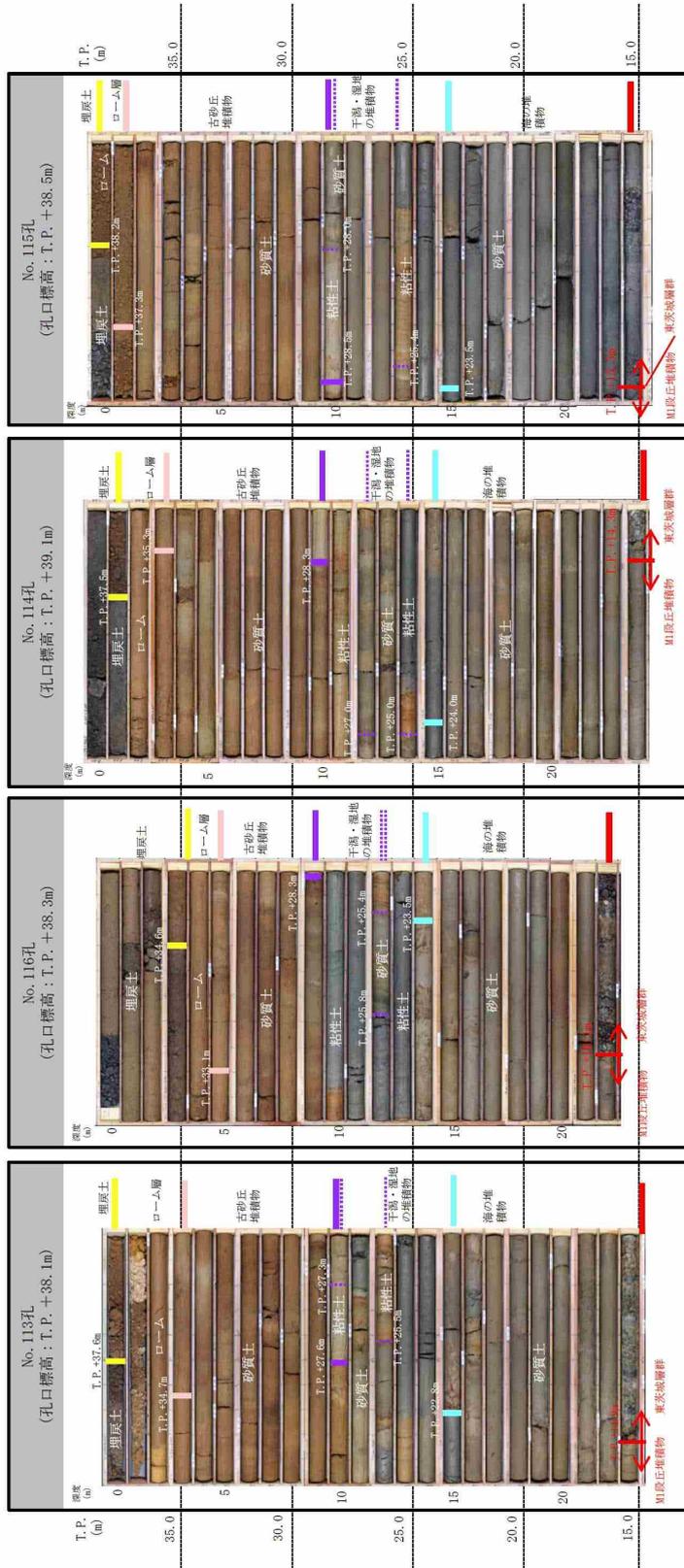




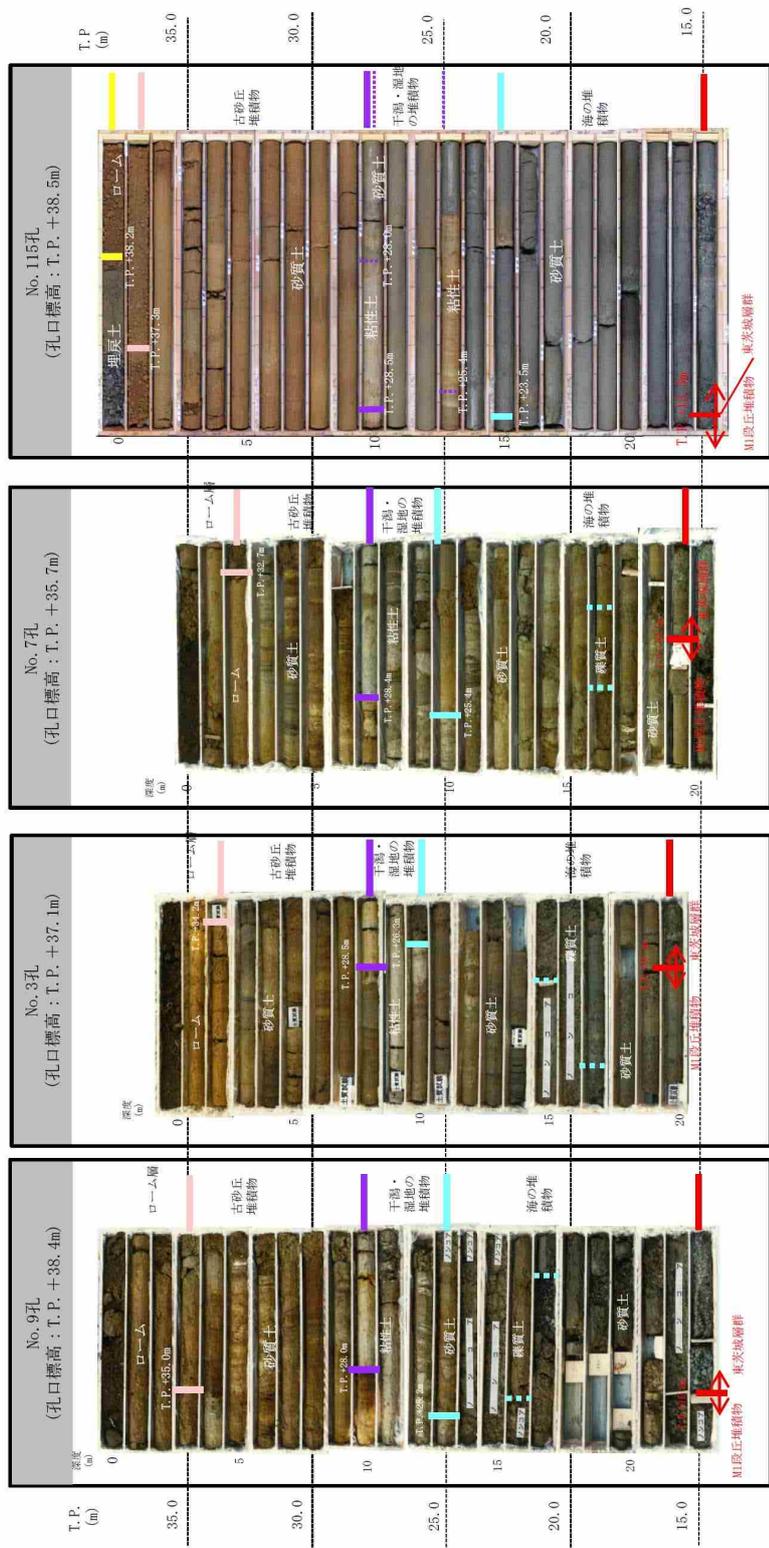
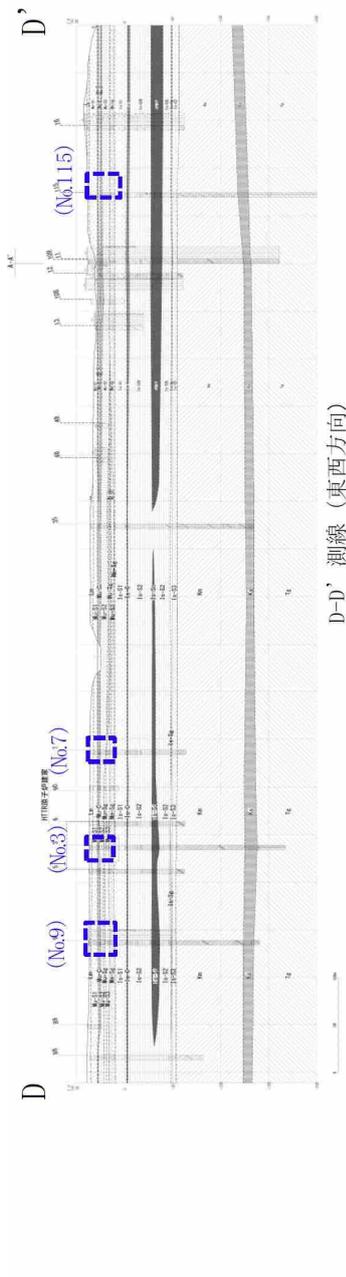
第 3.5.14 図 地下水位変動図 (No. 108)



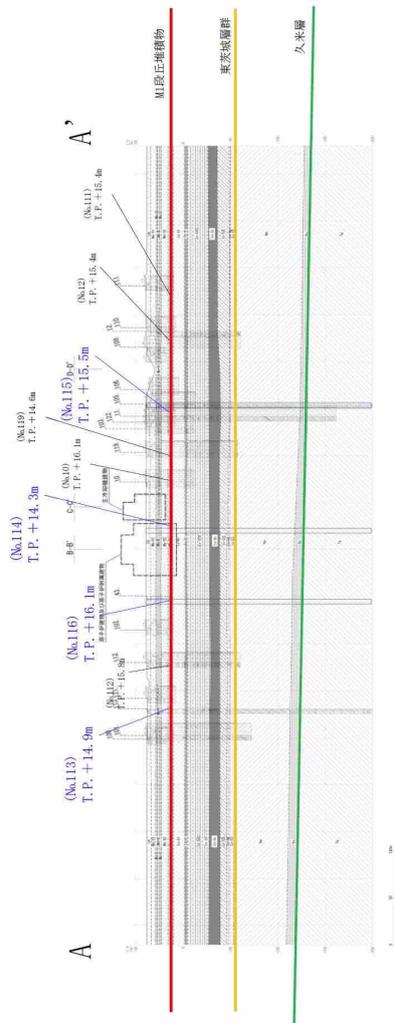
A-A' 測線 (南北方向)



第3.5.15 図 (1) M1段丘堆積物の層相 (南北方向)



第3.5.15図 (2) M1段丘堆積物の層相 (東西方向)



A-A' 測線 (南北方向)

No. 113孔  
(境界位置：T.P. +14.9m)

M1段丘堆積物  
東茨城層群

[M1段丘堆積物基底付近の特徴]  
細砂を主体とする。塊状で、部分的に細粒分を含み、やや粒径不均一である。

[境界付近の東茨城層群の特徴]  
径10～30mm、最大径60mm以上の円礫～亜円礫と粗砂～中砂の基質の砂礫からなる。

No. 116孔  
(境界位置：T.P. +16.1m)

M1段丘堆積物  
東茨城層群

[M1段丘堆積物基底付近の特徴]  
滴次の良い中砂からなり、砂礫を挟む。

[境界付近の東茨城層群の特徴]  
径5～30mm、最大径70mm以上の亜円～円礫と粗砂の基質の砂礫からなる。

No. 114孔  
(境界位置：T.P. +14.3m)

M1段丘堆積物  
東茨城層群

[M1段丘堆積物基底付近の特徴]  
10～15cm間隔で、細砂層と礫混じり細砂層（礫径2～3mm）が互層する。

[境界付近の東茨城層群の特徴]  
径5～30mm、最大径50mm以上の、亜円～円礫と、シルト～細砂の基質の砂礫からなる。

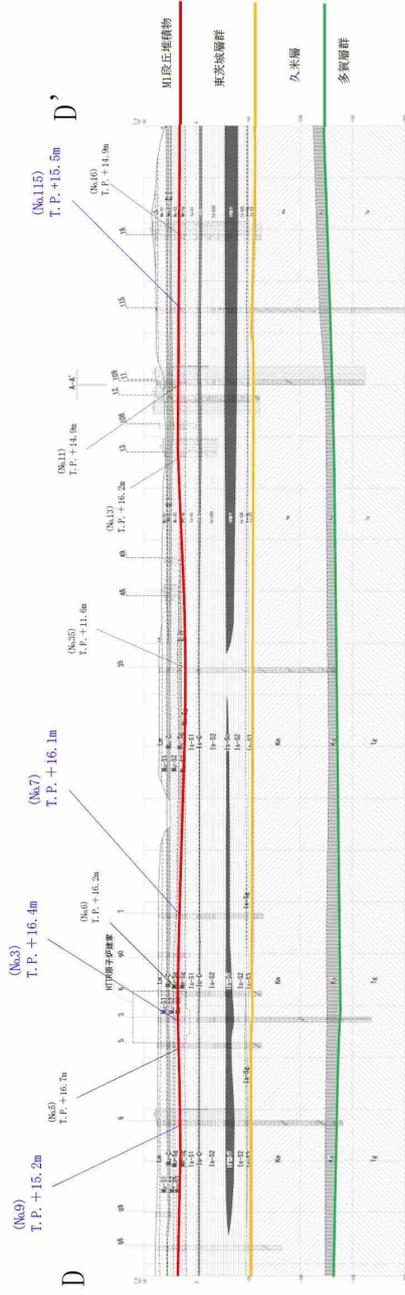
No. 115孔  
(境界位置：T.P. +15.5m)

M1段丘堆積物  
東茨城層群

[M1段丘堆積物基底付近の特徴]  
粒径均一な細砂からなり、細礫や粗砂がやや混じる。

[境界付近の東茨城層群の特徴]  
径5～40mm、最大径50mmの亜円～円礫と粗砂の基質の砂礫からなる。

第 3.5.16 図 (1) M1 段丘堆積物と東茨城層群との境界付近の層相 (南北方向)

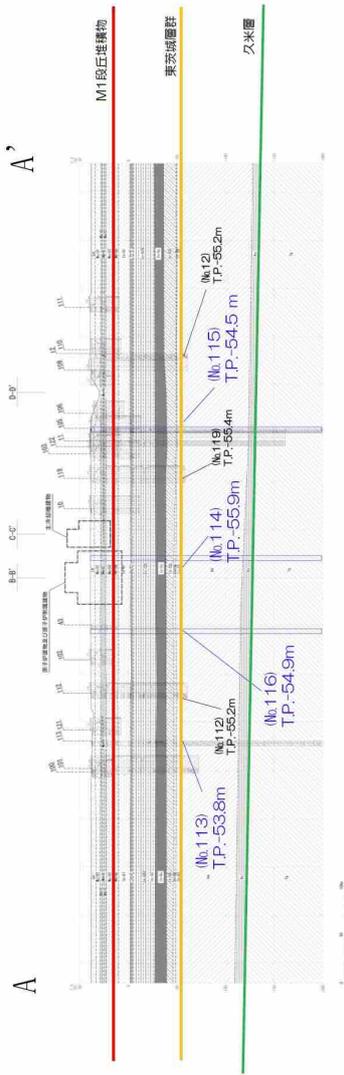


D-D' 測線 (東西方向)

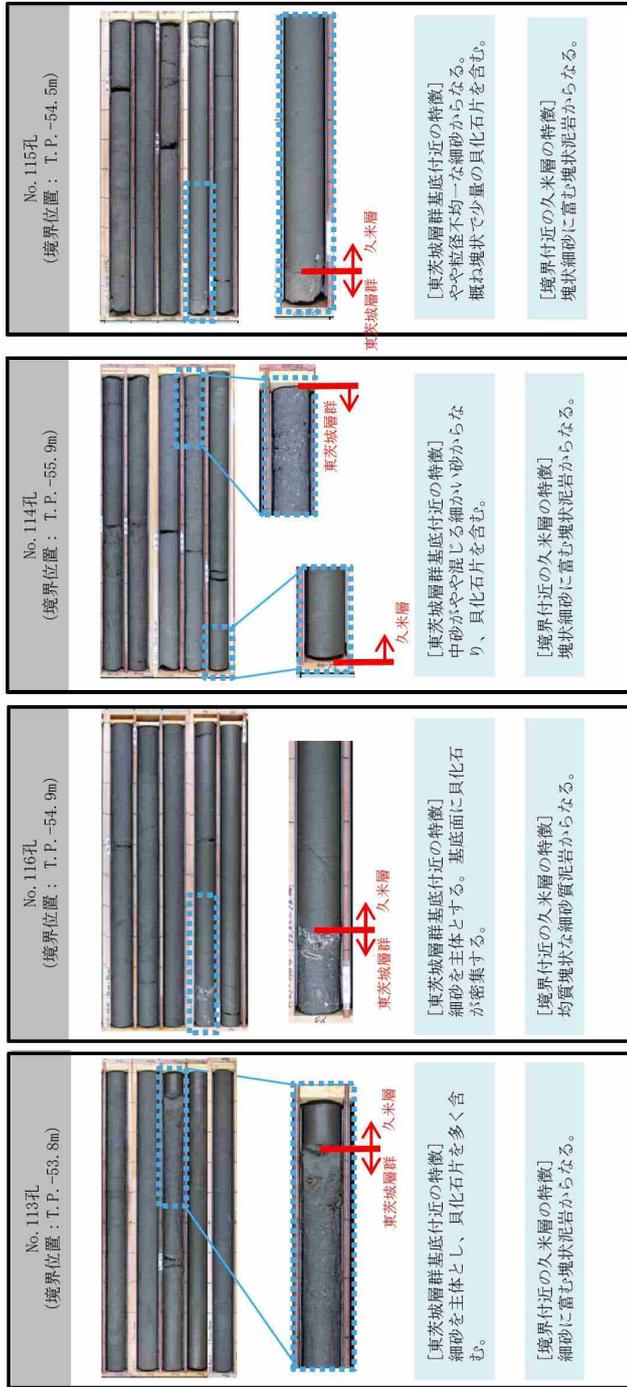
<p>No. 9孔 (境界位置: T.P. +15.2m)</p> <p>M1段丘堆積物 東茨城層群</p>	<p>[M1段丘堆積物基底付近の特徴] 細砂～礫混じり粗砂からなり、砂礫を挟む。</p>	<p>[境界付近の東茨城層群の特徴] 砂礫からなり、礫は最大径90mmで平均径10～20mmの円～垂角礫からなる。</p>
<p>No. 3孔 (境界位置: T.P. +16.4m)</p> <p>M1段丘堆積物 東茨城層群</p>	<p>[M1段丘堆積物基底付近の特徴] 礫混じり中砂からなり、礫は中礫を主体とする。</p>	<p>[境界付近の東茨城層群の特徴] 砂礫からなり、礫は最大径80mmで平均径10～20mmの中礫(垂円礫)からなる。</p>
<p>No. 7孔 (境界位置: T.P. +16.1m)</p> <p>M1段丘堆積物 東茨城層群</p>	<p>[M1段丘堆積物基底付近の特徴] 淘汰の良い中砂からなり、砂礫を挟む。</p>	<p>[境界付近の東茨城層群の特徴] 砂礫からなり、礫は最大径80mmで平均20mmの垂円礫。</p>
<p>No. 115孔 (境界位置: T.P. +15.5m)</p> <p>M1段丘堆積物 東茨城層群</p>	<p>[M1段丘堆積物基底付近の特徴] 粒径均一な細砂からなり、細礫や粗砂がやや混じる。</p>	<p>[境界付近の東茨城層群の特徴] 径5～40mm、最大径50mmの垂円～円礫と粗砂の基質の砂礫からなる。</p>

※ノンコアの部分については、柱状図に基づき地層境界を記載

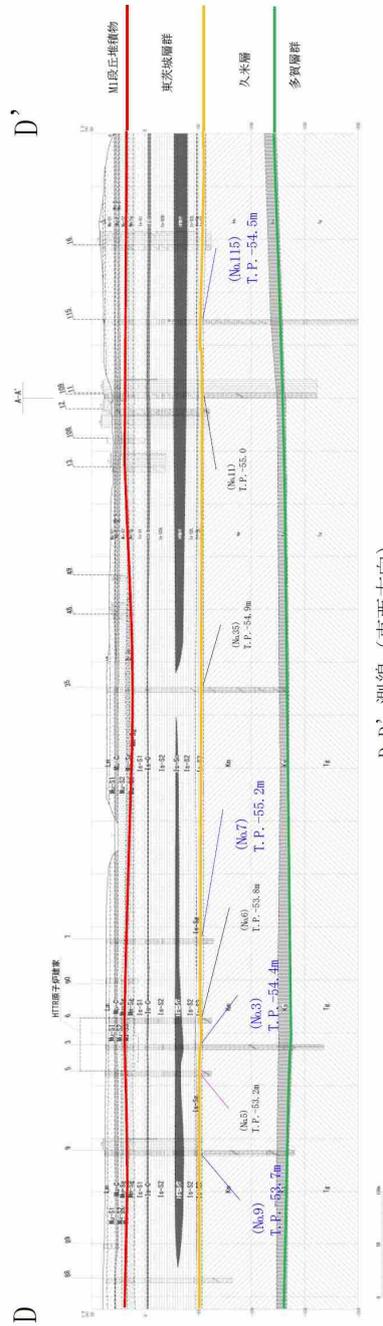
### 第3.5.16図 (2) M1段丘堆積物と東茨城層群との境界付近の層相 (東西方向)



A-A' 測線 (南北方向)



第 3.5.17 図 (1) 東茨城層群と久米層との境界付近の層相 (南北方向)



D-D' 測線 (東西方向)

No. 9孔  
(境界位置： T.P. -53.7m)

東茨城層群 久米層

[東茨城層群基底付近の特徴]  
シルト混じり細砂～中砂からなる。

[境界付近の久米層の特徴]  
均質塊状な細砂質泥岩からなる。

No. 3孔  
(境界位置： T.P. -54.4m)

東茨城層群 久米層

[東茨城層群基底付近の特徴]  
細砂～中砂からなる。

[境界付近の久米層の特徴]  
種細砂質～細砂質泥岩からなる。

No. 7孔  
(境界位置： T.P. -55.2m)

東茨城層群 久米層

[東茨城層群基底付近の特徴]  
細砂～中砂からなる。

[境界付近の久米層の特徴]  
均質塊状な種細砂質～細砂質泥岩からなる。

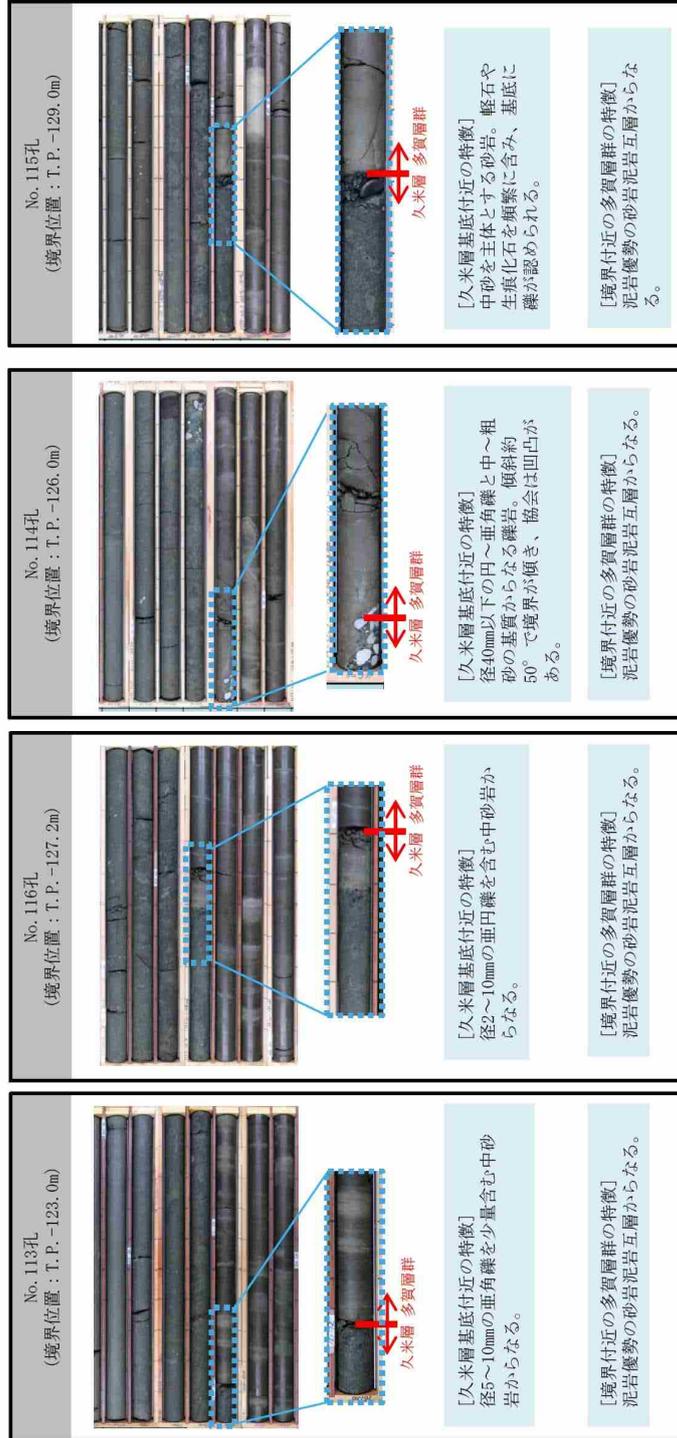
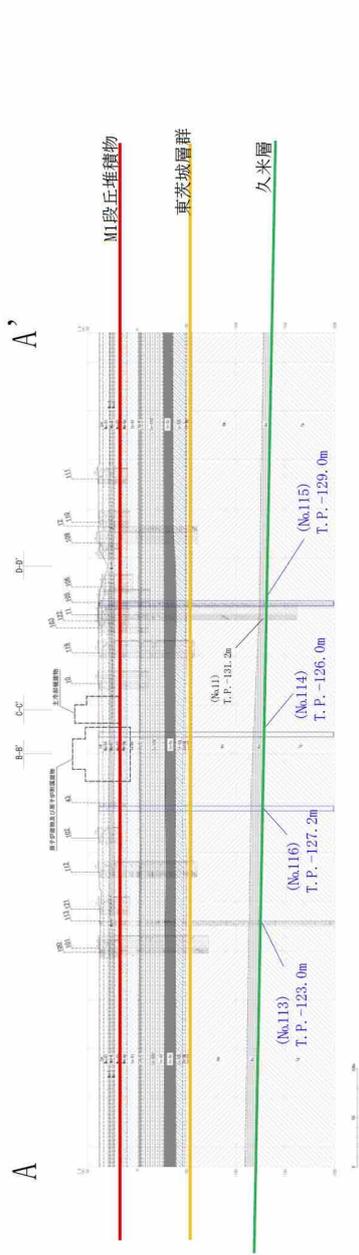
No. 115孔  
(境界位置： T.P. -54.5m)

東茨城層群 久米層

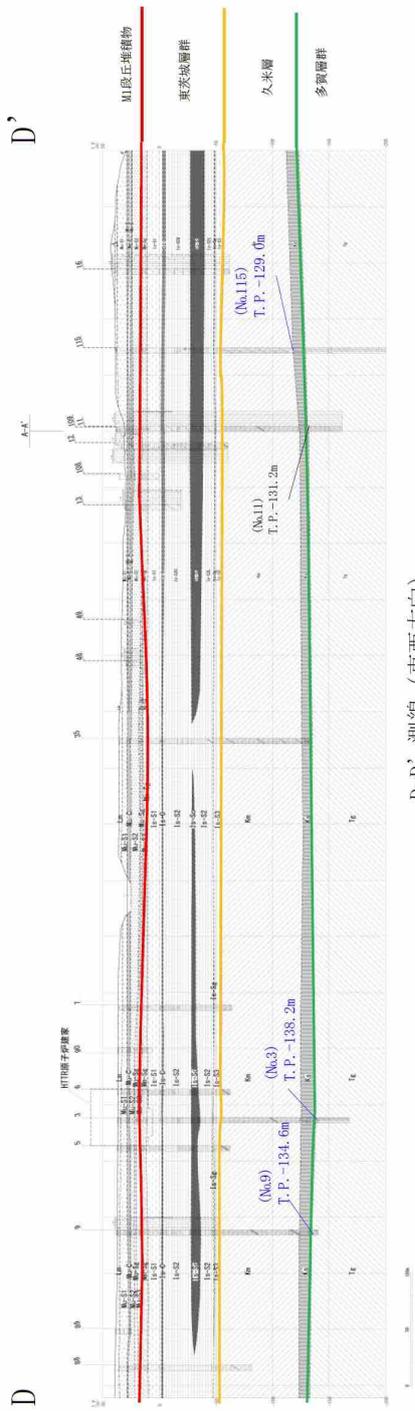
[東茨城層群基底付近の特徴]  
やや粒径不均一な細砂からなる。概ね塊状で少量の貝化石片を含む。

[境界付近の久米層の特徴]  
塊状細砂に置む塊状泥岩からなる。

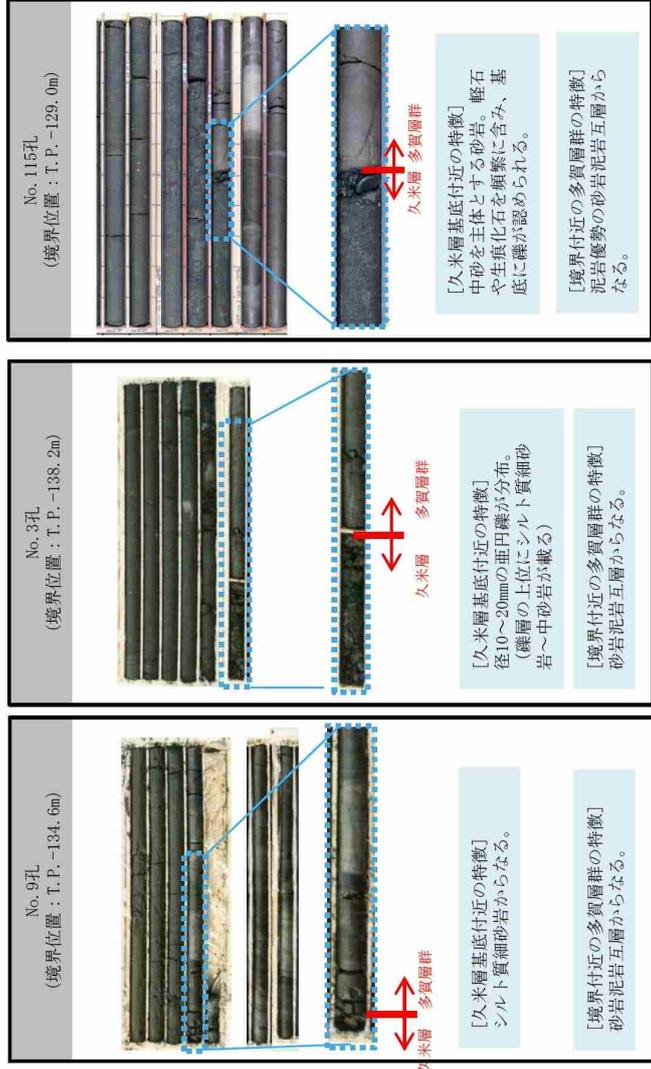
第 3.5.17 図 (2) 東茨城層群と久米層との境界付近の層相 (東西方向)



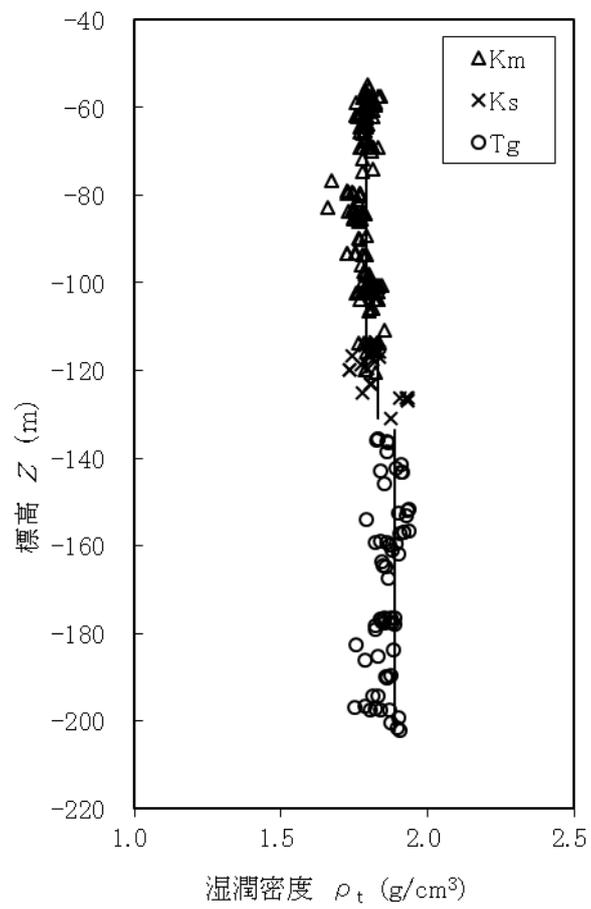
第3.5.18図 (1) 久米層と多賀層群との境界付近の層相 (南北方向)



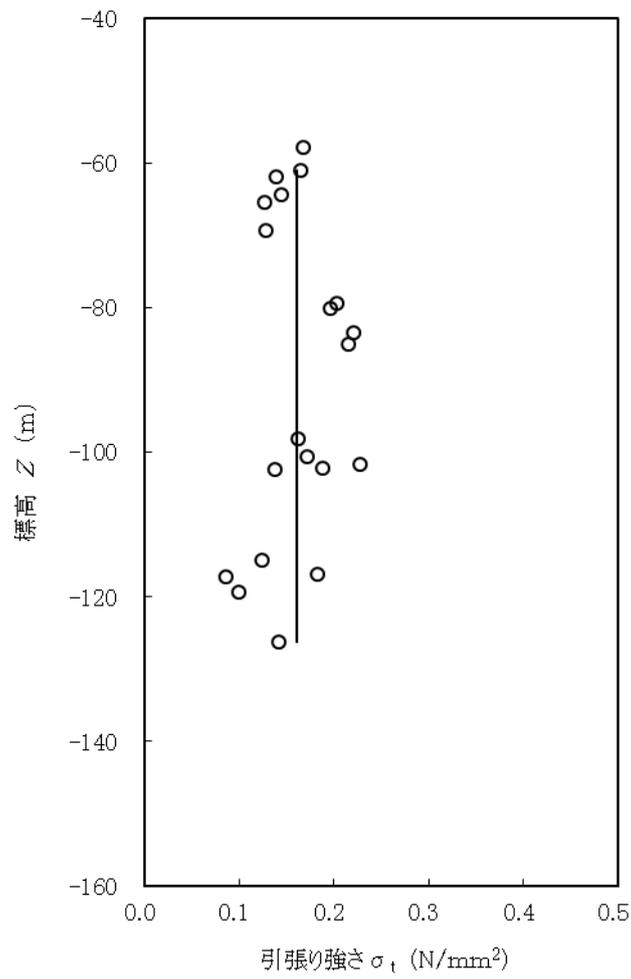
D-D' 測線 (東西方向)



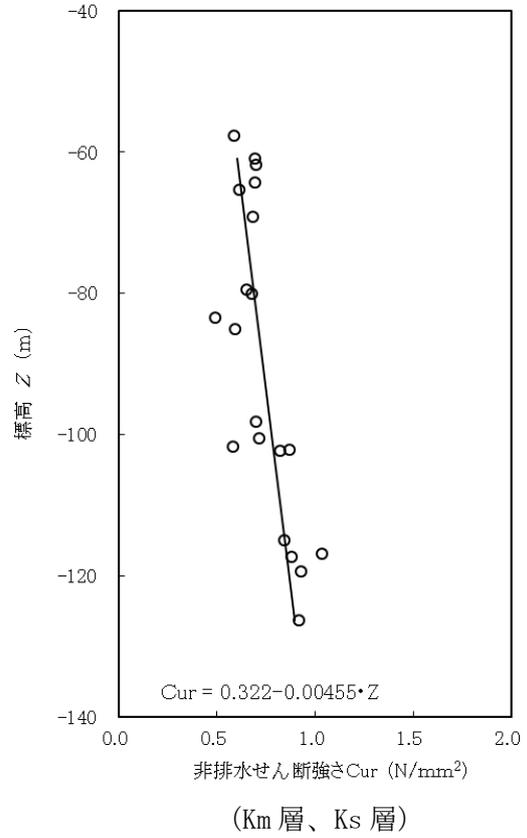
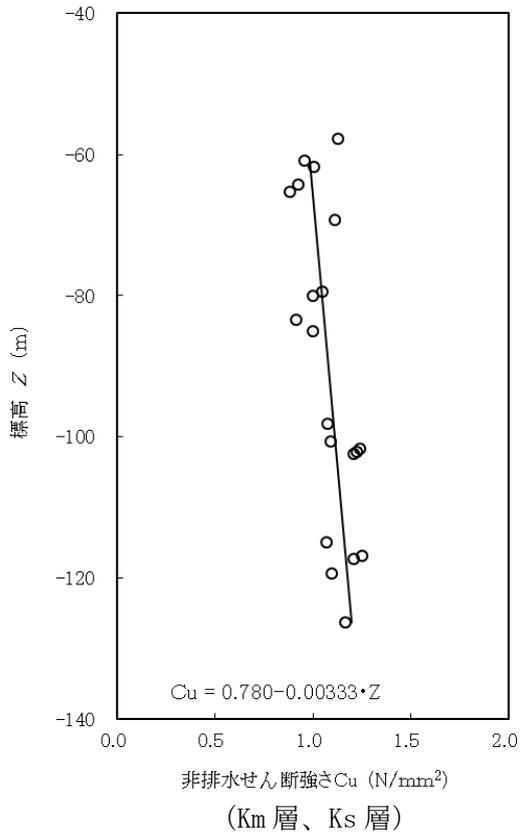
第 3.5.18 図 (2) 久米層と多賀層群との境界付近の層相 (東西方向)



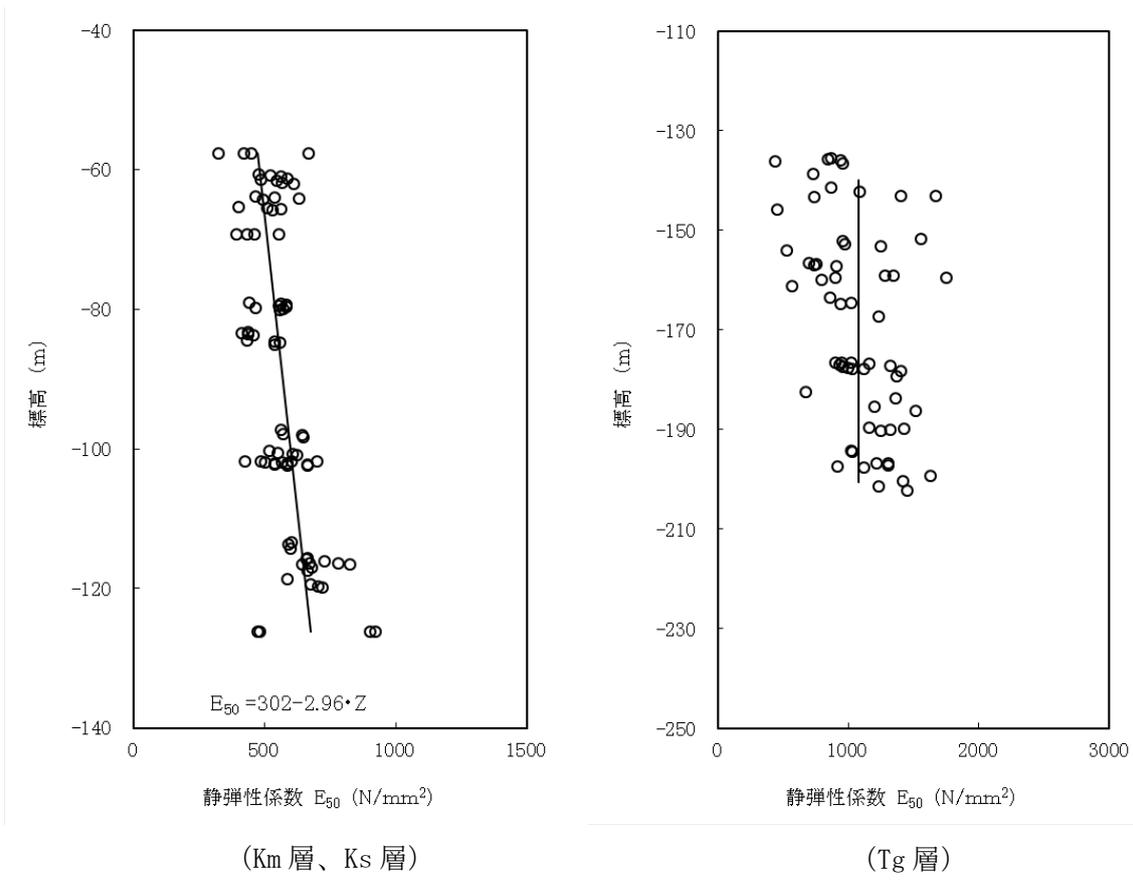
第 3.5.19 図 湿潤密度試験結果



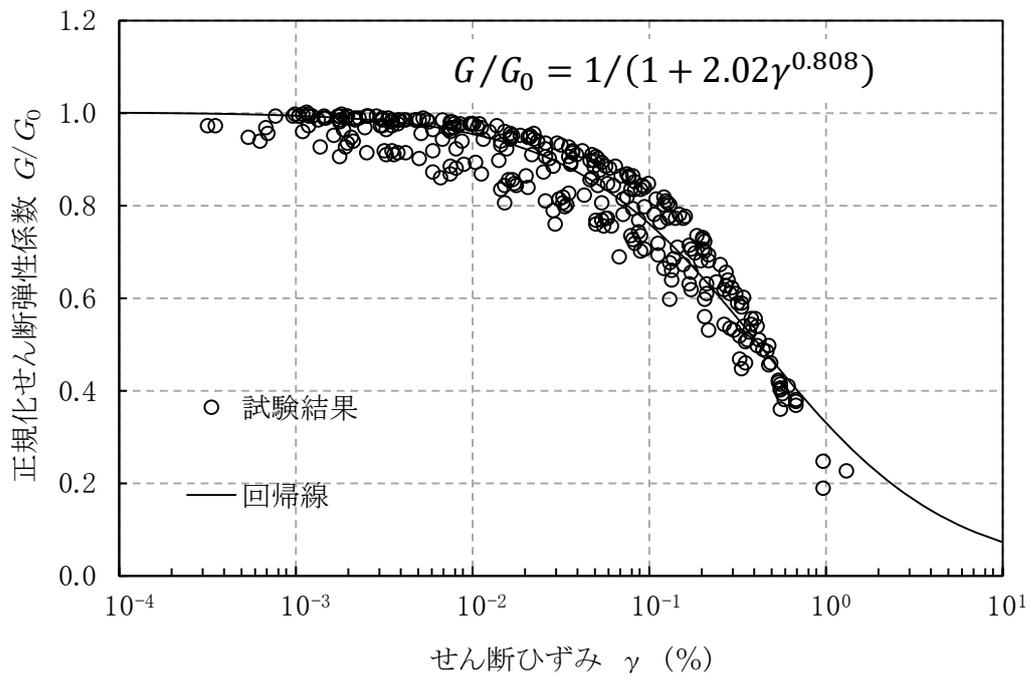
第 3.5.20 図 引張強さ  $\sigma_t$  の試験結果



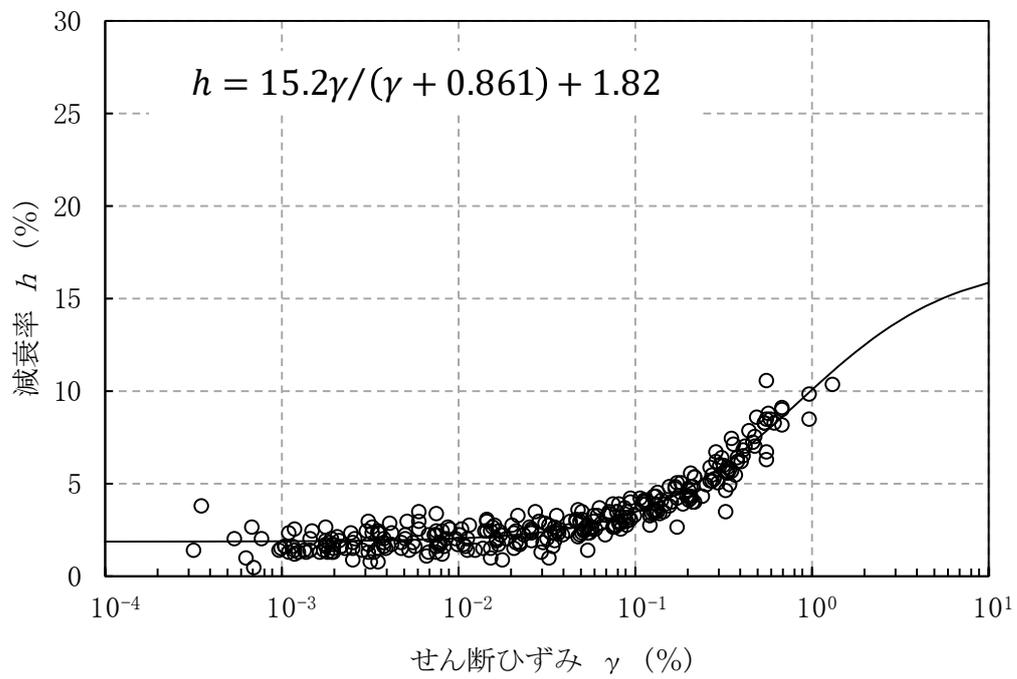
第 3.5.21 図 非排水せん断強さと標高の関係



第 3.5.22 図 三軸圧縮試験の静弾性係数と標高の関係

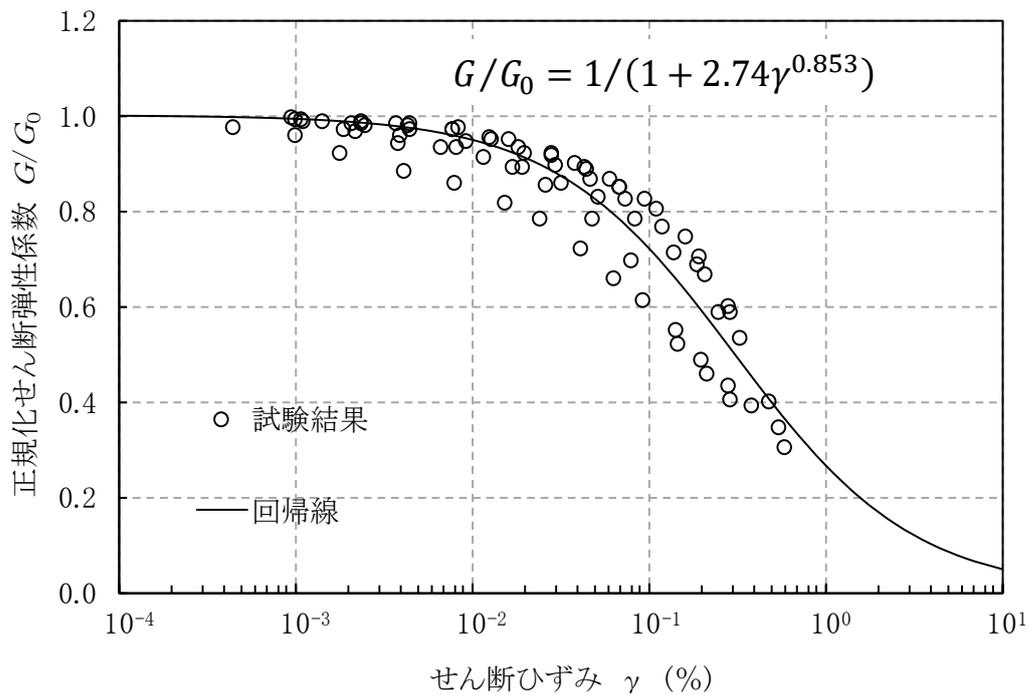


(a) 動の変形特性

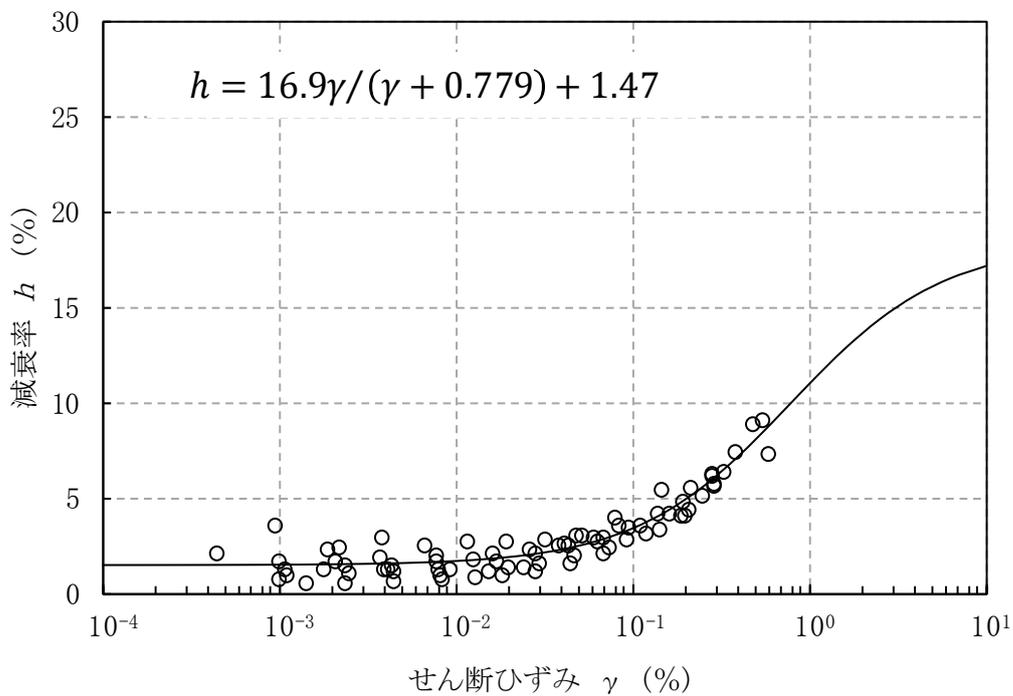


(b) 減衰特性

第 3.5.23 図(1) 繰り返し三軸試験結果 (Km 層)

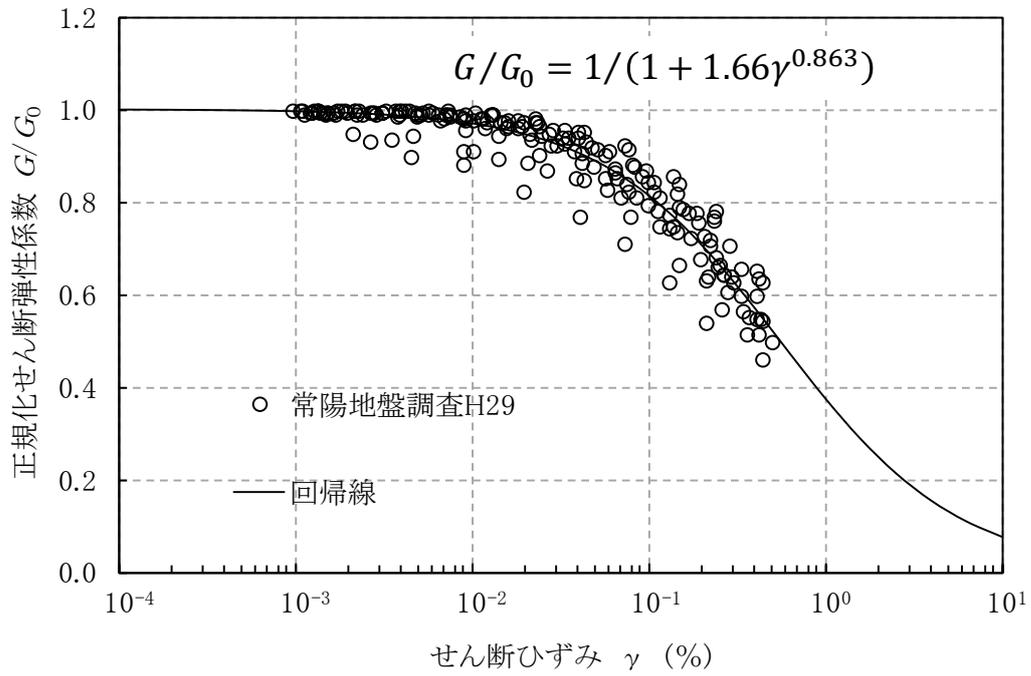


(a) 動的変形特性

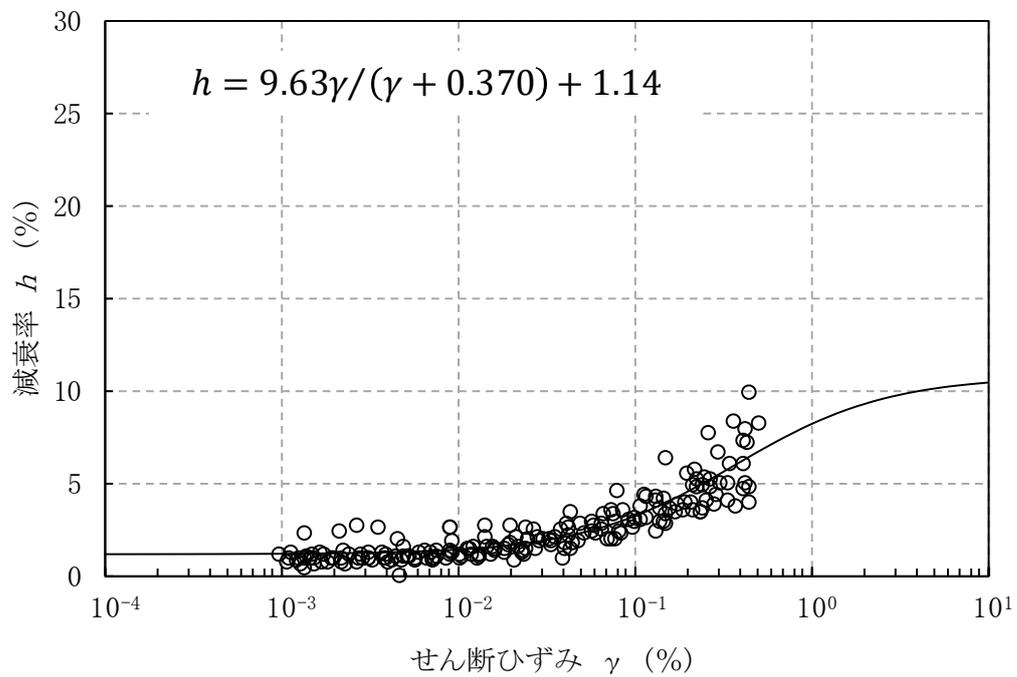


(b) 減衰特性

第 3.5.23 図(2) 繰り返し三軸試験結果 (Ks 層)

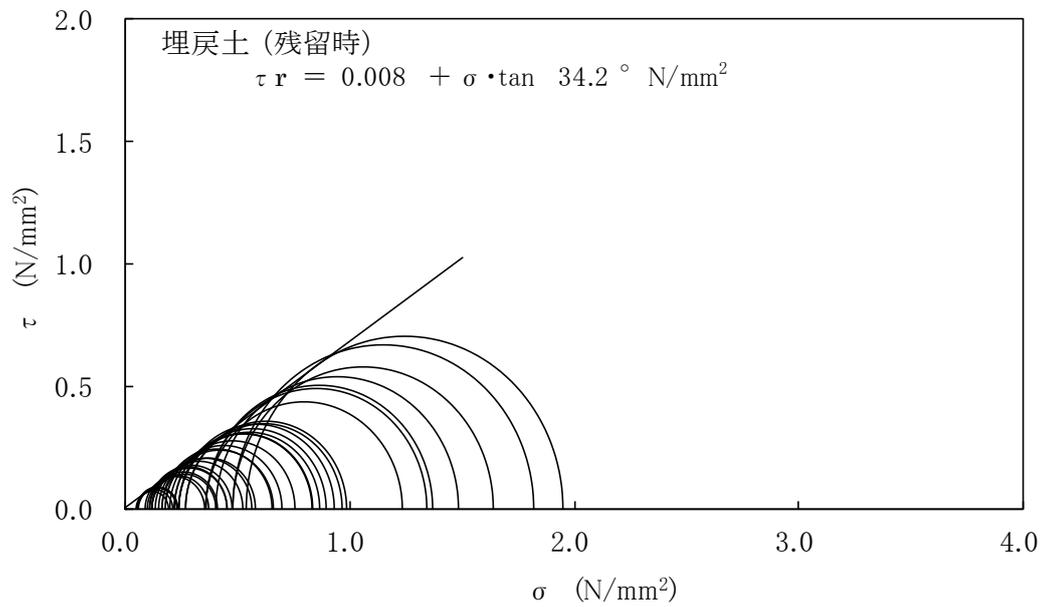
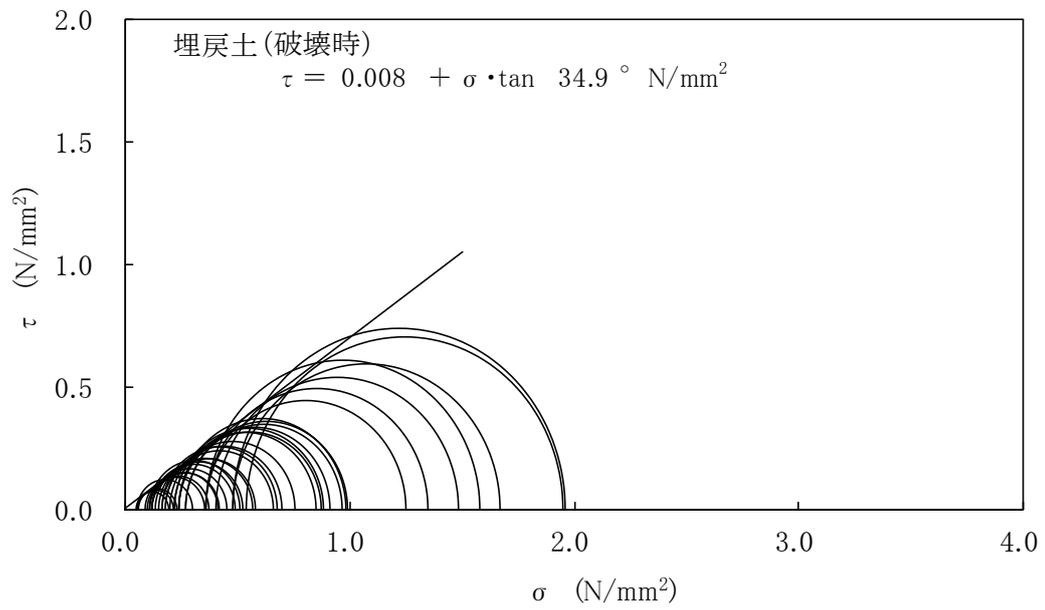


(a) 動の変形特性

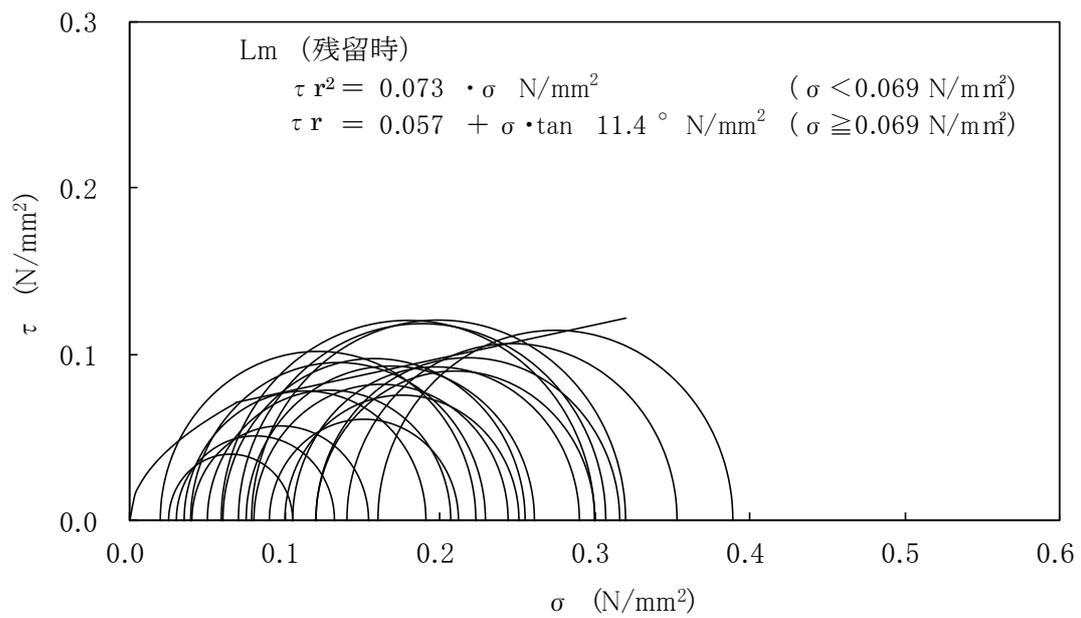
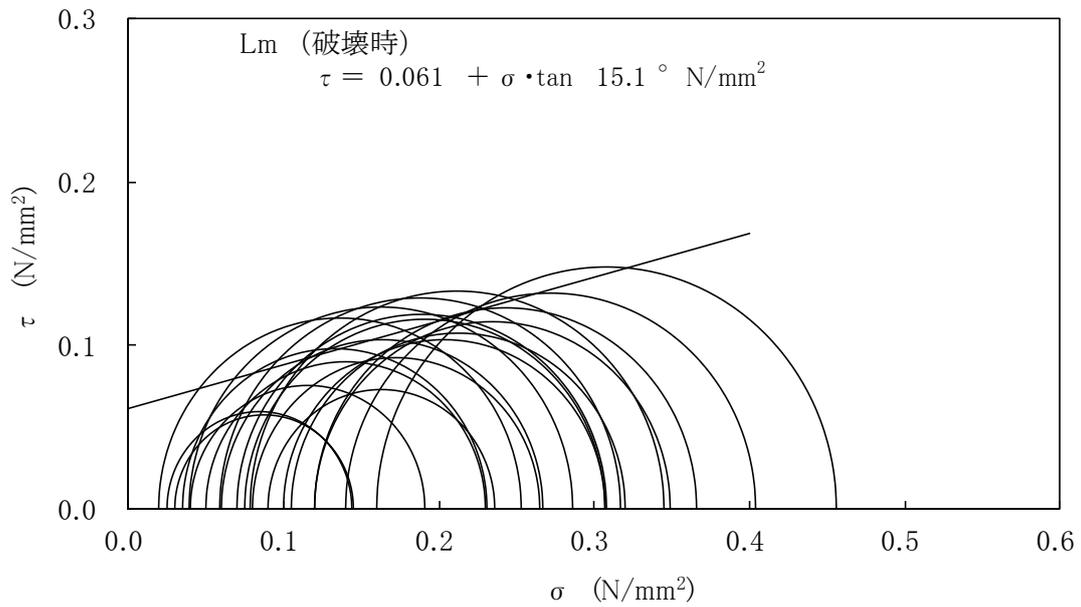


(b) 減衰特性

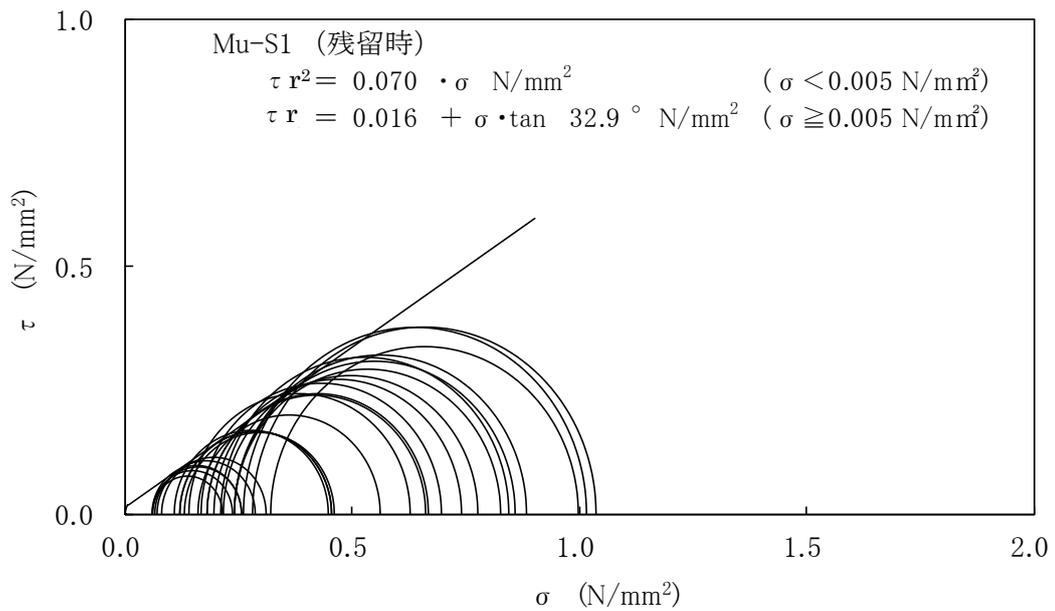
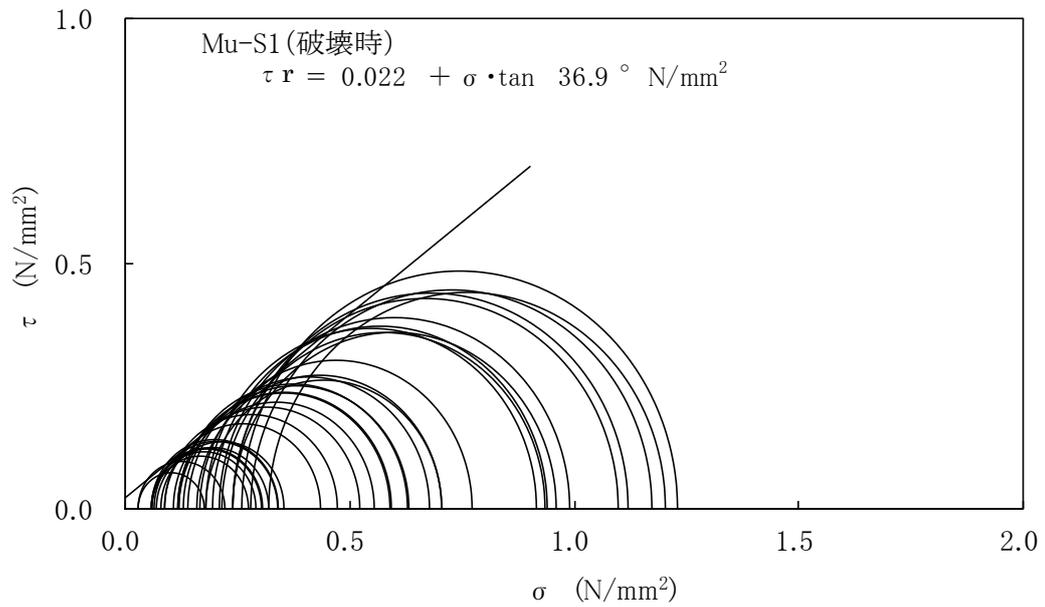
第 3.5.23 図(3) 繰り返し三軸試験結果 (Tg 層)



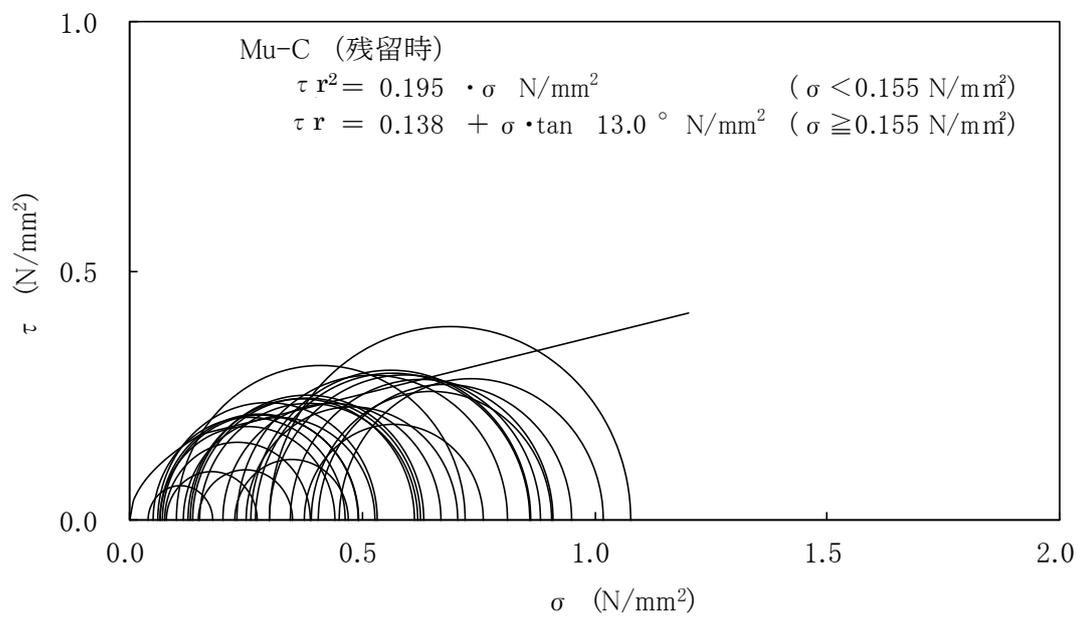
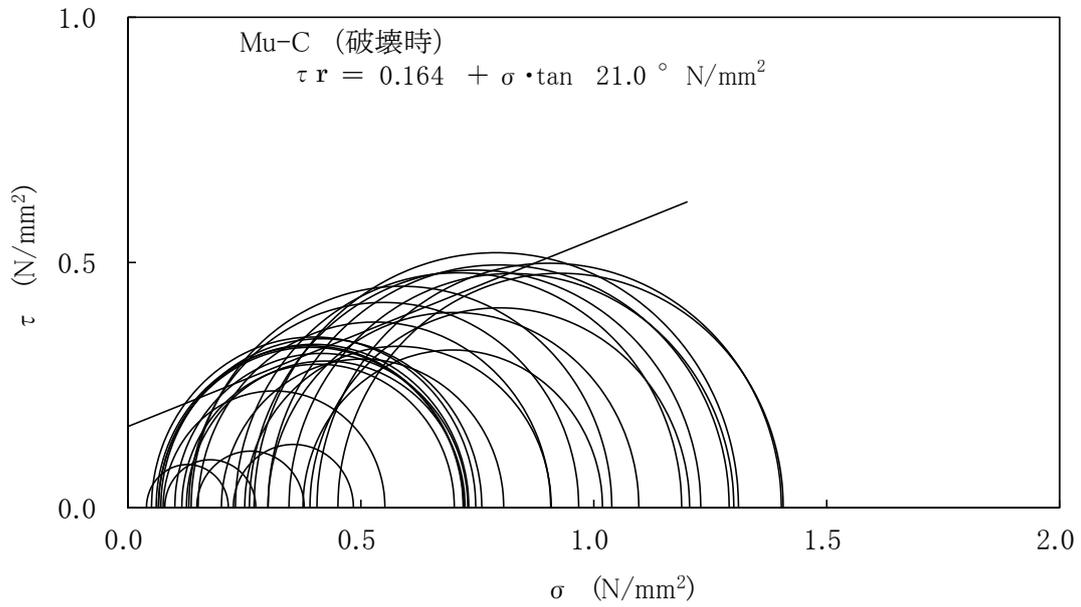
第 3.5.24 図(1) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (埋戻土)



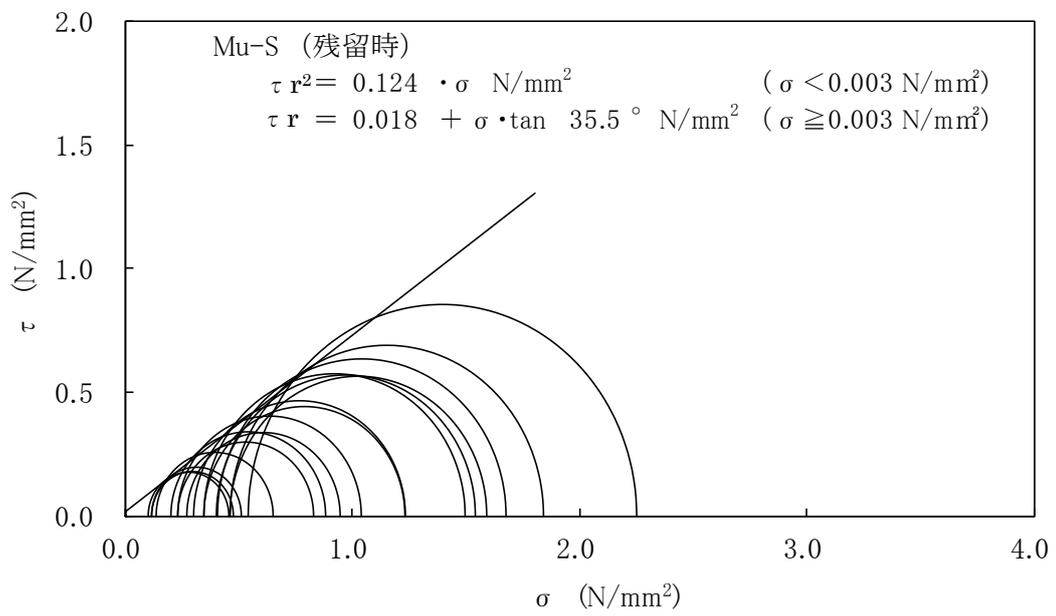
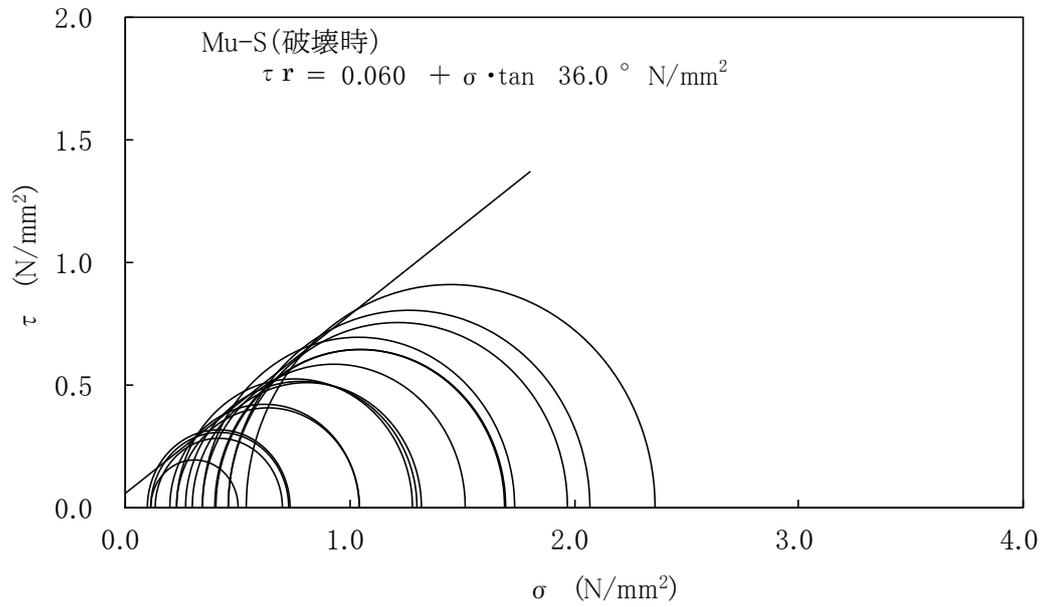
第 3.5.24 図(2) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (UU 条件) (Lm 層)



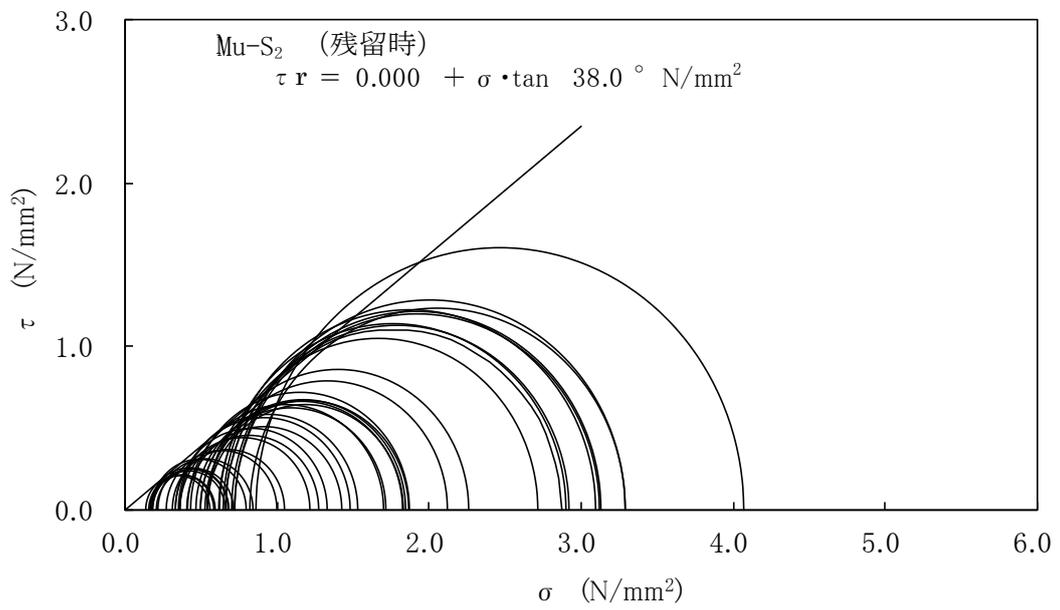
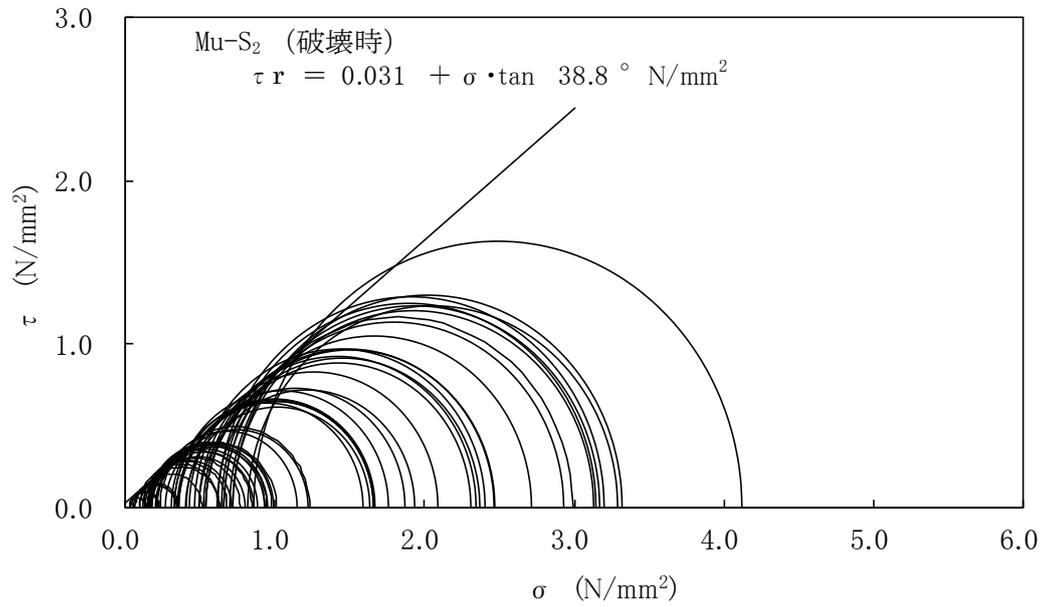
第 3.5.24 図(3) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mu-S1 層)



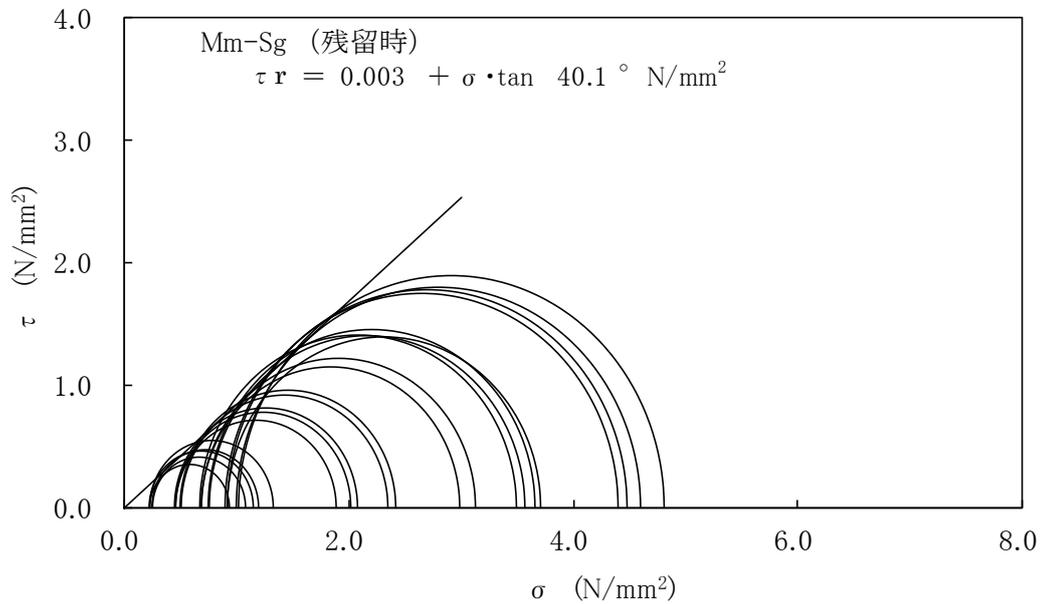
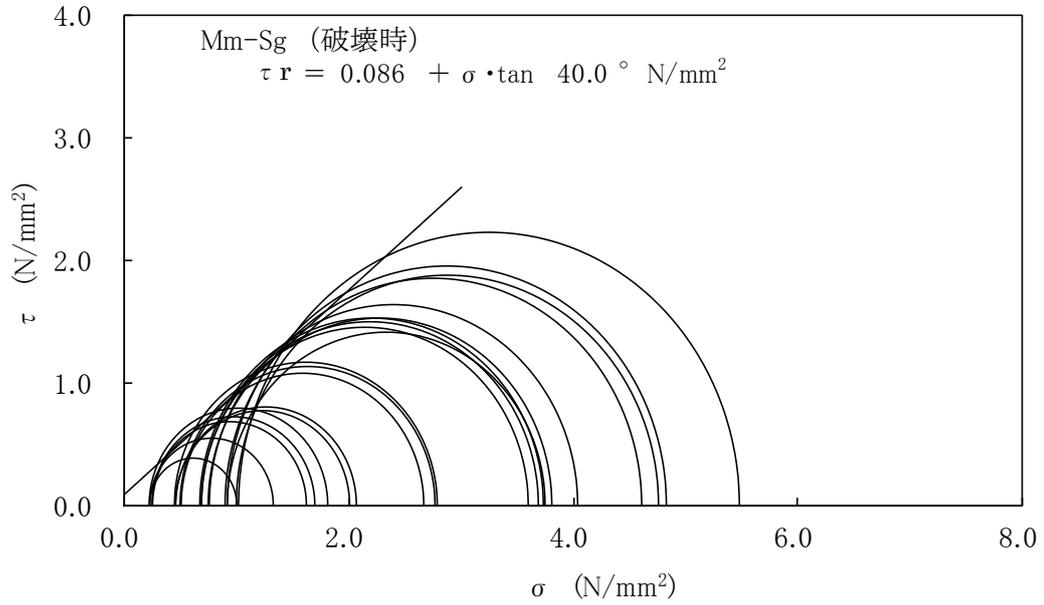
第 3.5.24 図(4) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Mu-C 層)



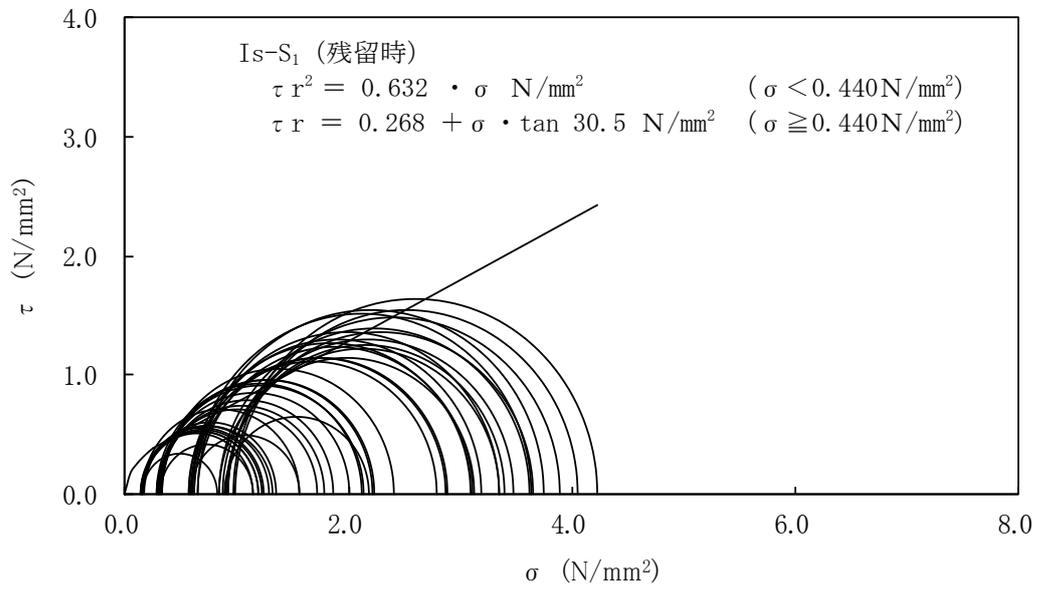
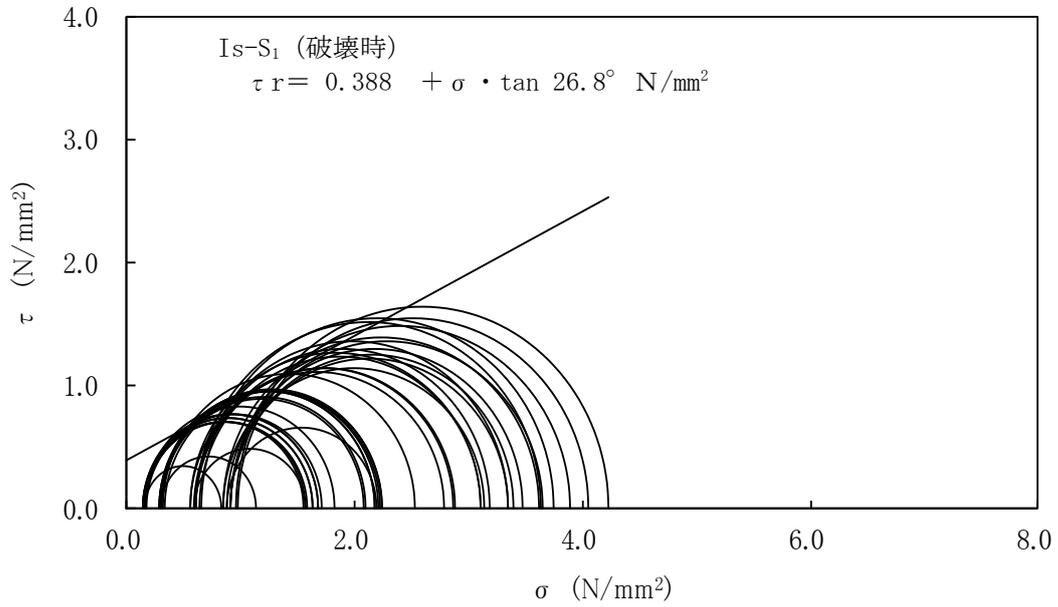
第 3.5.24 図(5) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mu-S 層)



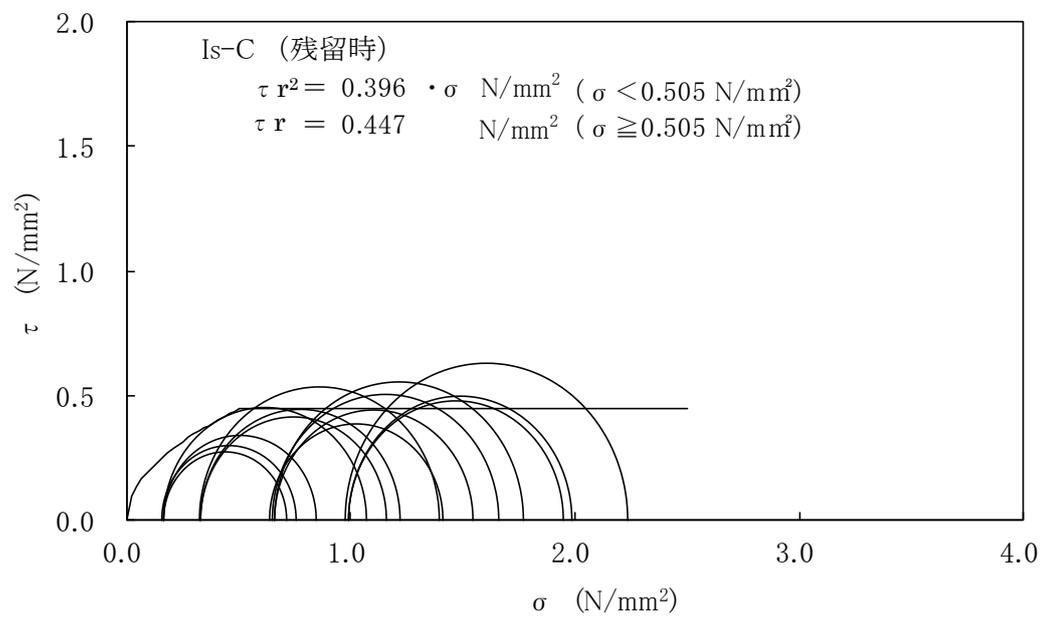
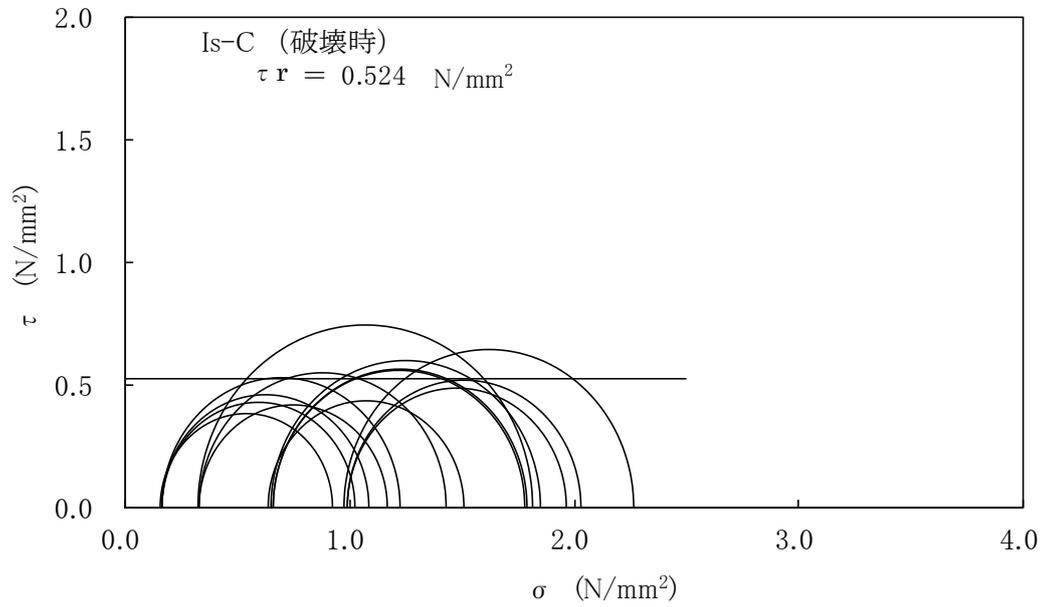
第 3.5.24 図(6) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mu-S2 層)



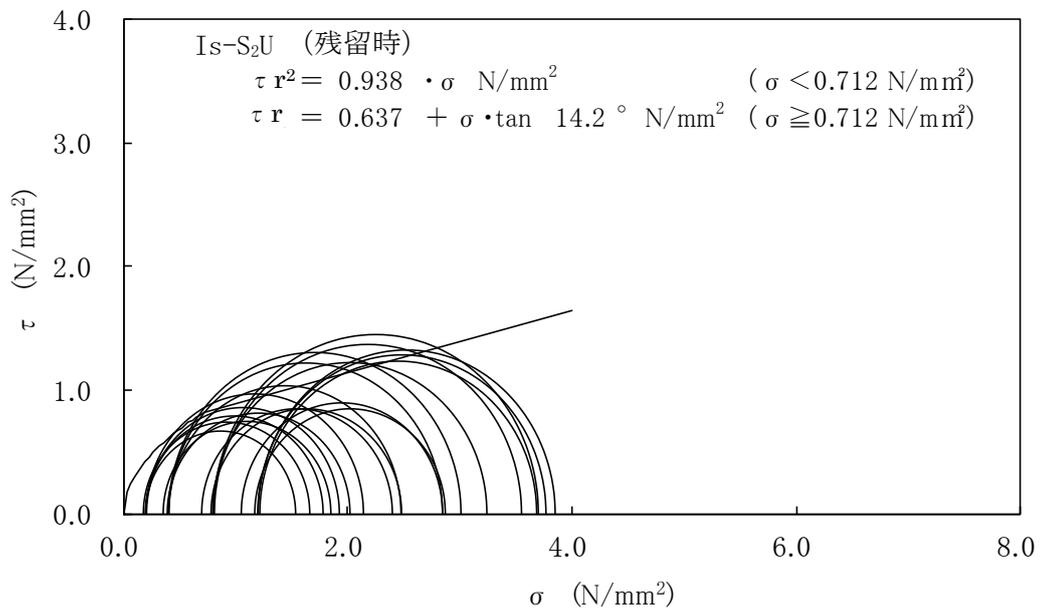
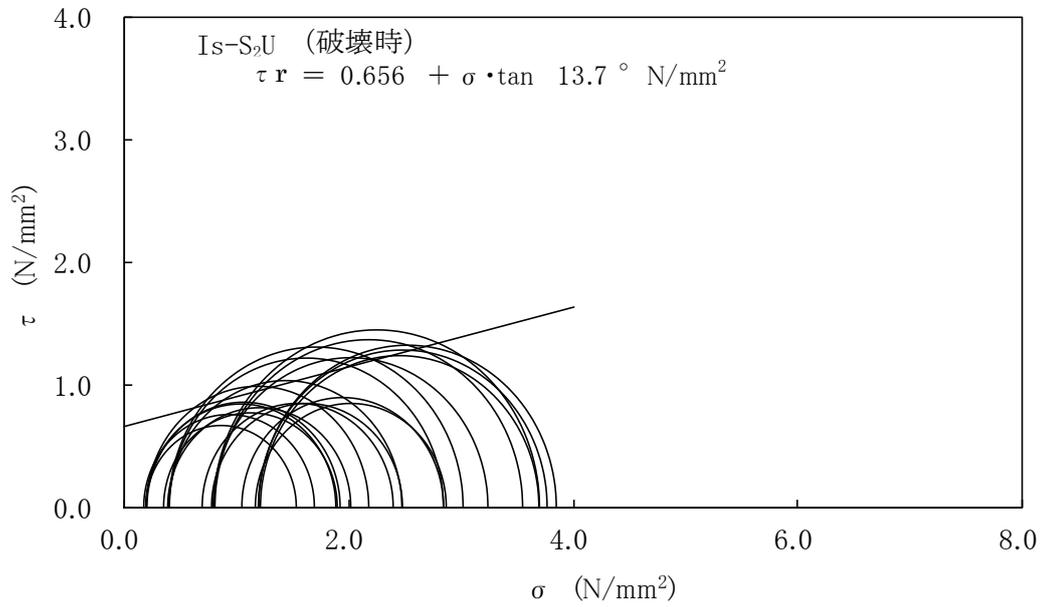
第 3.5.24 図(7) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mm-Sg 層)



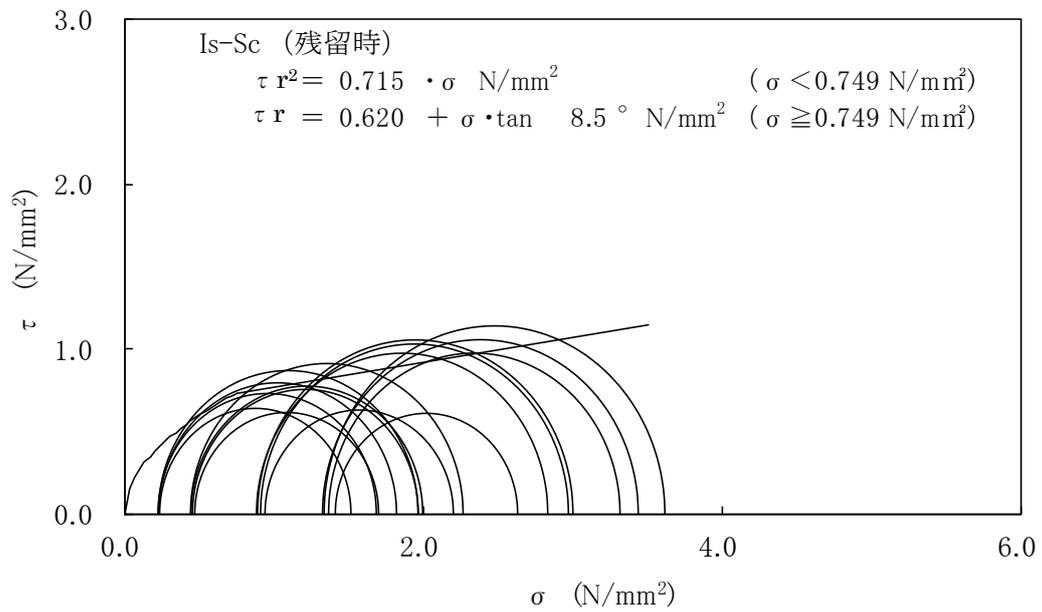
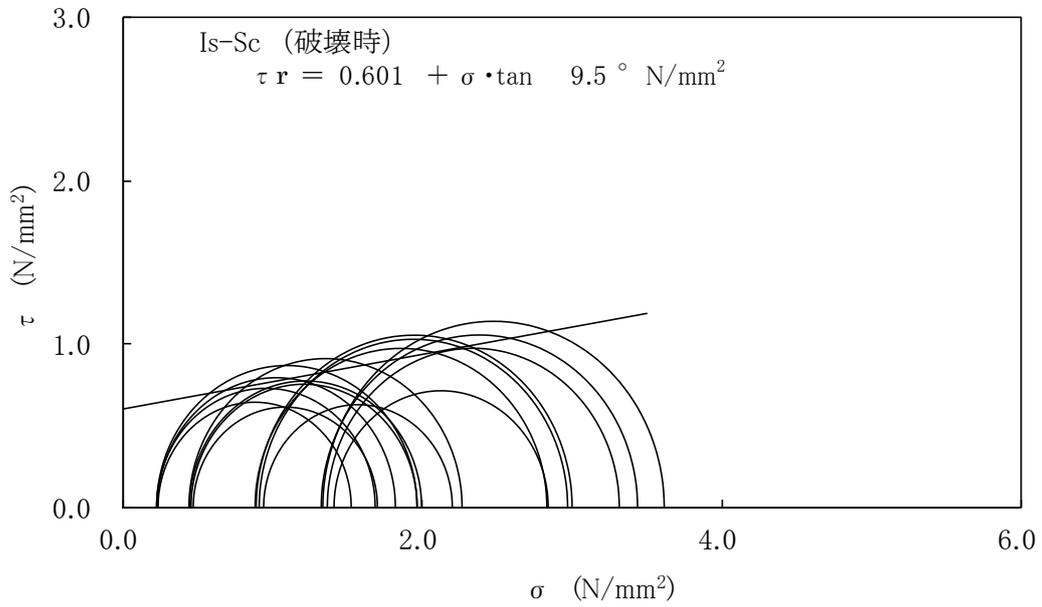
第 3.5.24 図(8) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S<sub>1</sub> 層)



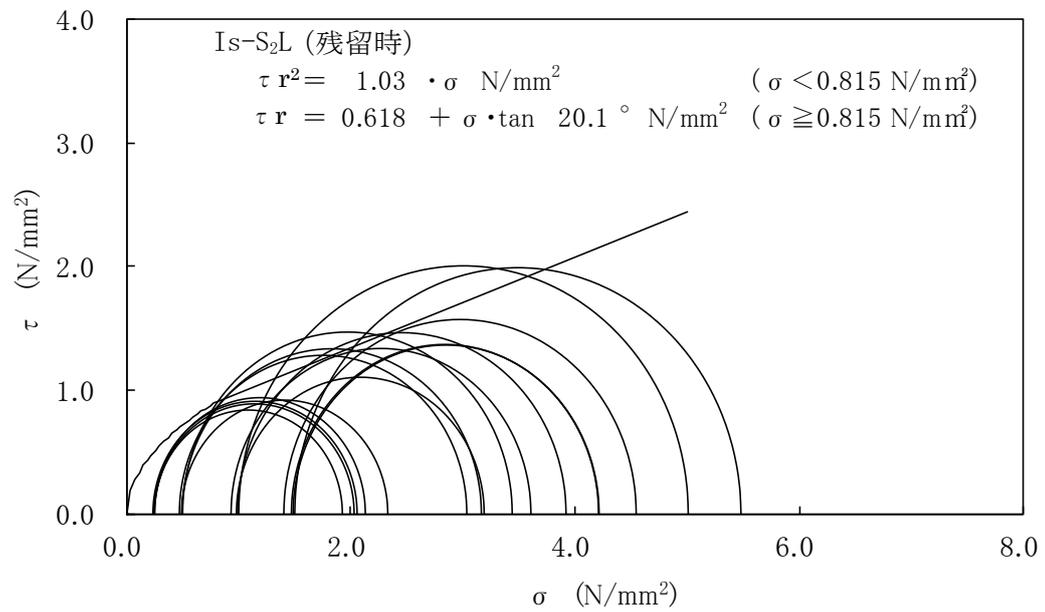
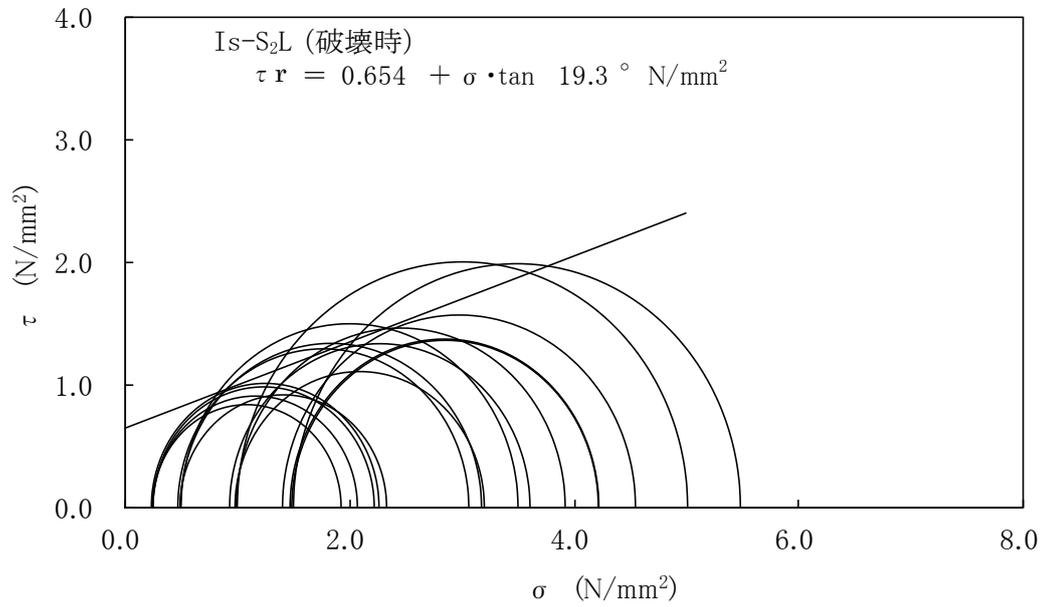
第 3.5.24 図(9) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-C 層)



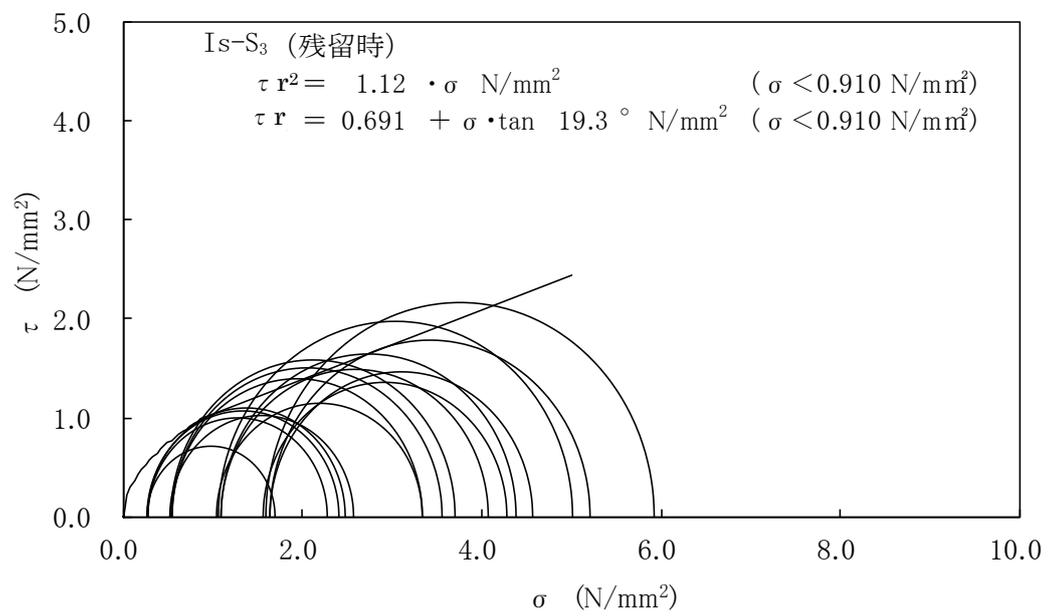
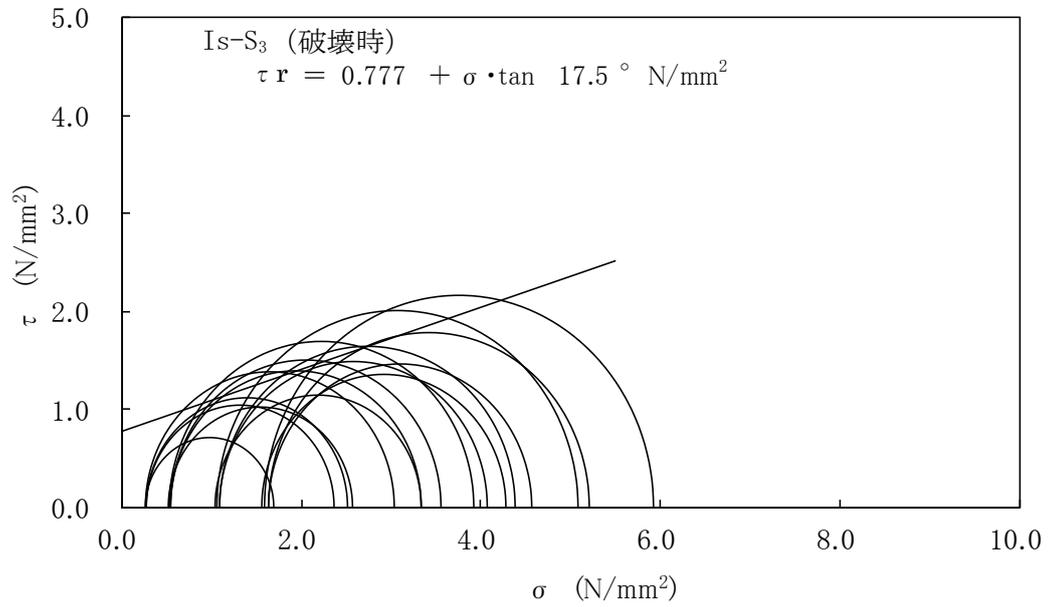
第 3.5.24 図(10) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S<sub>2</sub>U 層)



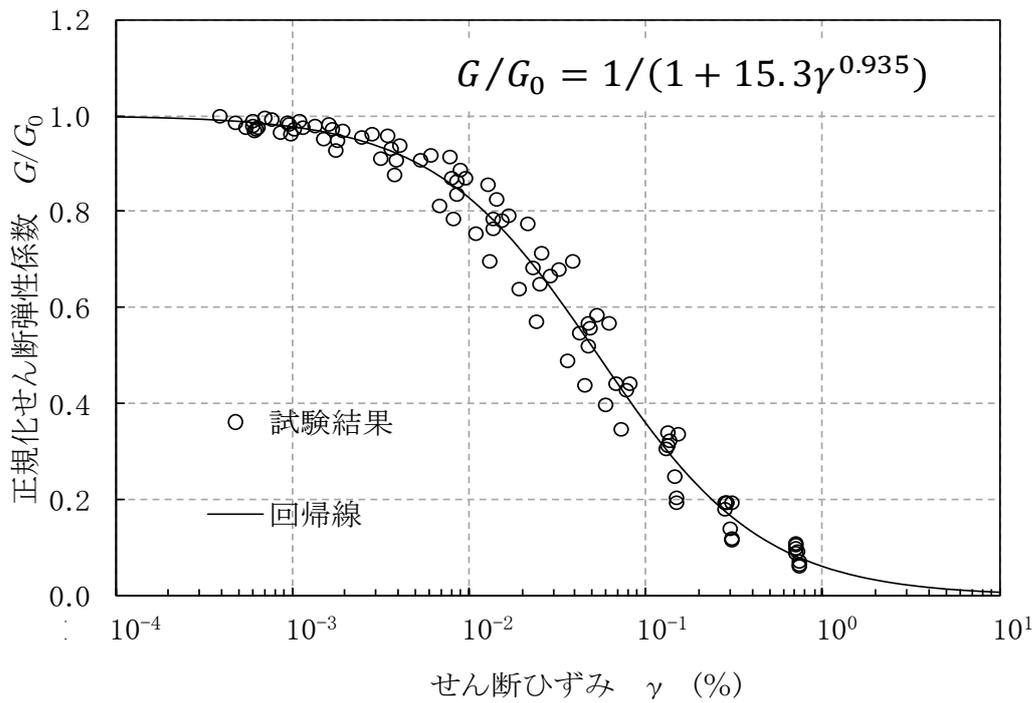
第 3.5.24 図(11) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-Sc 層)



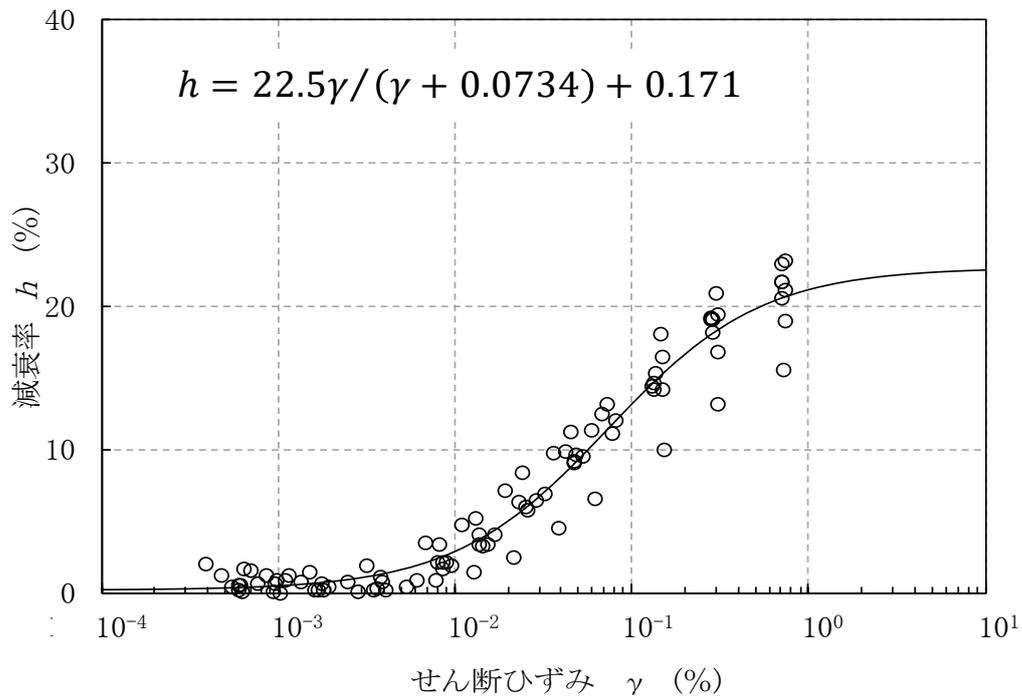
第 3.5.24 図(12) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S<sub>2</sub>L 層)



第 3.5.24 図(13) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S<sub>3</sub>層)

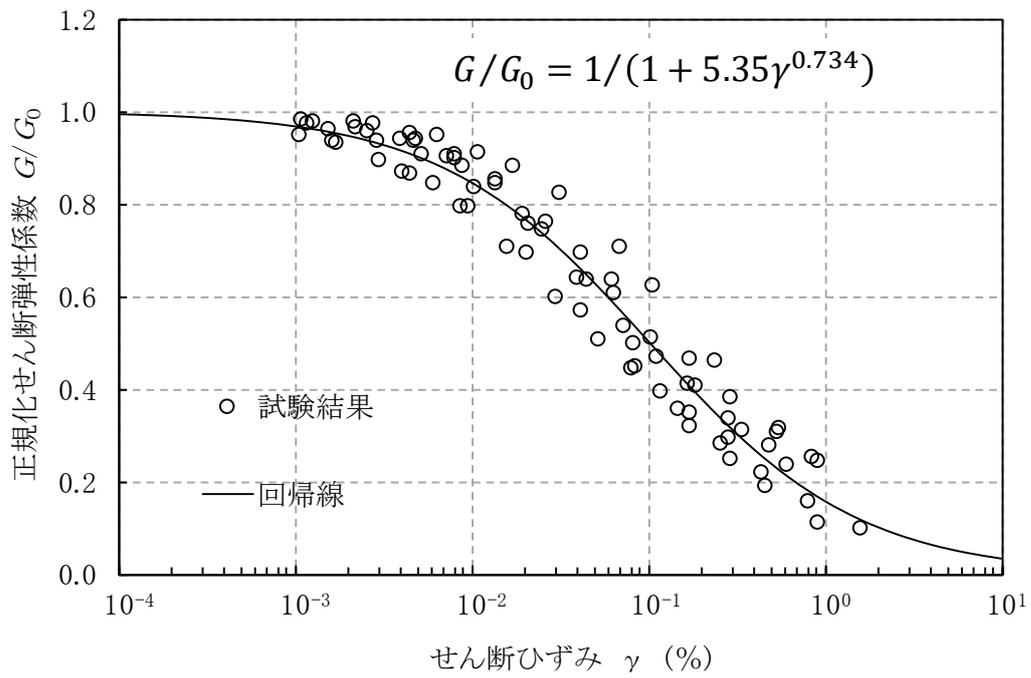


(a) 動の変形特性

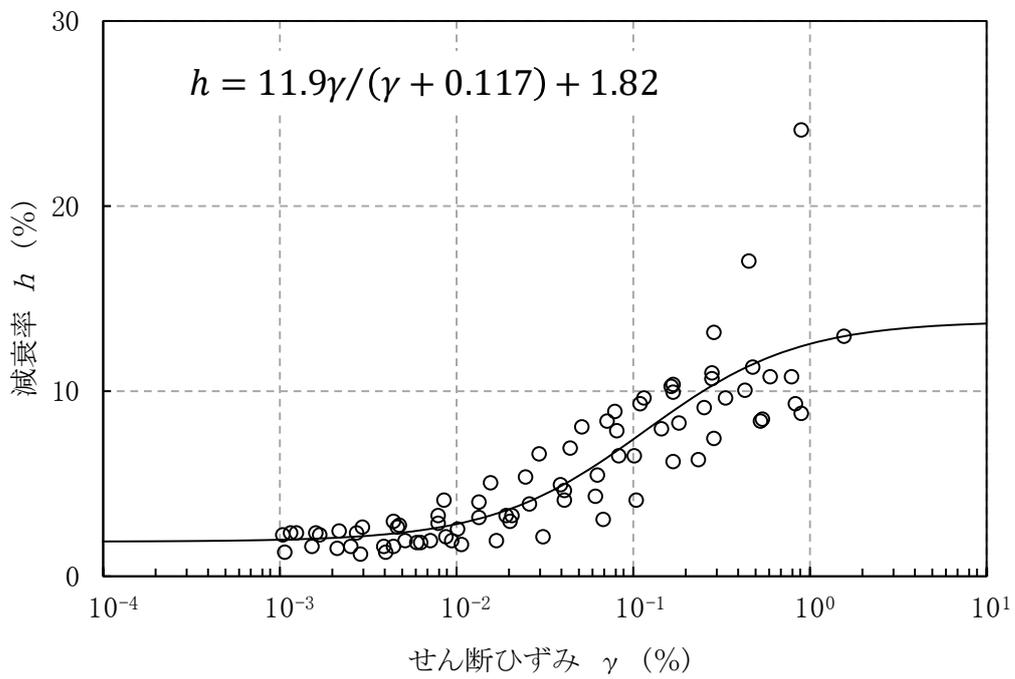


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(1) 動の変形試験結果 (埋戻土)

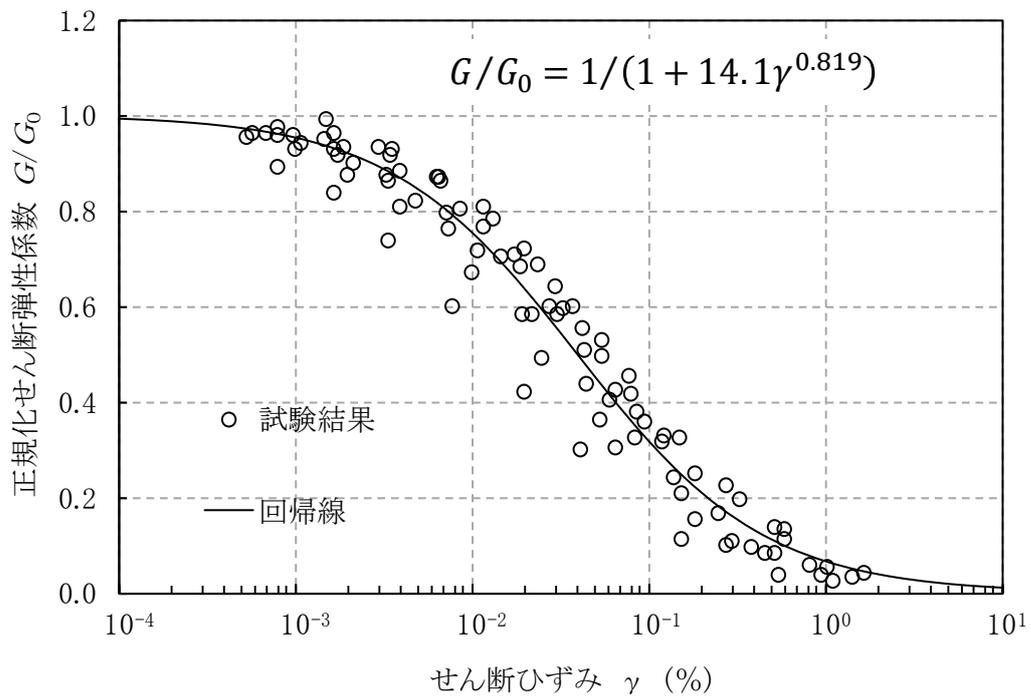


(a) 動の変形特性

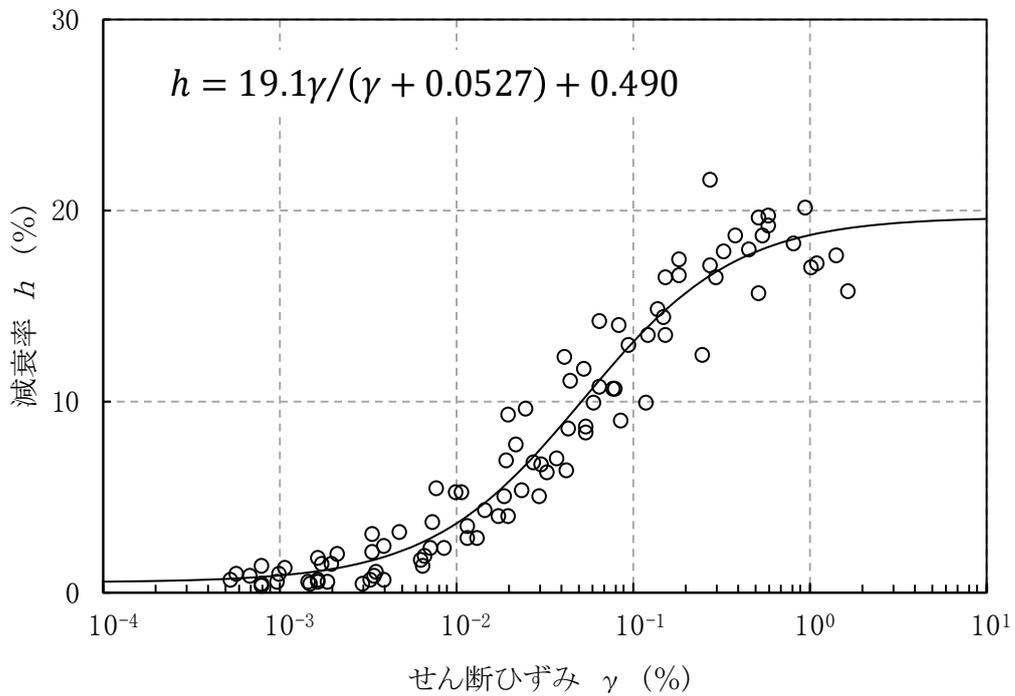


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(2) 動の変形試験結果 (Lm 層)

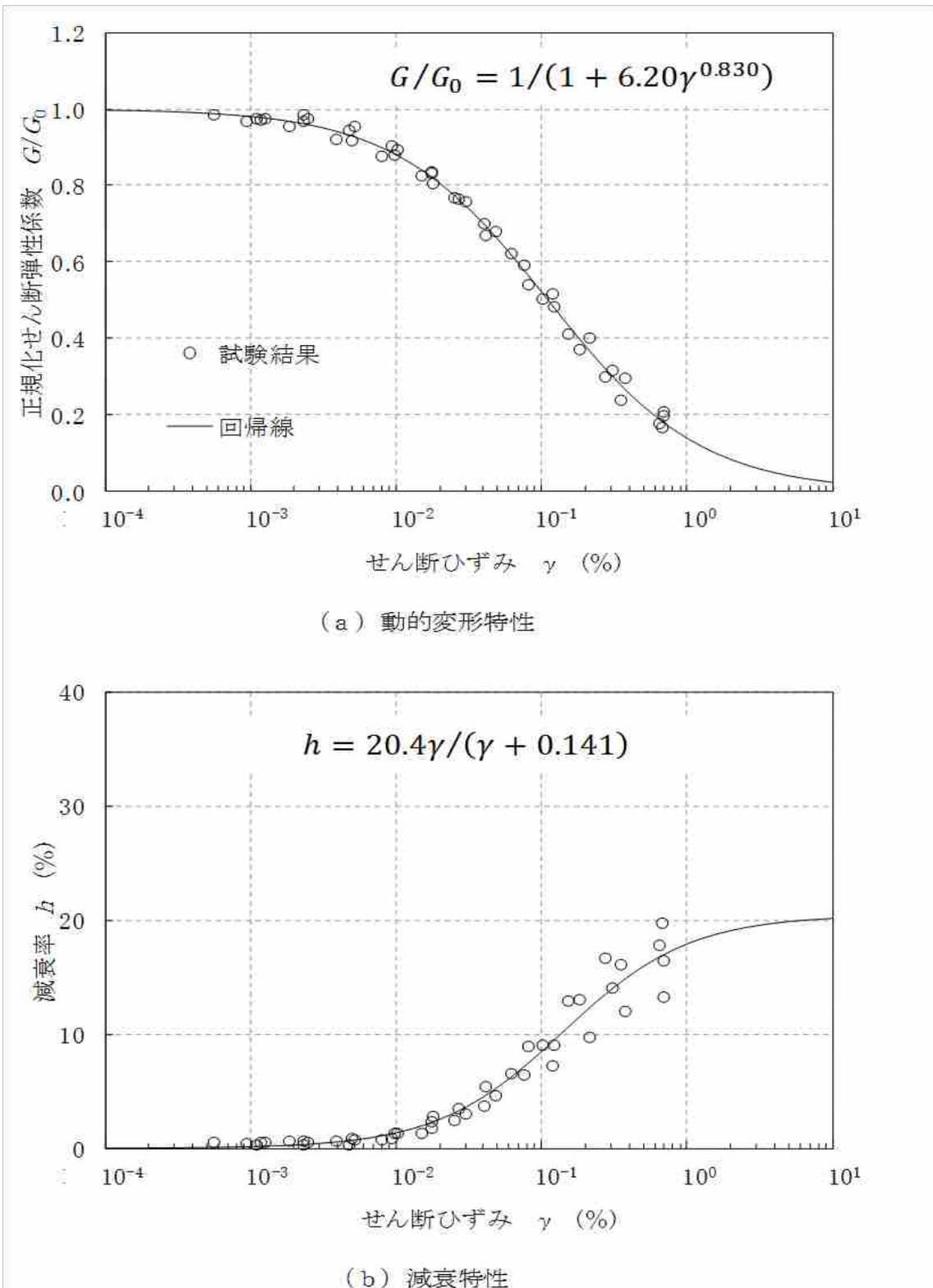


(a) 動の変形特性

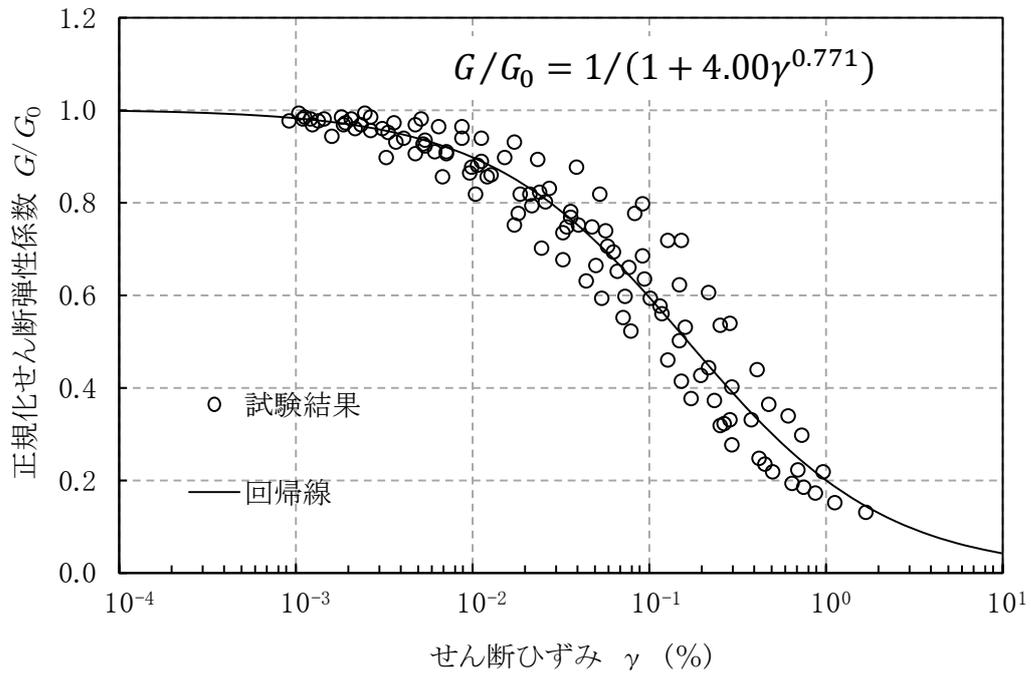


(b) 減衰特性

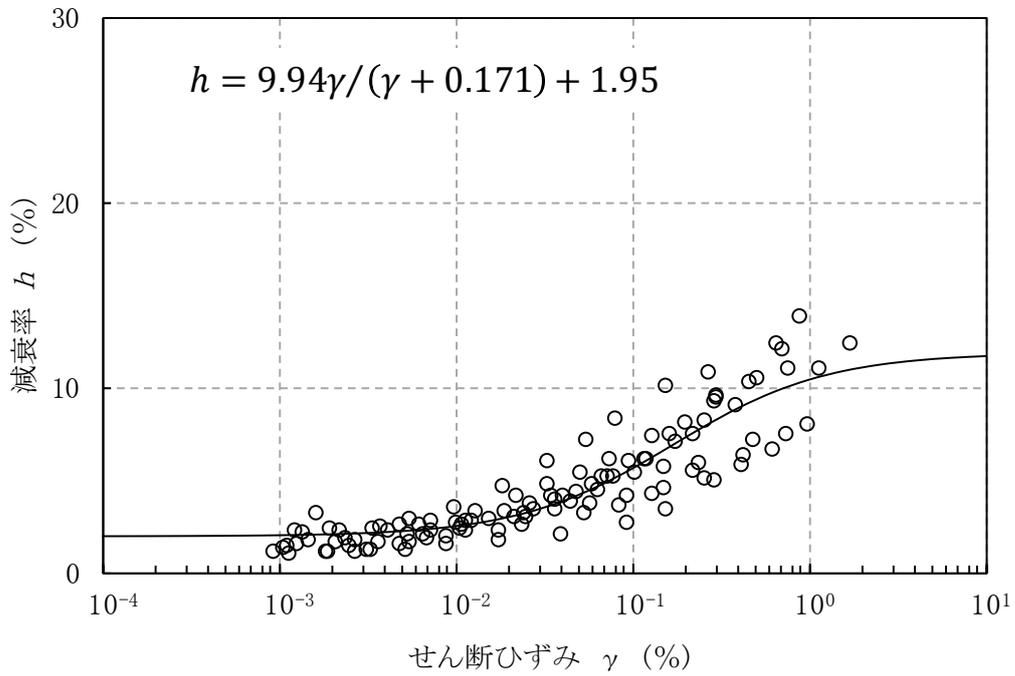
第 3.5.25 図(3) 動の変形試験結果 (Mu-S<sub>1</sub>層)



第 3.5.25 図(4) 動的変形試験結果 (Mu-S 層)

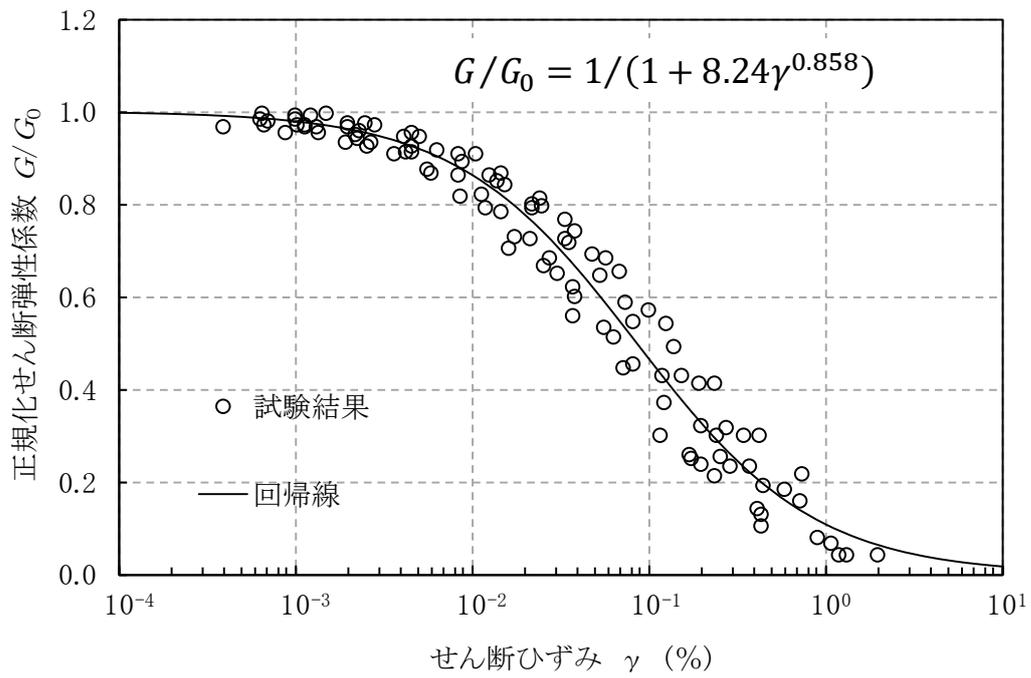


(a) 動の変形特性

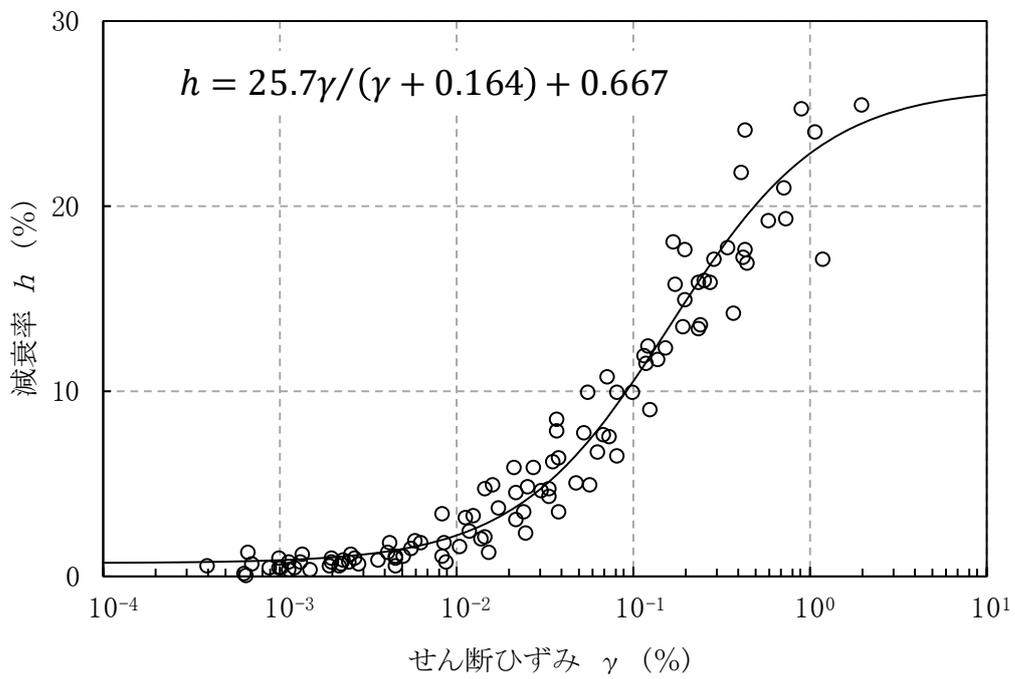


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(5) 動の変形試験結果 (Mu-C 層)

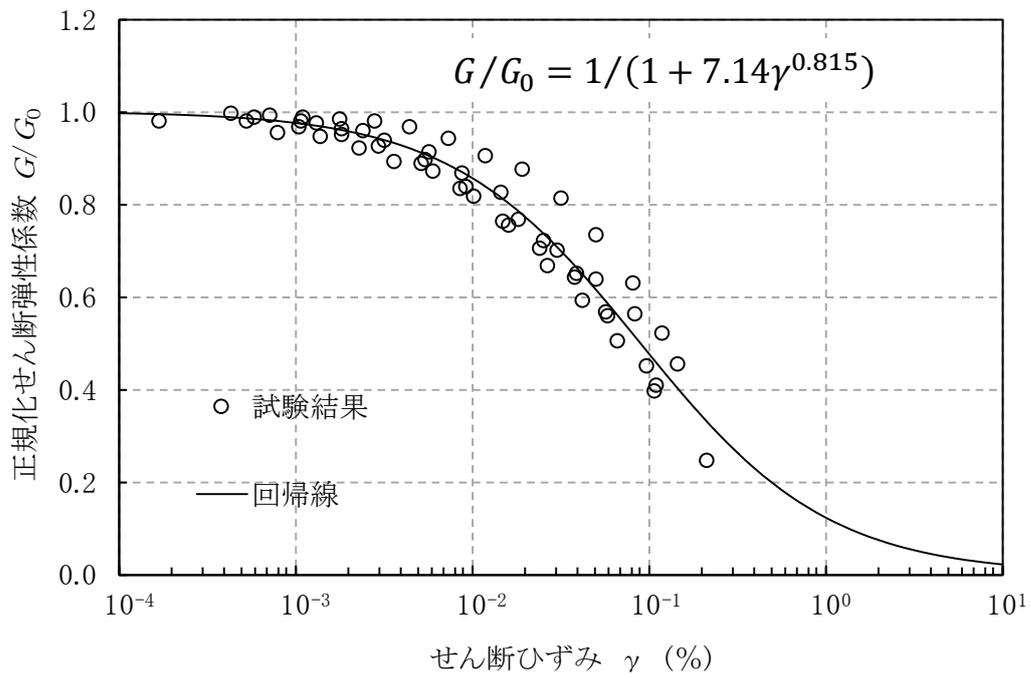


(a) 動の変形特性

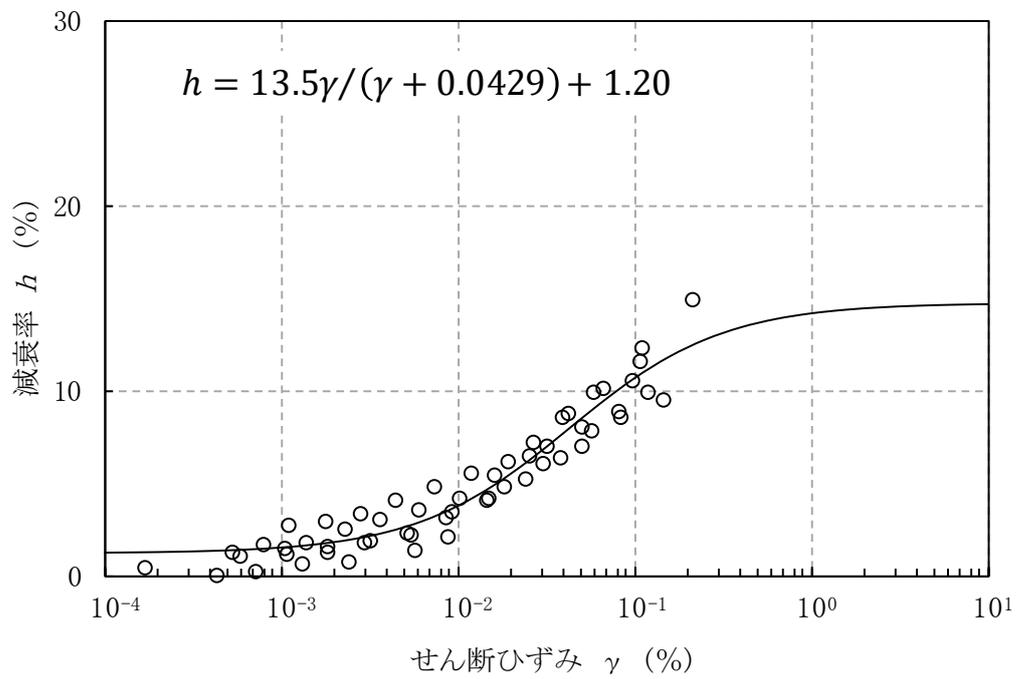


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(6) 動の変形試験結果 (Mu-S<sub>2</sub>層)

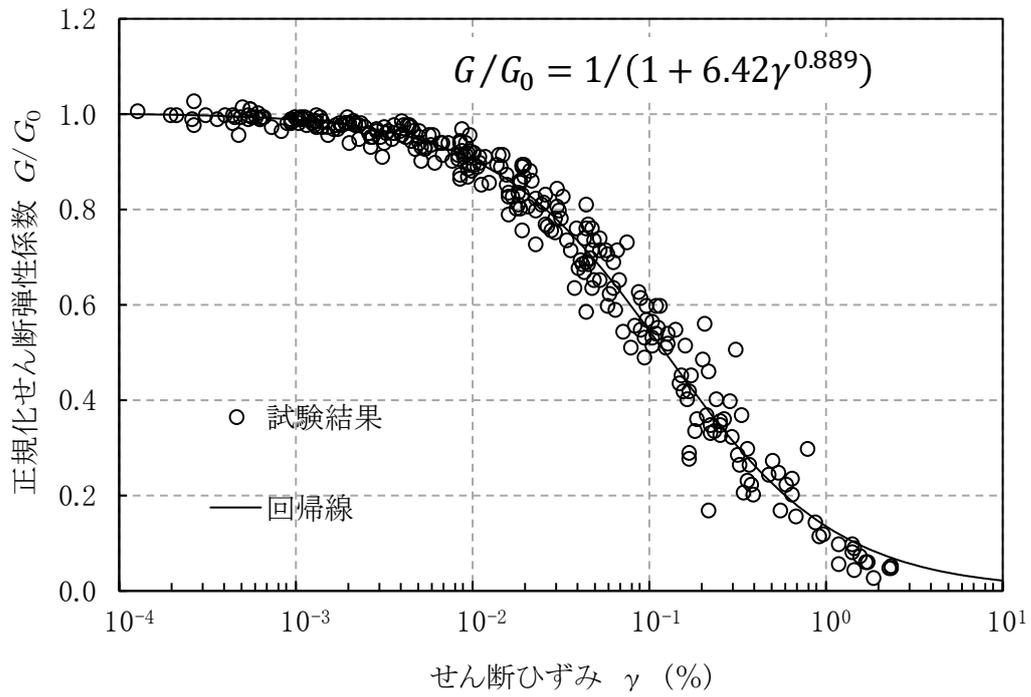


(a) 動的変形特性

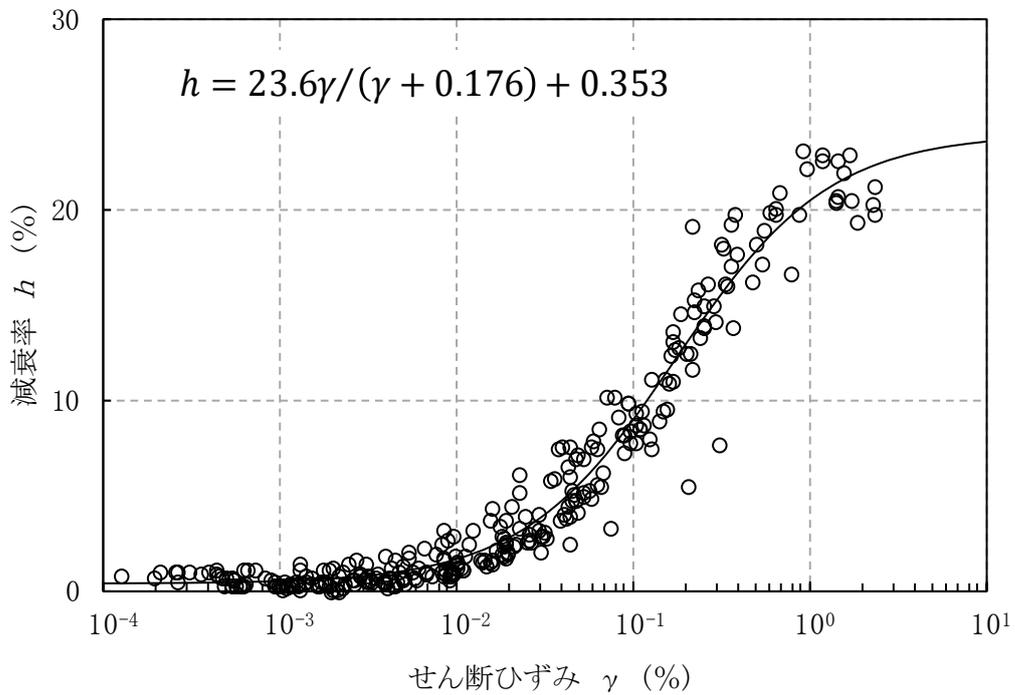


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(7) 動的変形試験結果 (Mm-Sg 層)

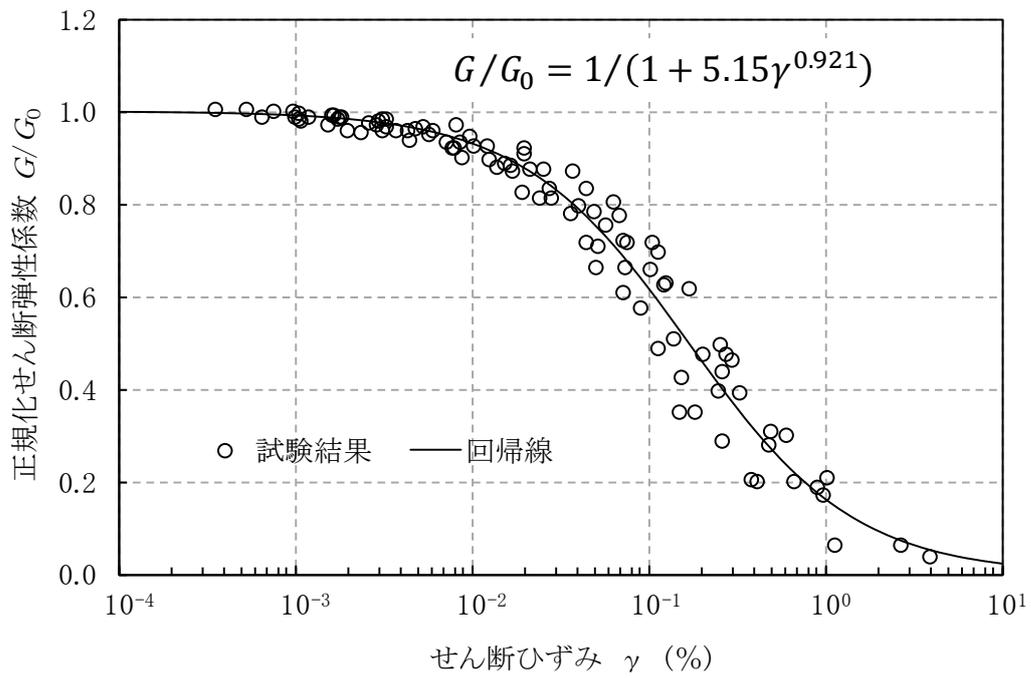


(a) 動の変形特性

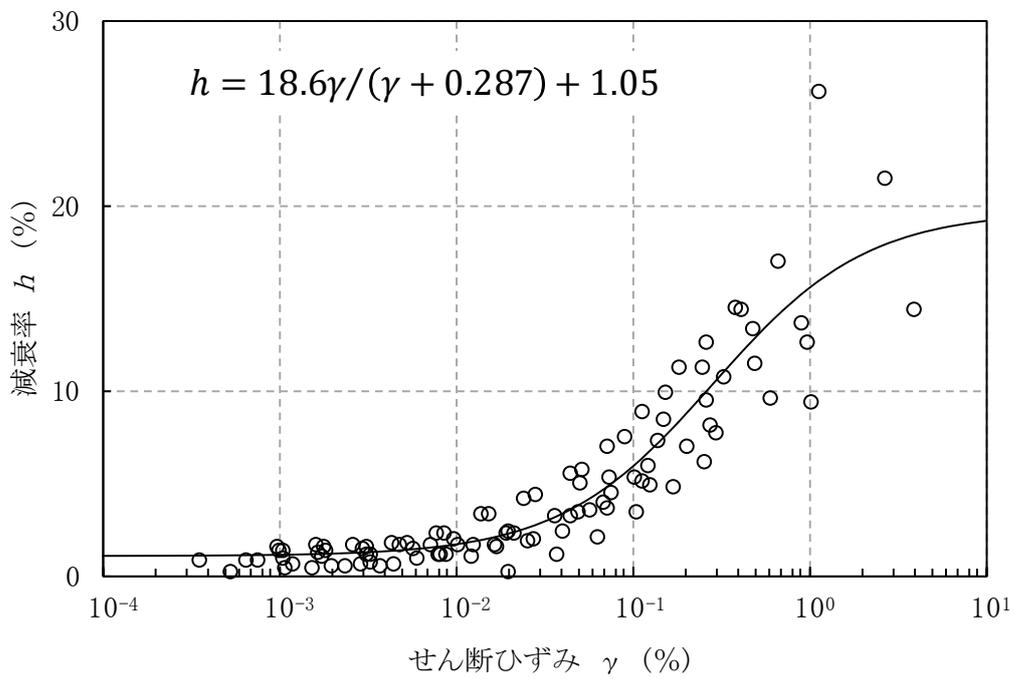


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(8) 動の変形試験結果 (I<sub>s</sub>-S<sub>1</sub>層)

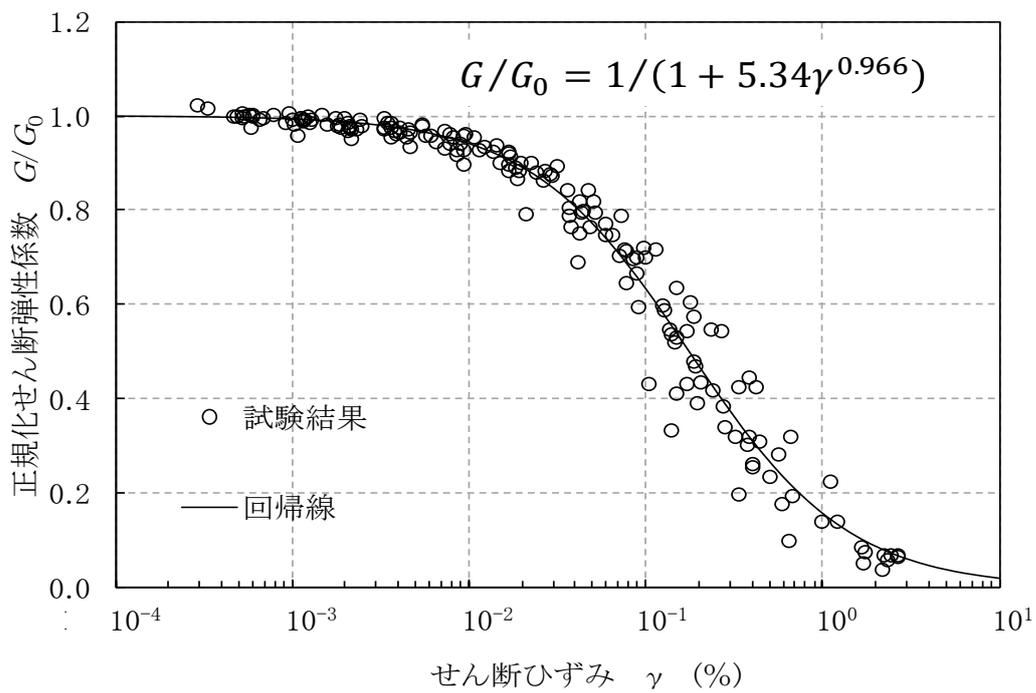


(a) 動の変形特性

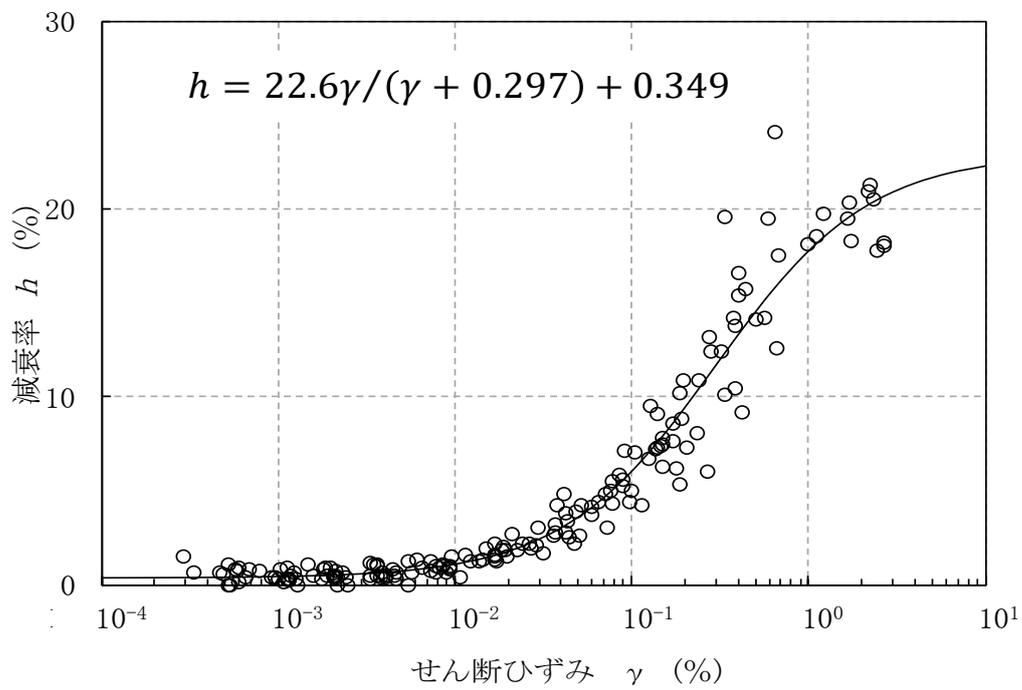


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(9) 動の変形試験結果 (Is-C 層)

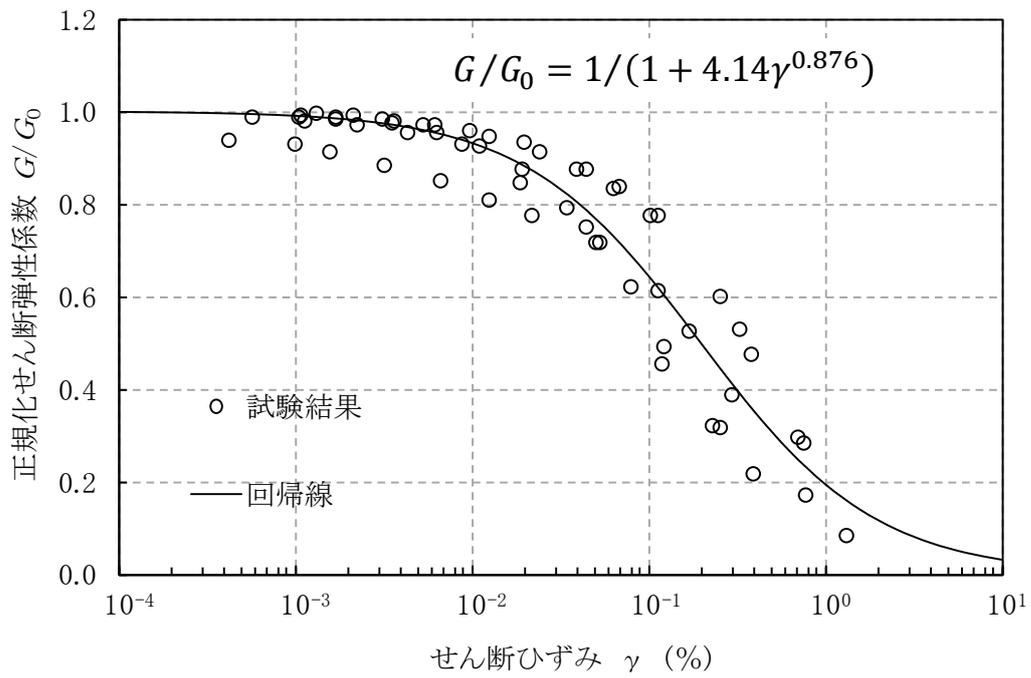


(a) 動の変形特性

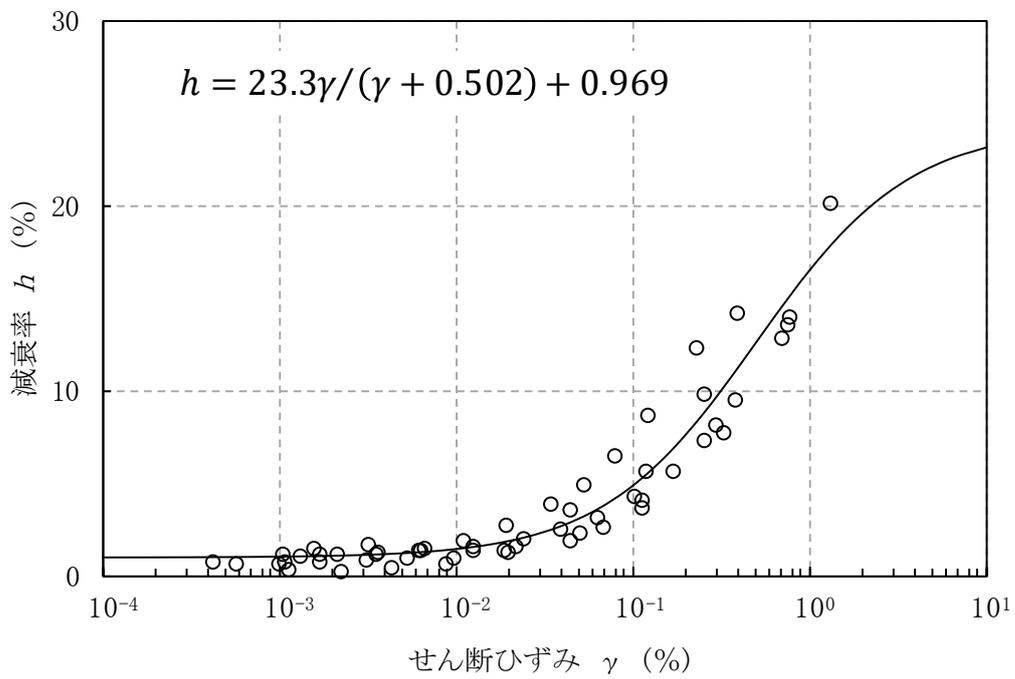


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(10) 動の変形試験結果 (I<sub>s</sub>-S<sub>2</sub>U 層)

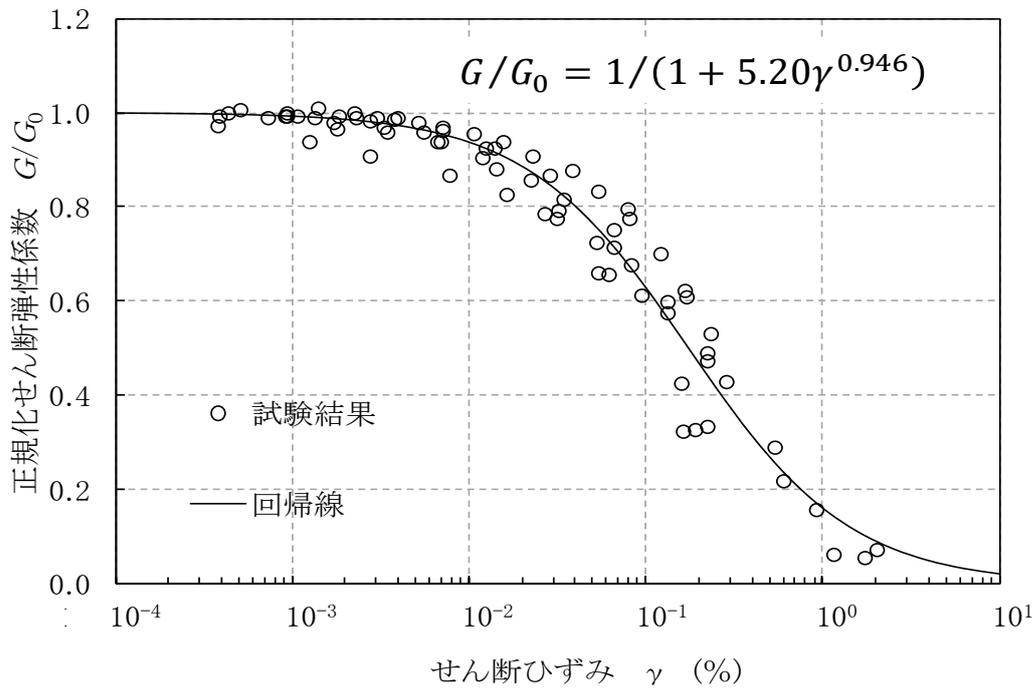


(a) 動の変形特性

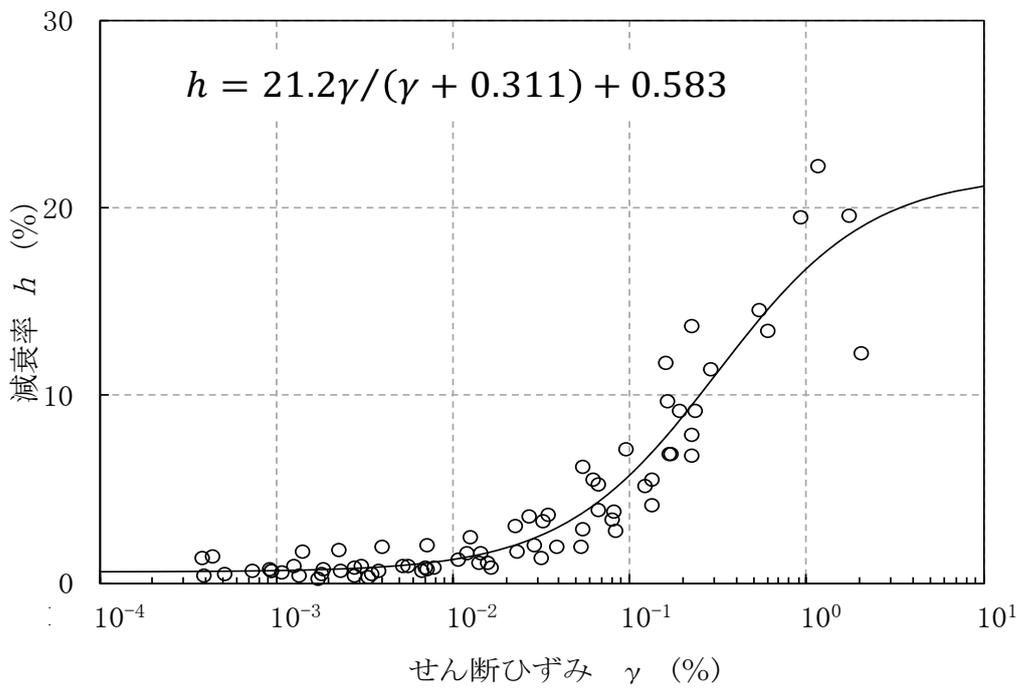


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(11) 動の変形試験結果 (Is-Sc 層)

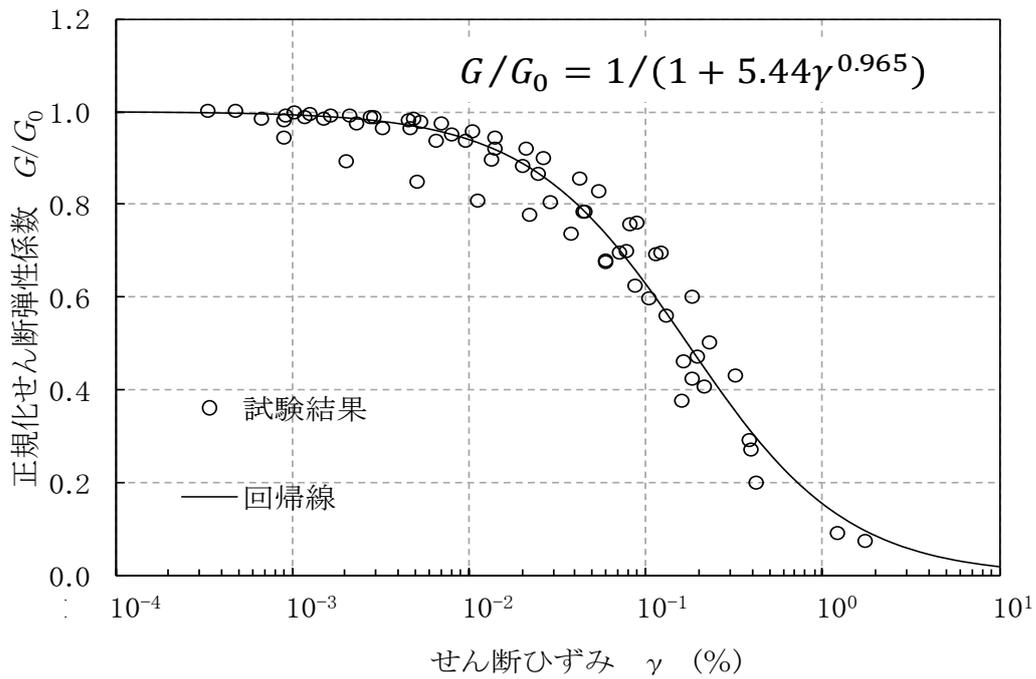


(a) 動的変形特性

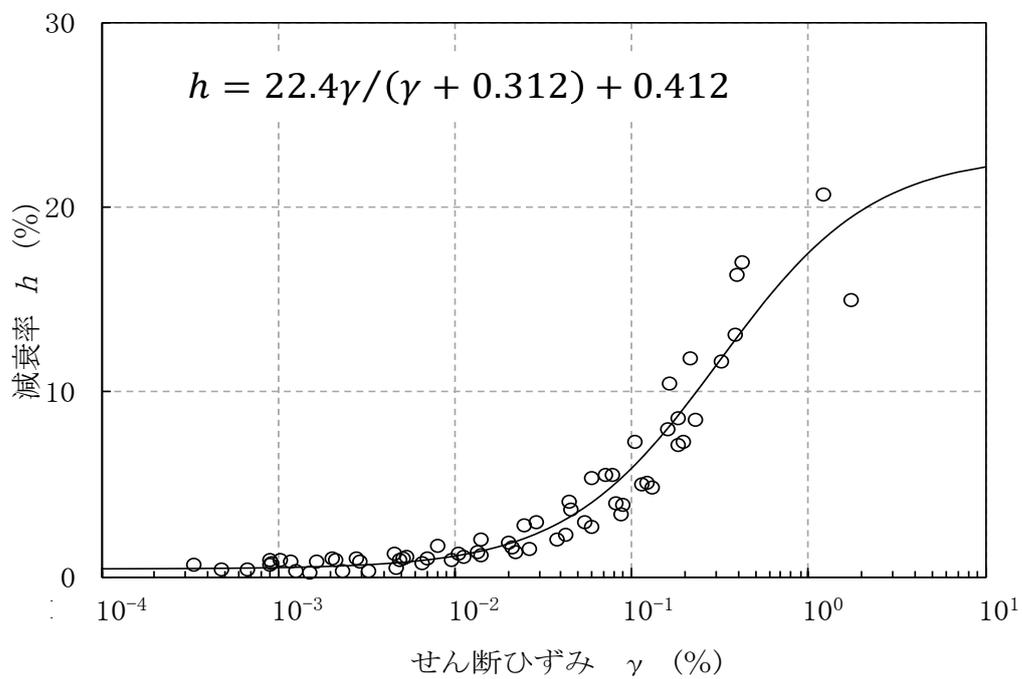


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(12) 動的変形試験結果 (I<sub>s</sub>-S<sub>2</sub>L 層)

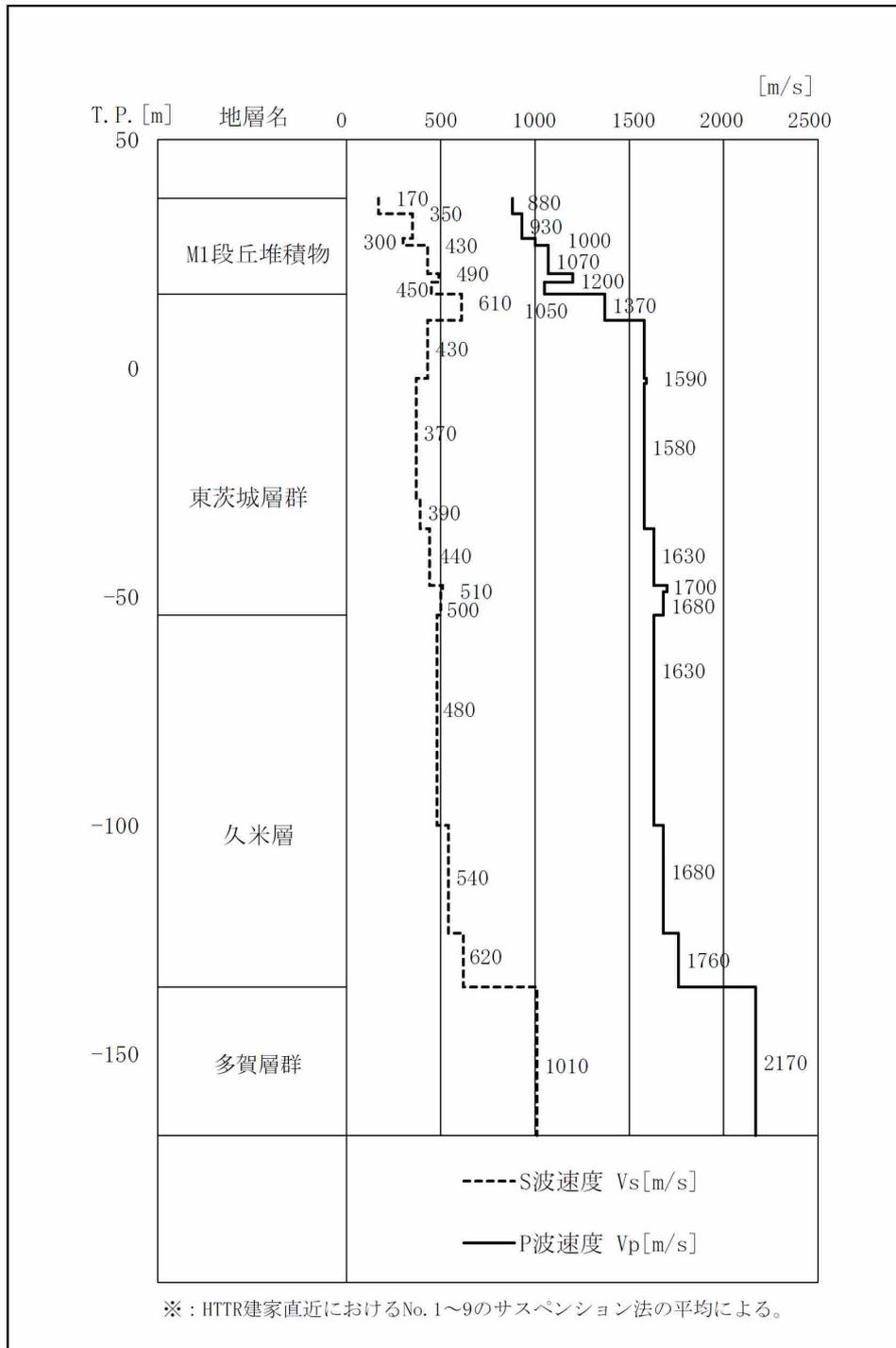


(a) 動の変形特性

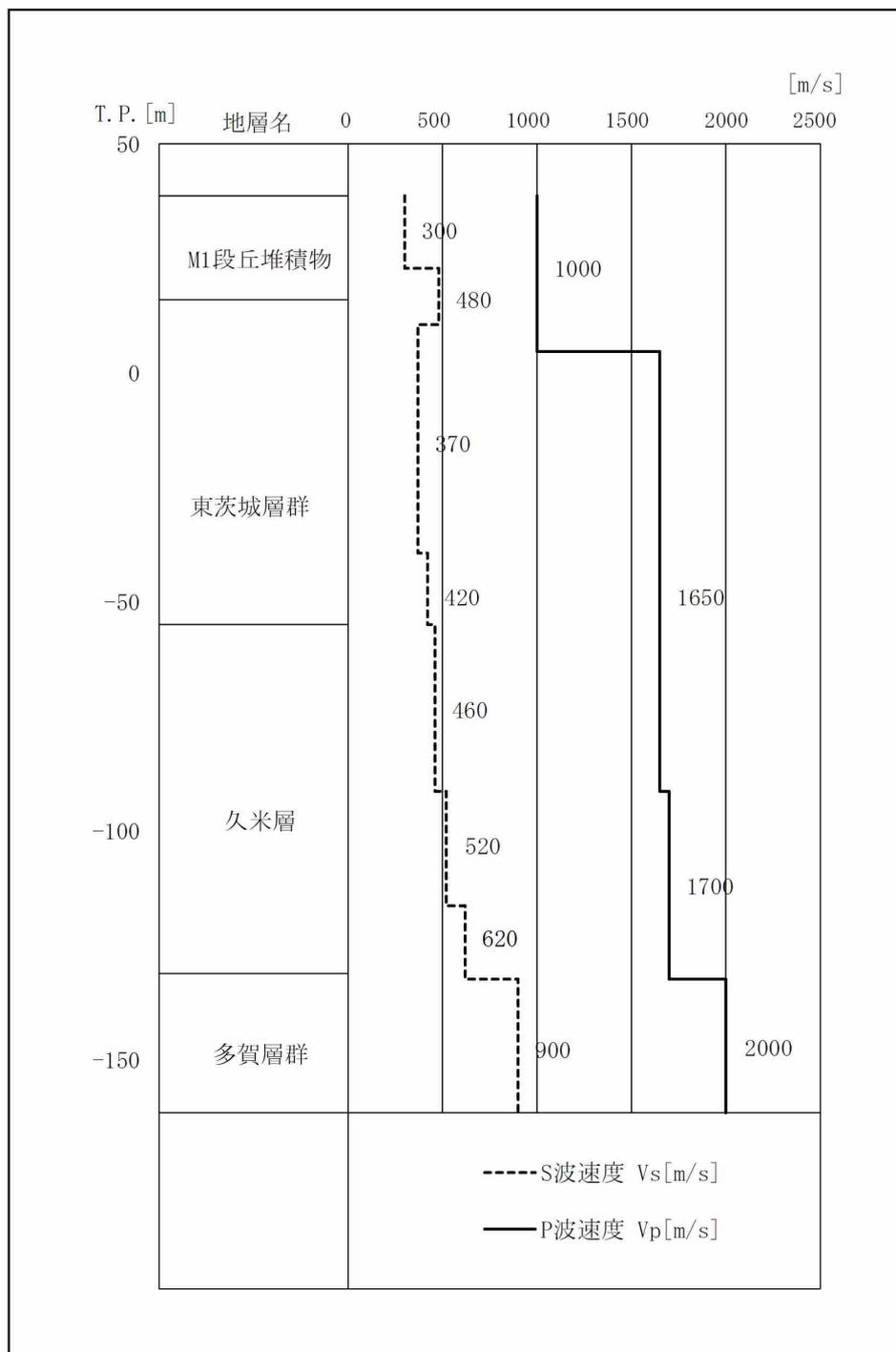


(b) 減衰特性

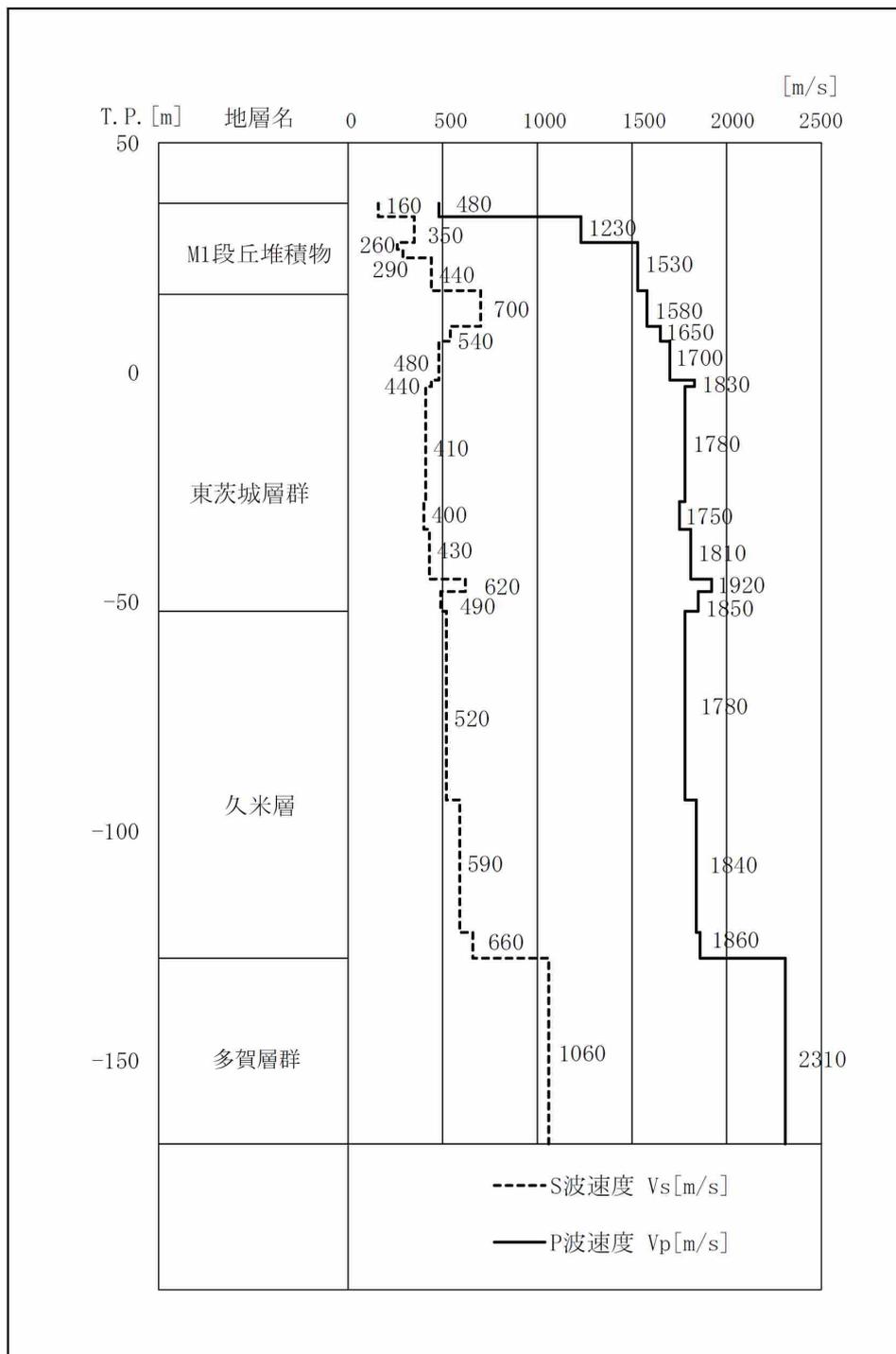
第 3.5.25 図(13) 動の変形試験結果 (Is-S<sub>3</sub>層)



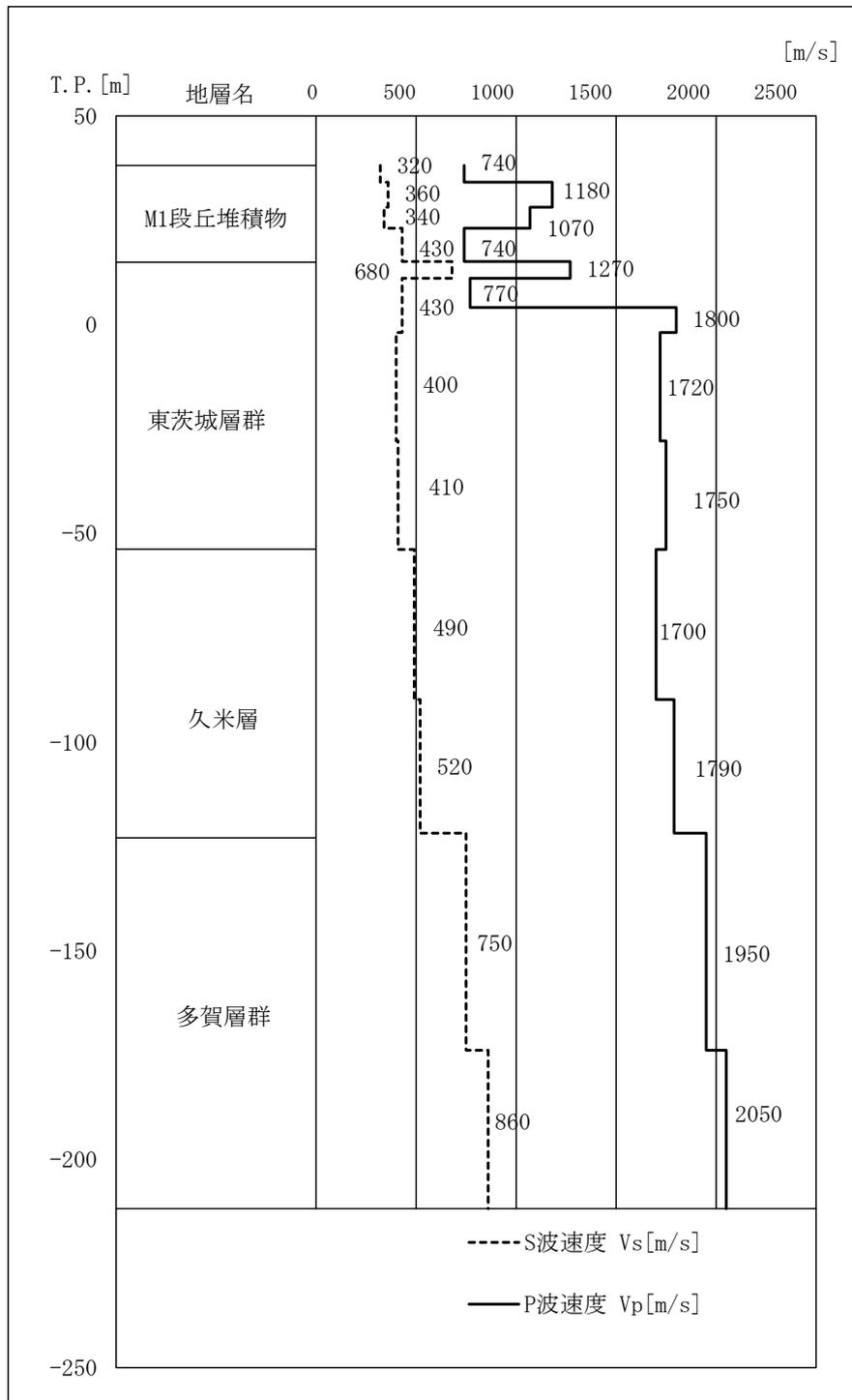
第 3.5.26 図 (1) PS 検層結果 (No. 1~9)



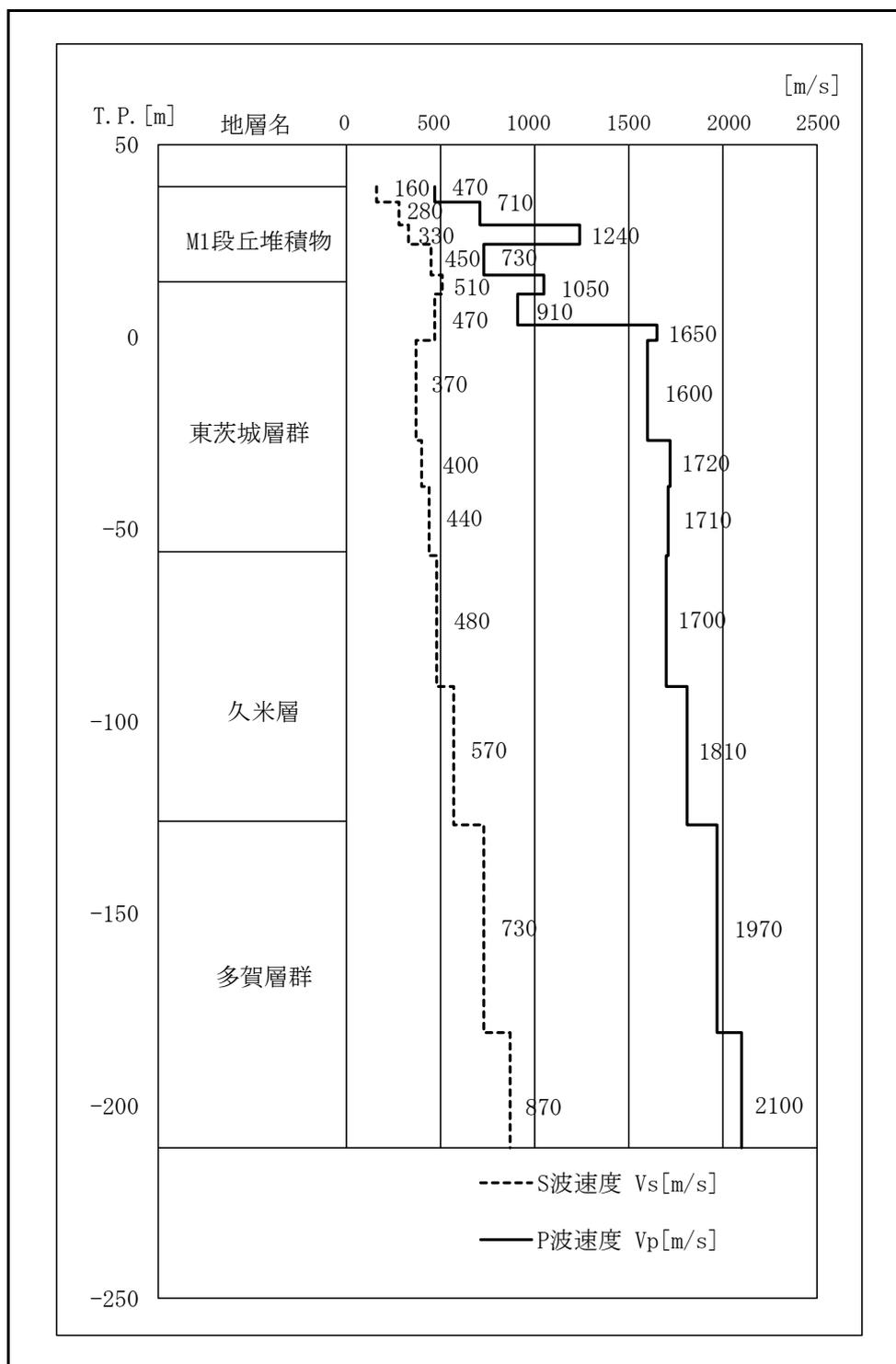
第 3.5.26 図 (2) PS 検層結果 (No. 11)



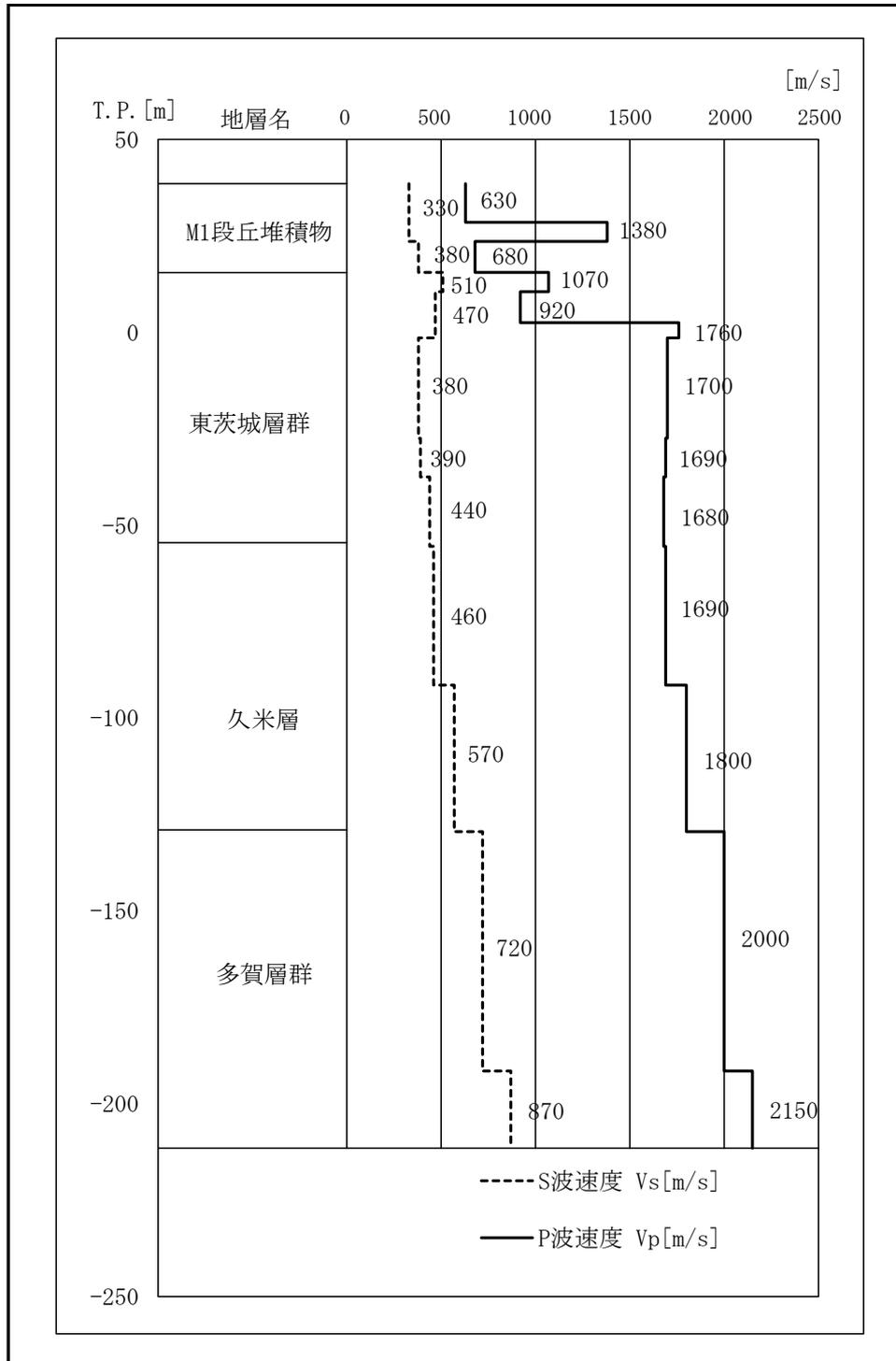
第 3.5.26 図 (3) PS 検層結果 (No. 94)



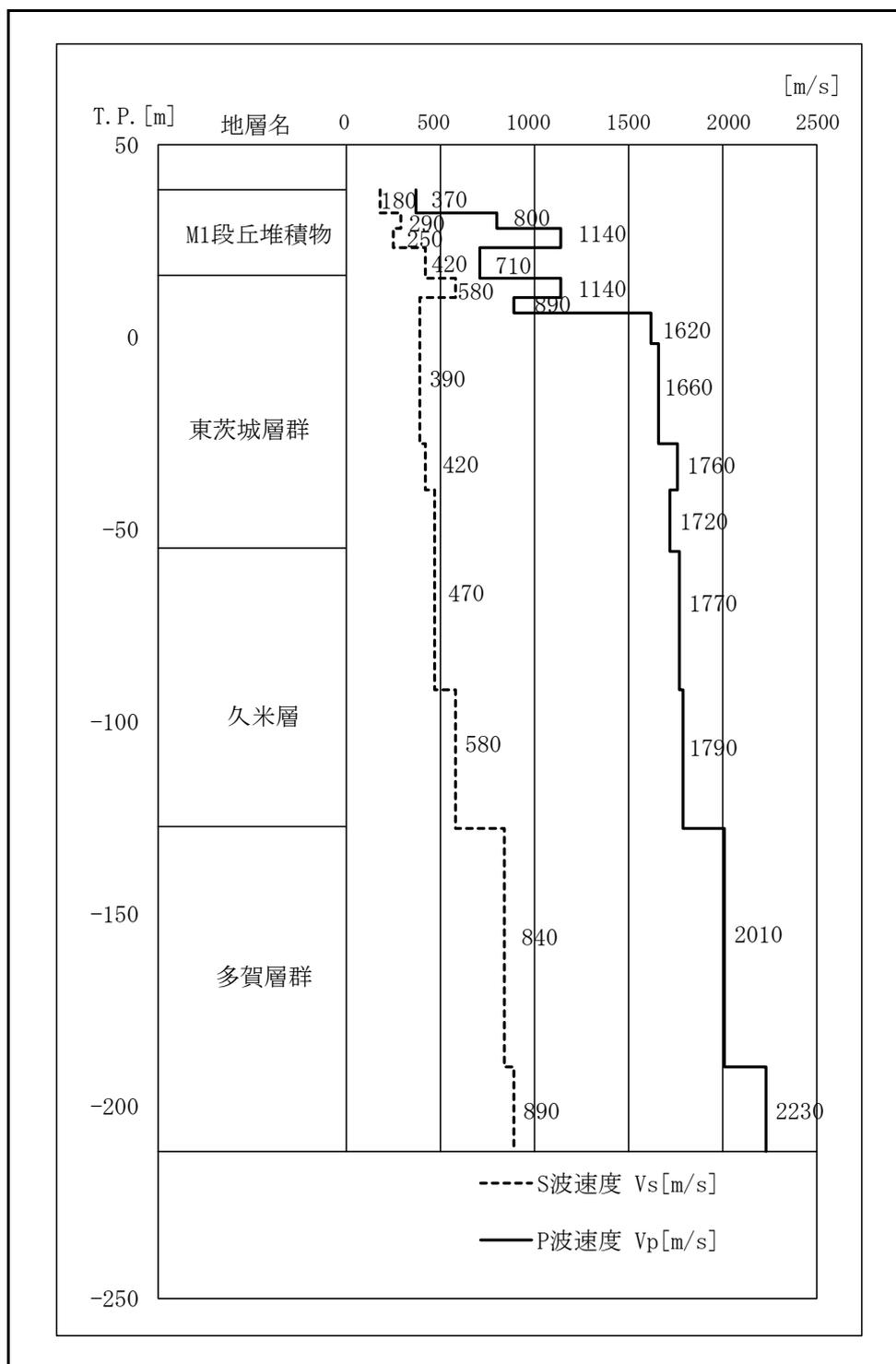
第 3.5.26 図 (4) PS 検層結果 (No. 113)



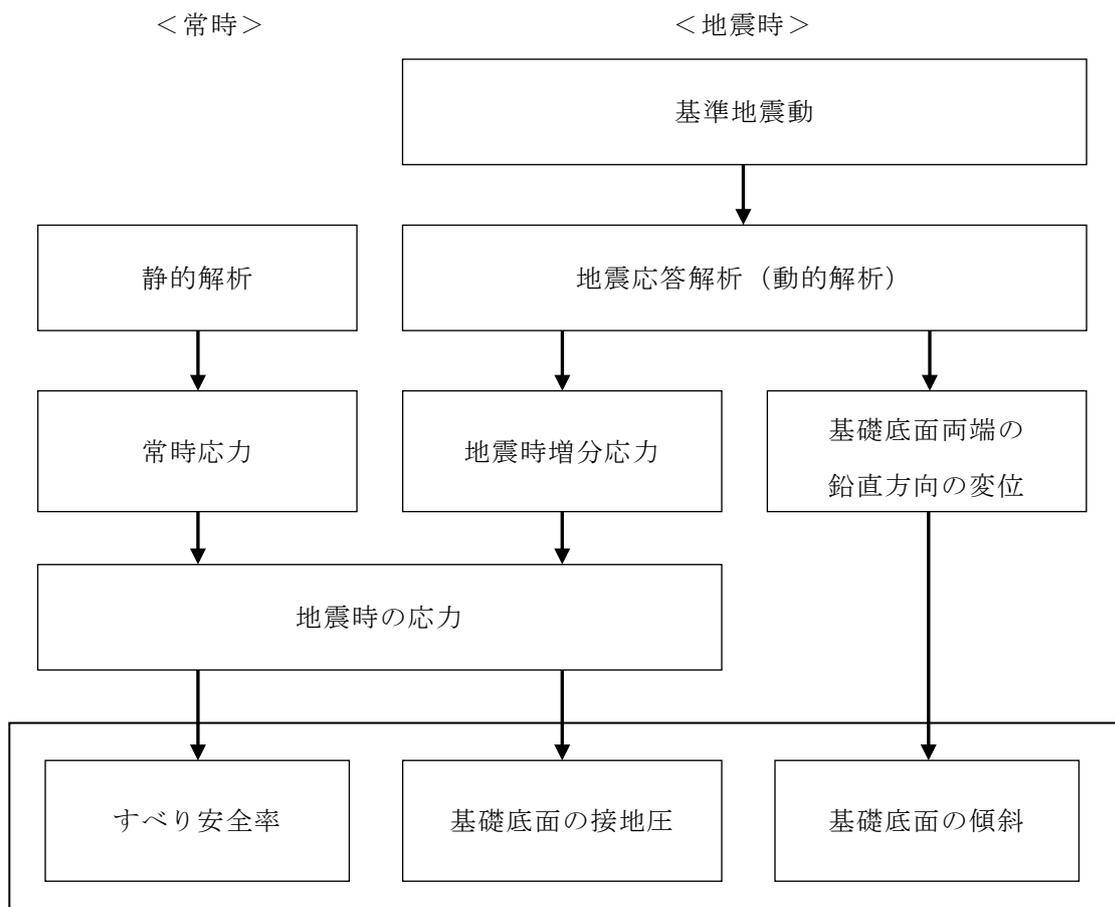
第 3.5.26 図 (5) PS 検層結果 (No. 114)



第 3.5.26 図 (6) PS 検層結果 (No. 115)



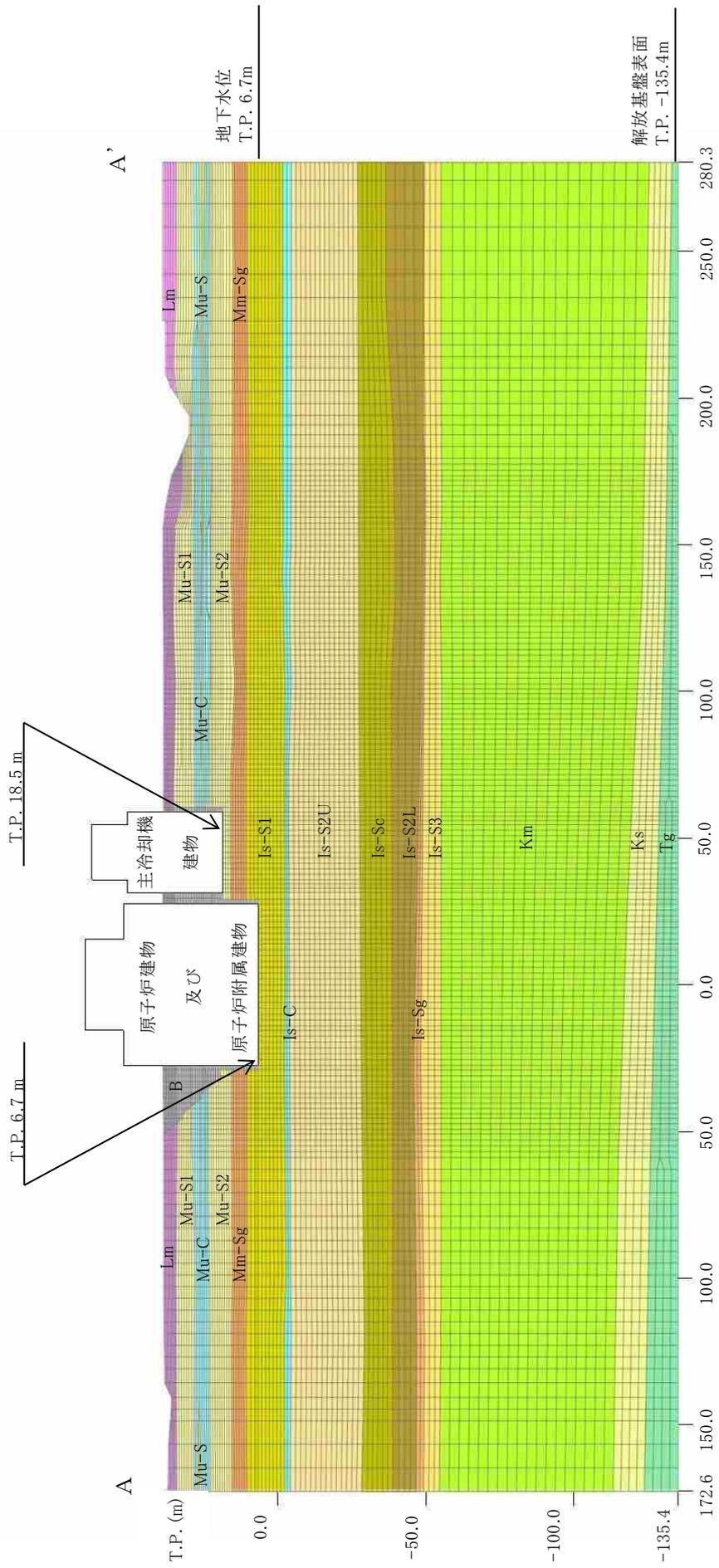
第 3.5.26 図 (7) PS 検層結果 (No. 116)



第 3.6.1 図 基礎地盤の安定性評価フロー

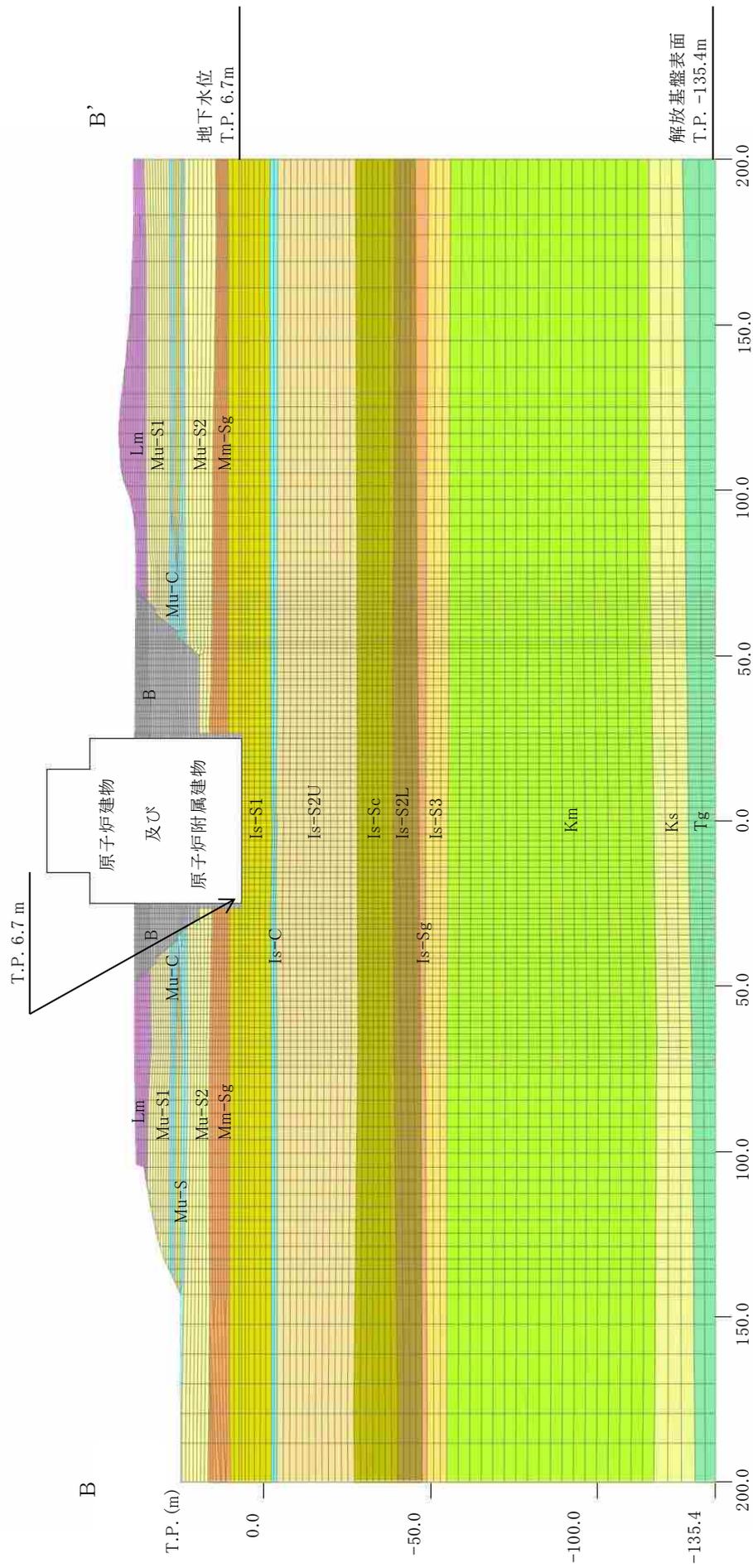


第 3.6.2 図 解析断面位置図

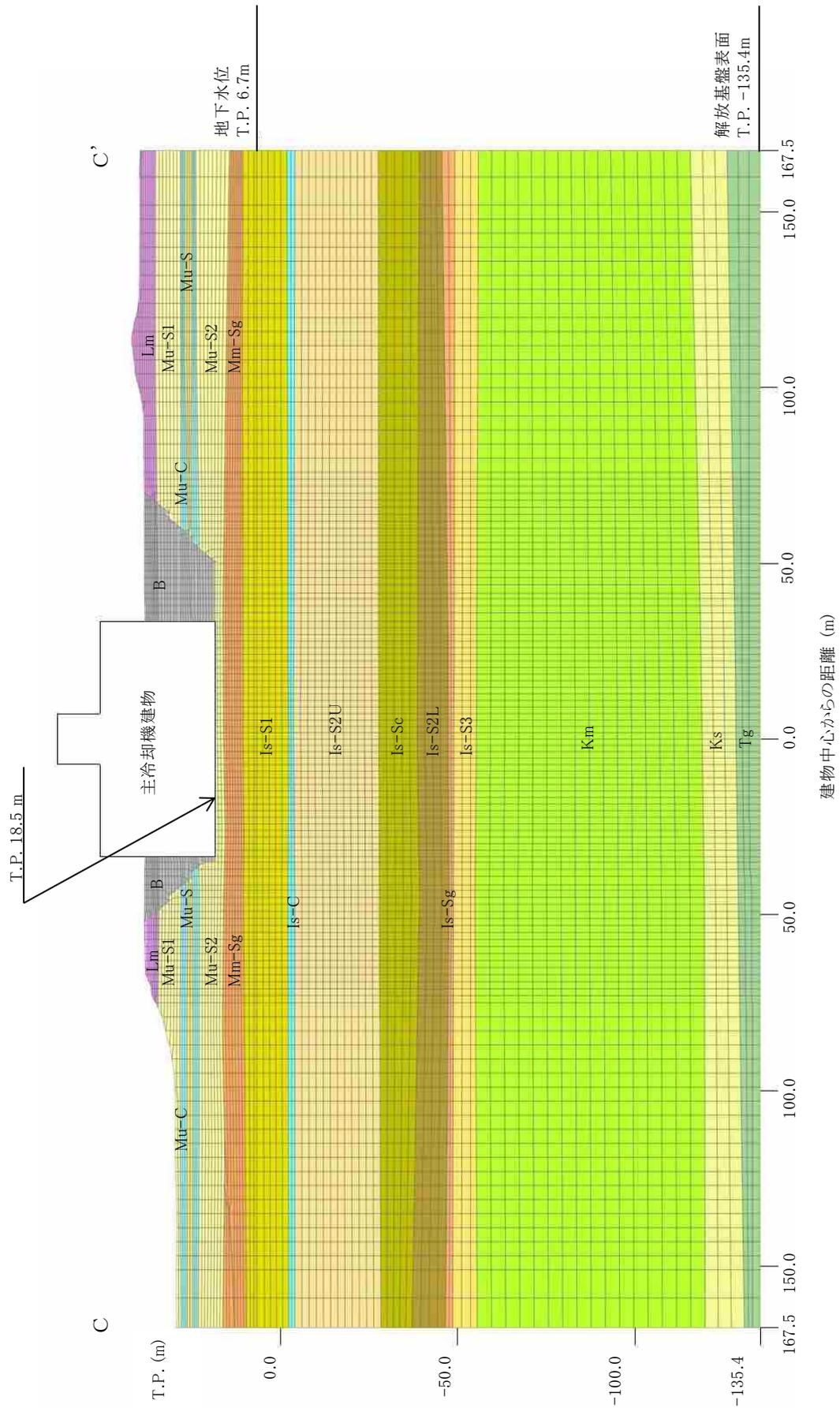


原子炉建物及び原子炉附属建物中心からの距離 (m)

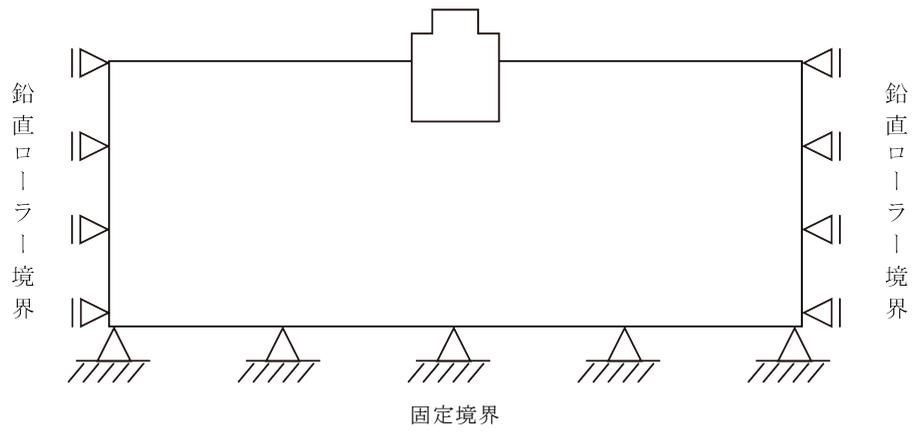
第3.6.3図 (1) 解析モデル (A-A'断面)



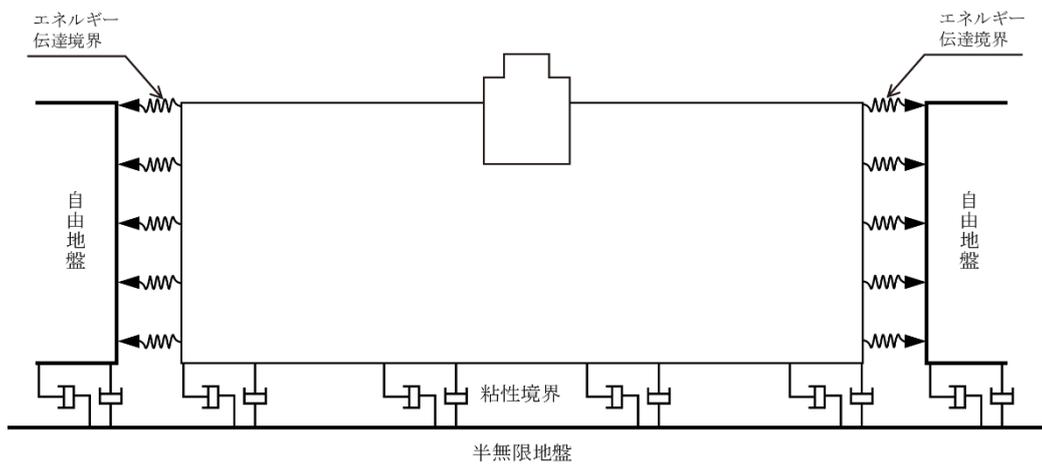
第3.6.3図 (2) 解析モデル (B-B'断面)  
建物中心からの距離 (m)



第3.6.3図 (3) 解析モデル (C-C'断面)



(a) 静的解析



(b) 動的解析

第 3.6.4 図 境界条件